

POS データによる米の価格・販売等の動向

2015 年度版 年報

(RP Yearbook)

—Retail Price of rice Yearbook 2015—

2016 年 9 月 27 日

公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構 情報部

はじめに

当機構では、米及びパン、麺類などの小麦製品や米加工品等について、2013 年（平成 25 年）4 月分から POS データを入手し、加工・編集のうえ「RP Weekly（週間の精米の購入価格・数量の動向。登録者へのメール配信）」、「RP Monthly（月間の精米の購入価格・数量の動向。当機構ホームページで公表）」、「RP Quarterly（四半期毎の小麦製品、もち等の購入価格等の動向。当機構ホームページで公表）」、「RP Yearbook（周辺事情も含む、各年度の概要等）」として公表等を行ってきたところです。

今般、2015 年度の米及びパン、麺類などの小麦製品や米加工品等の動向等について取り纏めを行い、年報を作成致しました。既に公表しております 2013 年度版、2014 年度版と併せて活用ください。

【留意事項】

1. 本レポートは、公益財団法人流通経済研究所が保有する日本国内の特定のスーパーマーケット等の POS データのほか、公表されている資料等に基づき作成したものあり、日本国内のすべての小売業者、卸売業者等への調査に基づく統計ではありません。
2. 掲載している価格等につきましては、日本国内のすべての小売店、卸売業者等の販売価格、取引価格等を代表するものではありません。
3. POS データは過去に遡ってデータの更新が行われるため、連続性、同等性等が保てない場合があります。
4. 四捨五入により、計が合わないことがあります。

目 次

I. 2015年度の概要	1	(6) 東海ブロック	27
1. 2015年度の動向	1	① 価格の動向	27
(1) 食料消費動向	1	ア. 1kg当たり販売価格	27
(2) 米を巡る施策等の動向	1	イ. 5kg袋の販売価格	27
(3) 価格の動向	3	ウ. 主要産地銘柄の平均価格と販売割合	28
(4) 販売の動向	3	② 販売数量PIの動向	29
		ア. 販売数量PI	29
II. POSデータの年次動向	4	イ. 全国作付比率上位5品種の販売量	29
1. 全体の動向	4	③ 包装容量別販売割合の動向	29
(1) 価格の動向	4		
① 1kg当たり販売価格	4	(7) 近畿ブロック	30
② 5kg袋の販売価格	5	① 価格の動向	30
③ 主要産地銘柄の平均価格と販売割合	5	ア. 1kg当たり販売価格	30
(2) 販売数量PIの動向	6	イ. 5kg袋の販売価格	30
① 主要5銘柄の販売数量PI	6	ウ. 主要産地銘柄の平均価格と販売割合	31
② 作付比率上位5品種の販売量	7	② 販売数量PIの動向	32
(3) 包装容量別販売割合の動向	8	ア. 販売数量PI	32
		イ. 全国作付比率上位5品種の販売量	32
2. ブロック別の動向	9	③ 包装容量別販売割合の動向	32
(1) 北海道ブロック	9		
① 価格の動向	9	(8) 中国四国ブロック	33
ア. 1kg当たり販売価格	9	① 価格の動向	33
イ. 5kg袋の販売価格	9	ア. 1kg当たり販売価格	33
ウ. 主要産地銘柄の平均価格と販売割合	10	イ. 5kg袋の販売価格	33
② 販売数量PIの動向	11	ウ. 主要産地銘柄の平均価格と販売割合	34
ア. 販売数量PI	11	② 販売数量PIの動向	35
イ. 全国作付比率上位5品種の販売量	11	ア. 販売数量PI	35
③ 包装容量別販売割合の動向	12	イ. 全国作付比率上位5品種の販売量	35
		③ 包装容量別販売割合の動向	35
(2) 東北ブロック	13		
① 価格の動向	13	(9) 九州ブロック	36
ア. 1kg当たり販売価格	13	① 価格の動向	36
イ. 5kg袋の販売価格	13	ア. 1kg当たり販売価格	36
ウ. 主要産地銘柄の平均価格と販売割合	14	イ. 5kg袋の販売価格	36
② 販売数量PIの動向	15	ウ. 主要産地銘柄の平均価格と販売割合	37
ア. 販売数量PI	15	② 販売数量PIの動向	38
イ. 全国作付比率上位5品種の販売量	15	ア. 販売数量PI	38
③ 包装容量別販売割合の動向	16	イ. 全国作付比率上位5品種の販売量	38
		③ 包装容量別販売割合の動向	38
(3) 関東ブロック	17		
① 価格の動向	17	III. 米代替食品、米加工品等の販売金額PI、販売数量PIの動向	39
ア. 1kg当たり販売価格	17	1. パン類	39
イ. 5kg袋の販売価格	17	(1) 販売動向	39
ウ. 主要産地銘柄の平均価格と販売割合	18	(2) ブロック動向	39
② 販売数量PIの動向	19	2. 麺類	40
ア. 販売数量PI	19	(1) 販売動向	40
イ. 全国作付比率上位5品種の販売量	19	(2) ブロック動向	40
③ 包装容量別販売割合の動向	20	3. 加工米飯（冷凍米飯、パックご飯）	41
		(1) 販売動向	41
(4) 京浜ブロック	21	(2) ブロック動向	41
① 価格の動向	21	4. 包装もち、もち米	42
ア. 1kg当たり販売価格	21	(1) 販売動向	42
イ. 5kg袋の販売価格	21	(2) ブロック動向	42
ウ. 主要産地銘柄の平均価格と販売割合	22		
② 販売数量PIの動向	23	IV. 米に関する年表	43
ア. 販売数量PI	23		
イ. 全国作付比率上位5品種の販売量	23	資料編	45
③ 包装容量別販売割合の動向	23		
(5) 北陸ブロック(甲信地方含む)	24		
① 価格の動向	24		
ア. 1kg当たり販売価格	24		
イ. 5kg袋の販売価格	24		
ウ. 主要産地銘柄の平均価格と販売割合	25		
② 販売数量PIの動向	26		
ア. 販売数量PI	26		
イ. 全国作付比率上位5品種の販売量	26		
③ 包装容量別販売割合の動向	26		

I. 2015 年度の概要

1. 2015 年度の動向

(1) 食料消費動向

2015 年（平成 27 年）の食料消費を取り巻く環境をみると、国民総生産（GDP）は 2 年ぶりでプラス、常用雇用指数は直近 5 年間で最も高い上昇率を示し、可処分所得も 2 年ぶりでプラスとなるなど、緩やかながらも景気の回復が感じられていた。一方で、個人消費のバロメータである消費総合指数は対前年で横ばい、対前々年比でマイナスとなり、世帯の消費支出も 2 年連続で対前年比マイナスとなるなど、個人消費まで回復が及ぶ状況ではなかった。

個人消費が伸び悩むなか、食料消費については、身近な食料品の価格上昇により 2 年ぶりにプラスとなり、エンゲル係数は 3 年連続して上昇している。また主食的食料品では、パン類、麺類や中食が堅調な一方で、米については 2014 年産米の価格下落の影響が強く、3 年連続で支出金額が対前年比マイナスとなっていた。

消費及び各種経済指標の推移

年度	2014 年（平成 26 年）		2015 年（平成 27 年）	
	対前年比 (%)	対前年々比 (%)	対前年比 (%)	対前年々比 (%)
1. 可処分所得 (円/世帯/月) a	424,797	▲ 0.4	426,351	0.4
2. 消費支出 a	266,841	▲ 4.5	264,433	▲ 0.9
3. 食料消費支出 a	64,865	▲ 1.5	67,190	3.6
米	1,764	▲ 16.6	1,706	▲ 3.3
パン	2,253	3.0	2,341	3.9
麺類	1,223	▲ 3.4	1,294	5.8
主食的調理食品	3,364	▲ 0.3	3,551	5.6
一般外食	10,092	▲ 3.1	10,399	3.0
4. エンゲル係数	22.7	3.2	23.9	5.3
5. 消費総合指数 b	106.2	▲ 2.5	106.2	0.0
6. 消費者物価指数 c	103.4	2.8	103.6	0.2
(参考)				
7. 経常収支 (億円)	87,245	264.6	178,752	106.0
8. GDP (兆円) d	524.8	▲ 0.9	529.0	0.8
9. GNI (兆円) d	524.8	▲ 0.4	538.0	2.5
10. 鉱工業指数	98.4	▲ 0.5	97.4	▲ 1.0
11. 常用雇用指数	103.6	1.5	105.8	2.1
12. 新車販売台数 (万台) e	301.6	5.2	269.3	▲ 10.7
13. 東証(1部+2部)月末時価総額の平均 (兆円)	497.9	15.6	560.6	14.9
14. 為替レート(ドル/円) f	109.9	9.7	120.1	9.3
15. 原油価格 (ドル/バレル) f	91.28	▲ 16.6	49.3	▲ 46.0

(注) a: 二人以上の世帯の1世帯1ヶ月間あたり消費支出。b: 月次(4-3)指数の単純平均。c: 生鮮食品を除く総合(全国)。d: 実質値。e: 乗用車の計。f: CPI価格

(資料)

1,2,3,4: 総務省「家計調査」、5: 内閣府「消費総合指数」、6: 総務省「消費者物価指数」、7: 財務省「国際収支状況」、8,9: 内閣府「国民経済計算(GDP統計)」、10: 経済産業省「鉱工業指数」、11: 厚生労働省「毎月勤労統計調査」、12: 日本自動車販売協会連合会「年別統計データ」、13: (株)東京証券取引所「市場別時価総額」、14: 米穀機構で作成、15: 日本銀行「外国為替市場」より米穀機構で作成、16: 全国工作油剤工業組合統計資料

食料品物価指数

年度	食料	米類	パン	めん類	魚介類	肉類	野菜・海藻	調理食品
2011	99.9	98.0	100.7	99.4	101.0	99.8	98.9	100.7
2012	99.3	106.4	99.2	98.2	100.8	98.6	95.7	101.1
2013	100.0	105.0	98.5	97.2	104.4	100.3	97.9	101.2
2014	104.4	98.1	102.5	100.9	114.4	109.0	100.6	106.8
2015	107.2	93.9	104.5	103.6	116.8	112.9	106.5	109.5
(2015/2014)	2.7	▲ 4.3	2.0	2.7	2.2	3.6	5.9	2.5

(2) 米を巡る施策等の動向

2015 年度の米を巡る政策動向のうち主なものは、2014 年産米の価格下落対策として、前年度の補正予算に引き続き予算化された「米穀周年供給・需要拡大支援事業」、3 月に閣議決定された食料・農業・農村基本法に基づく戦略作物の生産拡大対策としての「飼料用米の生産拡大の取組」とその波及効果による「初の超過作付けの解消」。10 月に大筋合意された TPP の効果的な活用や国内対策を目的とした「総合的な TPP 関連対策大綱」が挙げられる。

米穀周年供給・需要拡大支援事業は、需要減少や豊作基調などに起因した 2014 年産米価格の下落対策を目的としている。具体的には、主食用米の長期的・計画的な販売や輸出や非主食用途への販売など、需給改善に係る取組みに対して補助が行われている。2014 年度の補正予算で開始された事業であるが、2015 年度においても引き続き予算化が図られ、北海道など 17 道県の 18 業者が活用している。

「飼料用米の生産拡大の取組」は食料・農業・農村基本法に明記された飼料用米等の戦略作物の生産拡大政策に基づくものである。飼料用米については 2025 年までに 2013 年比で 10 倍にあたる 110 万トンまで拡大することを目標としている。農林水産省は飼料用米の生産拡大に向けた支援策の説明と意見交換のため、担当管理職等による「飼料用米推進キャラバン」を編成し、主要産地の知事や JA 幹部などへの訪問を行った。取組計画書の提出期限を 1 カ月延長するなどの柔軟な対応もあり、2015 年度

の飼料用米の生産は 42.1 万トン（7 万 9,766 ヘクタール）と 2014 年比で 2.4 倍、2013 年比で 3.6 倍の水準となった。飼料用米の生産拡大の取組みが東北・関東地域を中心に全国で進んだことや、飼料用米以外の新規需要米の生産拡大、さらには水田での麦、大豆生産の拡大もあり、2015 年産主食用米の生産面積は前年比で 6.8 万ヘクタール縮小した。そのため 2015 年産主食用米の作付面積は生産数量目標（面積換算）を 1.4 万ヘクタール下回り、生産調整開始以来、初めて超過作付面積が解消されることとなった。2015 年産主食用米の作付面積が生産数量目標（面積換算）を下回ったのは北海道など 36 道府県に及んでいる。一方で 2015 年産主食用米の生産縮小は取引価格の上昇をもたらし、2015 年米の相対取引価格（9 月）は前月（2014 年産米 8 月）を約 11%上回る水準でスタートしている（44 ページ参照）。

「総合的な TPP 関連対策大綱」は TPP の効果的な活用や国内対策の目標として策定された。TPP は「環太平洋パートナーシップ (Trans-Pacific Partnership)」の略称である。TPP 協定はアジア・太平洋地域における高水準の自由化を目標とし、関税撤廃のほか、非関税分野（投資、知的財産など）や新しい貿易課題（環境、労働など）を含む包括的な協定として、当初シンガポール、ニュージーランドなど 11 カ国で交渉が行われていた。日本は 2013 年 3 月に交渉参加を表明し、7 月から正式に交渉に参加している。TPP 協定は、2010 年の交渉開始から 5 年後の 2015 年 10 月に、日本を含む参加 12 カ国で大筋合意に達し、2016 年 2 月に署名式が行われている。日本は交渉過程で、影響の大きい米などの農産物について、関税撤廃対象からの除外を求めてきた。その結果、米についてはこれまでの関税（341 円/kg）は維持され、現行の国家貿易制度も維持されることとなった。

一方で、新しい輸入枠として国別枠が設定され、アメリカ枠として年間 7 万トン（協定発効時点では 5 万トン、13 年目以降は 7 万トン）、オーストラリア枠として年間 8,400 トン（協定発効時点では 6,000 トン、13 年目以降は 8,400 トン）が、現状の 77 万トンに追加されることとなった。また民間貿易による米の調整・加工品については関税の削減、または輸入量が少ないか関税率が低いものについては撤廃されることとなった。TPP 協定は、今後各国内での承認と関連法の整備などの手続きを経て、原則 2 年以内に発効することになる。

これを受けて「総合的な TPP 関連対策大綱」では、発効後の TPP 効果の最大化や懸念・不安の払拭、国内産業の体質・競争力強化のための政策の目標を定めている。同対策大綱の農林水産物の施策展開として、①「攻めの農林水産業への転換（体質強化対策）」、②「経営安定・安定供給のための備え（米など重要 5 品目関連）」が謳われた。①では 2020 年の農林水産物・食品の輸出額 1 兆円目標の前倒し達成を目指すことが目標として掲げられ、②では政府備蓄米の保管期限を現状の 5 年から 3 年に短縮し、新たに設けられた国別輸入枠の輸入量相当の国産米を買い入れるとした運営方法の見直しが行われることとなった。

また、同対策大綱を受けて 2015 年度の農林水産省の補正予算では、TPP 関連政策大綱に基づく施策の推進として、精米・燻蒸等の実証などの「輸出促進緊急対策」、産地と複数年契約をする外食・中食・加工業者による国産農林水産物を活用した新商品の開発などへの支援を行う「外食産業等と連携した需要拡大対策事業」などが新規事業として講じられることとなった。

(3) 価格の動向（月次平均販売価格の推移）

ここでは月報（RP Monthly）のデータにより 2015 年度の動向を俯瞰する。2015 年度の平均販売価格は 315 円/kg であった。2014 年産米の下落の影響が大きく、8 月までは価格水準が下落傾向で推移したため、前年度を▲12 円（▲3.7%）下回り、前々年度を▲78 円（▲19.8%）下回っている。前年度の平均販売価格は一貫して値下がり基調で経過したが、2015 年度では 2015 年産米の相対取引価格の上昇もあり、早期栽培地帯の新米が出回る 8 月（前月比+4 円/kg）を境に値上がりしている。

平均価格の推移(2015年度)

(単位:円/kg)

POS	当年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年1月	2月	3月	平均	期間平均
2013年	417	414	410	407	399	392	387	382	383	379	376	369	393	4-9月
2014年	346	346	342	340	337	328	323	319	319	313	310	305	327	342
2015年	305	304	304	303	307	311	320	325	329	327	325	323	315	305
対前月比(円)	0	▲1	▲0	▲1	4	5	8	5	4	▲2	▲1	▲1	-	-
対前年同月比(円)	▲41	▲42	▲38	▲38	▲30	▲17	▲4	7	10	14	15	18	▲10	▲10
対前年同月比(%)	▲11.9	▲12.1	▲11.3	▲11.1	▲8.9	▲4.3	▲1.1	2.1	3.2	4.4	4.8	5.8	▲3.1	▲3.1
相対取引価格(円)	184	184	186	184	184	203	202	204	204	204	205	205	196	184
対前年同月比(円)	▲42	▲40	▲38	▲32	▲27	11	14	16	17	18	19	20	▲3	▲3

注1: 相対取引は玄米ベース
資料: 農林水産省「米の相対取引価格(出荷集計)(速報値)」

月別の推移をみていくと、2014 年産米主体の 4 月から 7 月にかけては 304 円/kg 前後で推移していたが、2015 年産の早場米が出回る 8 月以降は月平均 1.8% ずつ値上がりし、12 月には年度最高価格である 329 円/kg に達している。また前年同月比では、8 月までは▲11% 前後で推移していたが、9 月～10 月でほぼ前年度並みとなり、11 月以降は前年同月を 2～6% 上回る水準となっている。

なお平均販売価格は相対取引価格とも相関している（相関係数 0.92）。しかし相対取引価格の変動額がそのまま量販店などでの販売価格に反映されるわけではない。相対取引価格の 9 月～3 月（2015 年産米）の価格は、4 月～8 月（2014 年産米）の価格に対して平均で約 11% 上昇しているが、同期間の POS データの平均販売価格の上昇率は約 6% に留まっている。POS データでみる限り、量販店などでの販売価格は相対取引価格よりも抑制的であったといえる。

(4) 販売の動向（月次平均販売数量 PI の推移）

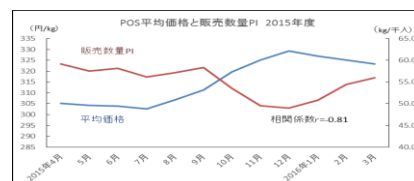
2015 年度の平均販売数量 PI は 55.0kg/千人で、価格の値下がり効果で比較的販売が堅調であった前年度を▲1.7kg（▲3.1%）、さらに消費税増税により年度末に仮需要が発生した前々年度を▲0.8kg（▲1.5%）下回っている。

購入数量PIの推移(2015年度)

(単位:kg/千人)

POS	当年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年1月	2月	3月	平均	期間平均
2013年	54.1	53.9	52.7	48.0	55.0	53.5	52.5	48.4	55.5	52.1	62.1	77.7	58.0	4-9月
2014年	51.3	58.0	61.7	58.8	61.9	62.3	56.6	52.1	52.5	51.7	57.3	58.3	58.7	58.0
2015年	58.1	57.5	58.2	58.2	57.1	58.4	53.5	48.0	49.0	50.8	54.4	55.9	55.0	57.8
対前月比(kg)	▲0.2	▲1.6	0.6	▲0.2	1.0	1.2	▲4.9	▲3.9	▲0.8	1.3	3.8	1.5	-	-
対前年同月比(kg)	7.8	1.5	▲3.9	▲2.9	▲4.8	▲4.0	▲2.1	▲2.5	▲3.5	▲0.9	▲2.9	▲3.3	▲1.7	▲1.7
対前年同月比(%)	15.2	2.7	▲7.4	▲6.8	▲7.8	▲6.3	▲4.0	▲4.8	▲6.7	▲1.7	▲5.1	▲5.6	▲3.1	▲3.1

月別の動きをみていくと、9 月までは 58kg/千人前後で、ほぼ横ばいに推移していたが、平均価格が 320 円/kg を超える 10 月からは減少に転じ、平均販売価格が最高価格となる 12 月には、年度最低となる 49.0kg/千人となっている。年明け以降は平均販売価格の値下がりがみられたことから、販売数量 PI もそれに反応して再び増加に転じている。また前年同月比では、4 月～5 月は前年を上回ったものの、6 月以降は前年を 2～8% 下回る水準となっている。なお 4 月～5 月の前年同月比の増加については、消費税増税による仮需要の反動が 2014 年 4 月～5 月に発生したことによる影響も含まれている。また 2015 年度の平均販売価格と平均販売数量 PI の間には負の相関（相関係数 -0.81）が認められる。



II. POS データの年次動向

前述のように当機構では POS データについて分析・加工の上、週報 (RPWeekly、希望者に配信)、月報 (RPMonthly、当機構ホームページに掲載) を公表しているが、この項では価格、販売数量 PI、主要銘柄の動向及び包装容器別販売割合について週報 (RP Weekly) のデータにより、全国及びブロック別の 2015 年度の推移についてみていく。なおブロック名と所属する都道府県名については右表のとおりとなっている。

ブロック名	都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉
京浜	東京、神奈川
北陸	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国四国	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

1. 全体の動向

(1) 価格の動向

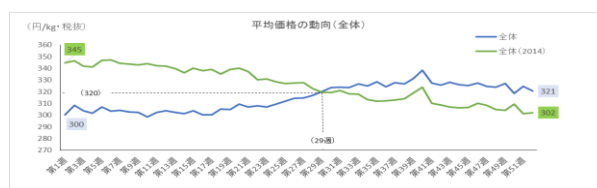
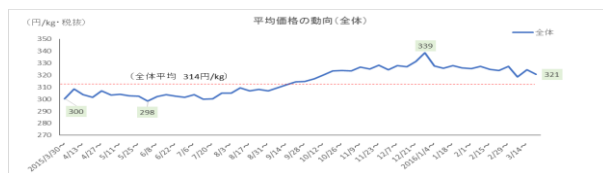
POS データに基づく価格推移は週報 (RPWeekly) と月報 (RPMonthly) において公表しており、週報においては月曜～日曜の販売データを基に、5kg 袋 (慣行栽培・税込)、1kg (特別栽培等を含む精米の 1kg 当たり価格・税込)、月内の 5kg 袋の上位 20 産地・品種別販売価格と販売割合を、月報では月内の 1kg (同) 当り価格及び 5kg 袋 (同) の販売価格を公表している。なお、以下に述べる平均価格については、特に付記がない限り週報の販売データを用い、税抜価格で表している。

① 1kg 当たり販売価格

2015 年度における販売価格の動向は、前年度の下落基調から一転し、値上がりに転じたことが特徴的である。年度初めに前年度比▲45 円 (▲13.0%) であった販売価格 (300 円/kg) は、第 10 週 (6 月 1 日～) に年度最低価格の 298 円/kg となった後、徐々に値上がり続け、9 月半ばに年度平均価格 (314 円/kg) を越え、第 29 週 (10 月 12 日～) に前年度の販売価格に並んだ。その後は前年度を上回りながら値上がり続け、第 40 週 (12 月 28 日～) に年度最高価格の 339 円/kg となっている。その後は若干の値下がりとなり、年度末には前年度比+19 円/kg (+6.3%) の 321 円/kg となっている。年度初め～年度末間の平均販売価格は、毎週 0.13% ずつの値上がりとなっている。なお 2015 年は値上がり基調にあったものの、年度平均価格は 314 円/kg と前年度より▲12 円/kg (▲3.6%) となっている。これは前年度を下回って推移していた第 1～29 週までの販売価格の平均が前年度比▲31 円/kg であったのに対し、上回って推移していた第 30 週以降の販売価格の平均が同+15 円/kg に留まっていたことによる。

2015 年度	平均価格 (円/kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014 年度 平均価格 (円/kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	314	11	0.13	326	▲3.6
北海道	319	8	0.11	335	▲4.8
東北	331	23	0.20	341	▲3.0
関東	287	13	0.14	301	▲4.5
京浜	357	10	0.02	361	▲1.2
北陸	310	9	0.09	322	▲3.7
東海	308	15	0.19	332	▲7.1
近畿	311	10	0.10	326	▲4.6
中国四国	304	10	0.13	310	▲2.1
九州	318	14	0.11	328	▲3.2

全体	第29週までの 平均 (円/kg・税抜)	第30週以降 の平均 (円/kg・税抜)
2015 年度	306	326
2014 年度	337	311
対差	▲31	15

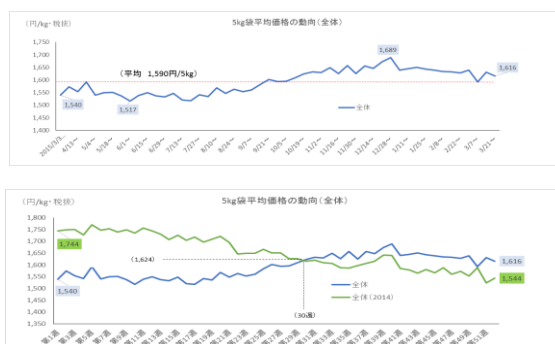


②5kg 袋の販売価格

米販売の太宗を占めている 5kg 袋の販売価格の推移は 1kg 当たり販売価格と同様となっている。年度初めに前年度比▲204 円/5kg (▲11.7%) であった販売価格 (1,540 円/5kg) は第 10 週 (6 月 1 日～) に年度最低価格の 1,517 円/5kg となった後、徐々に値上がり続け、9 月半ばに年度平均価格 (1,590 円/kg) を越え、第 30 週 (10 月 19 日～) に前年度の販売価格に並んだ。その後は前年度を上回りながら値上がり続け、第 40 週 (12 月 28 日～) に年度最高価格の 1,689 円/5kg となっている。その後は若干の値下がりとなり、年度末には対前年+72 円/5kg (4.7%) の 1,616 円/5kg となっている。年度初めから年度末間の販売価格は、毎週 0.1% ずつの値上がりとなっている。なお 5kg 袋においても、値上がり基調にも関わらず、年度平均価格は 1,590 円/5kg と前年度より▲65 円/5kg (▲4.0%) となっている。これは 1kg 当たり平均価格と同じ理由となっている。

2015年度	平均価格 (円/5kg+税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/5kg+税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	1,590	47	0.10	1,655	▲4.0
北海道	1,776	34	0.10	1,877	▲5.4
東北	1,638	84	0.19	1,824	▲10.2
関東	1,453	67	0.13	1,532	▲5.2
京浜	1,712	48	0.01	1,746	▲2.0
北陸	1,705	63	0.10	1,768	▲3.6
東海	1,651	56	0.12	1,712	▲3.6
近畿	1,523	45	0.13	1,605	▲5.1
中国四国	1,544	34	0.08	1,591	▲3.0
九州	1,574	65	0.11	1,629	▲3.3

全体	第30週までの 平均 (円/5kg+税抜)	第31週以降の 平均 (円/5kg+税抜)
2015年度	1,557	1,640
2014年度	1,705	1,587
対差	▲148	53



③主要産地銘柄の平均価格と販売割合

販売数量に占める産地別割合は、北海道産が 17.4%、次いで新潟県産が 13.2%、秋田県産が 7.7%、茨城県産が 6.0%、栃木県産が 4.5%となっている。上位 4 産地までは前年度と同順位で、水稻作付面積の上位県と重なっている。販売シェア上位 30 産地品種等をみると、新潟コシヒカリ (5.2%) を筆頭に、秋田あきたこまち (3.8%)、北海道ななつぼし (3.8%)、北海道ゆめぴりか (2.1%) などが上位に位置しており、北海道産は最も多い 4 銘柄 (前年度+1 銘柄) がランクインしている。また 2015 年度は岐阜ハツシモと北海道おぼろづきの 2 銘柄がランクインし、青森つがるロマンと山口コシヒカリが圏外となっている。

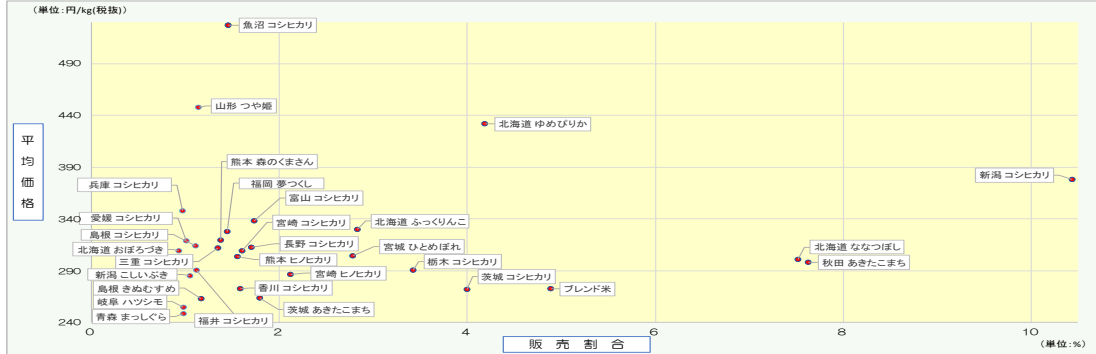
2015 年度におけるシェア上位 30 産地品種のうち、全体平均価格 (314 円/kg) 以上は魚沼コシヒカリや山形つや姫など 11 銘柄 (前年度▲3 銘柄)、平均価格未満が 19 銘柄等 (同+3 銘柄) となっている。

産地	銘柄	平均価格	販売割合	産地	銘柄	平均価格	販売割合
北海道	ななつぼし	314	17.4%	新潟県	コシヒカリ	314	13.2%
秋田県	あきたこまち	314	7.7%	茨城県	あきたこまち	314	6.0%
栃木県	あきたこまち	314	4.5%	...	...	...	...

産地品種	平均価格	販売割合	産地品種	平均価格	販売割合
魚沼 コシヒカリ	527	0.7	長野 コシヒカリ	312	0.9
山形 つや姫	447	0.6	三重 コシヒカリ	311	0.7
北海道 ゆめぴりか	432	2.1	宮崎 コシヒカリ	309	0.8
新潟 コシヒカリ	378	5.2	北海道 あきたこまち	309	0.5
兵庫 コシヒカリ	348	0.5	宮崎 ひまわり	304	1.4
富山 コシヒカリ	338	0.9	熊本 ヒノヒカリ	303	0.8
北海道 ふっくりんこ	329	1.4	北海道 ななつぼし	301	3.8
福岡 夢つくし	328	0.7	秋田 あきたこまち	298	3.8
熊本 春のくまさん	319	0.7	栃木 コシヒカリ	290	1.7
愛媛 コシヒカリ	319	0.5	福井 コシヒカリ	290	0.6
鳥根 コシヒカリ	314	0.6	宮崎 ヒノヒカリ	286	1.1
1kg当たり平均価格(全体)	314		新潟 こしいぶき	285	0.5
			ブレンド米	272	2.4
			茨城 コシヒカリ	272	2.0
			香川 コシヒカリ	272	0.8
			茨城 あきたこまち	263	0.9
			鳥根 きめむすめ	263	0.8
			岐阜 ハツシモ	254	0.5
			青森 まっくら	248	0.5

下欄は2015年度にランクインした産地品種

2015年度 産地品種等の平均価格・販売割合の分布（全国計・上位30産地品種等）



産地品種	販売割合	平均価格	産地品種	販売割合	平均価格	産地品種	販売割合	平均価格
1 新潟 コシヒカリ	10.4 (+0.5)	378 (-6)	11 茨城 あきたこまち	1.8 (-0.6)	263 (-9)	21 最良 きぬむすめ	1.2 (+0.2)	263 (-22)
2 秋田 あきたこまち	7.6 (+0.7)	298 (-31)	12 富山 コシヒカリ	1.7 (-0.2)	338 (-24)	22 山形 つや姫	1.1 (-0.2)	447 (+2)
3 北海道 ななつぼし	7.5 (-0.8)	301 (-16)	13 長野 コシヒカリ	1.7 (-0.1)	312 (-19)	23 福井 コシヒカリ	1.1 (-0.1)	290 (-11)
4 プレント米	4.9 (-0.9)	272 (-27)	14 宮崎 コシヒカリ	1.6 (-0.8)	309 (-11)	24 最良 コシヒカリ	1.1 (-0.1)	314 (-3)
5 北海道 ゆめぴりか	4.2 (+0.6)	452 (-17)	15 香川 コシヒカリ	1.6 (0.0)	272 (-15)	25 新潟 こしいぶき	1.0 (-0.3)	285 (-20)
6 茨城 コシヒカリ	4.0 (0.0)	272 (-15)	16 熊本 ヒノヒカリ	1.5 (+0.2)	303 (-20)	26 茨城 コシヒカリ	1.0 (-0.1)	319 (-13)
7 栃木 コシヒカリ	3.4 (-0.1)	290 (-19)	17 鳥取 コシヒカリ	1.4 (0.0)	527 (-18)	27 秋田 ハツシモ	1.0 (+0.8)	254 (-47)
8 北海道 ふっくりんこ	2.8 (+0.8)	329 (-11)	18 福岡 夢つくし	1.4 (-0.1)	328 (-19)	28 青森 まっしぐら	1.0 (-0.1)	248 (-13)
9 茨城 ひとめぼれ	2.8 (-0.1)	304 (-28)	19 熊本 森のくまさん	1.4 (0.0)	319 (-15)	29 兵庫 コシヒカリ	1.0 (-0.7)	348 (-5)
10 宮崎 ヒノヒカリ	2.1 (-0.1)	286 (-18)	20 三重 コシヒカリ	1.3 (-0.1)	311 (0)	30 北海道 おぼろづき	0.9 (+0.4)	309 (-60)

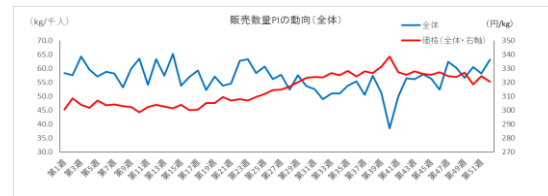
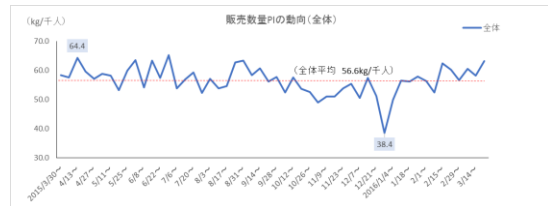
注1：集計対象はうるち精米（慣行栽培米、特別栽培米、有機栽培米を含む）。
注2：販売割合はうるち精米の総重量に占める割合。（）内は前年の販売割合との差（ポイント）。
注3：平均価格は当該産地品種の加重平均価格（税抜）。（）内は前年の平均価格との差。

(2) 販売数量 PI の動向

2015年度の平均販売数量PIは、前年度（58.1kg/千人）より▲1.5kg/千人（▲2.6%）となる56.6kg/千人となっている。価格水準が比較的低く推移した年度前半では、概ね年度平均を上回る販売傾向となっているが、価格上昇が目立つ年度後半では、逆に年度平均を下回る販売傾向となり、価格が一時的に低下する年度末にかけては、平均購入数量PIが再上昇している。米は生活必需品であるため、一般的に価格弾力性は小さいとされているが、価格変動の影響をまったく受けないわけではない。2015年度においては、特に東海ブロック以西で価格上昇の影響が平均販売数量PIの減少として現れている。

2015年度	平均販売数量PI (kg/千人)	同左 前年度比 (%)	平均販売数量PI 標準偏差	(参考)	
				平均販売数量PI (全体を100として 指数化)	同左指数の 前年度対比 (2015/2014)
全体	56.6	▲2.6	4.8	100.0	—
北海道	133.0	1.1	15.8	234.9	1.0
東北	18.5	▲5.7	2.8	32.6	1.0
関東	64.6	0.0	7.4	114.0	1.0
京浜	57.6	▲6.5	8.8	101.7	1.0
北陸	33.7	▲2.7	4.6	59.5	1.0
東海	66.8	35.5	10.9	118.0	1.4
近畿	59.7	▲1.5	5.3	105.5	1.0
中国四国	39.3	▲9.2	4.9	69.4	0.9
九州	61.0	▲7.9	9.2	107.8	0.9

平均販売数量PIと 1kg当たり平均単価の 相関 (2015年度)	
ブロック	相関係数
全体	-0.52
北海道	-0.35
東北	-0.58
関東	-0.51
京浜	-0.29
北陸	-0.47
東海	-0.67
近畿	-0.69
中国四国	-0.74
九州	-0.61



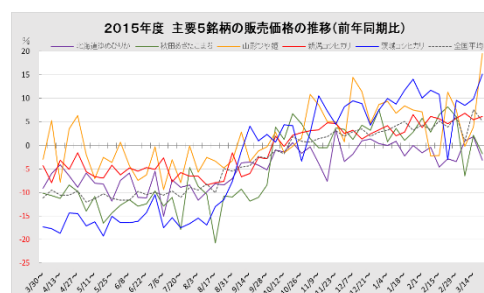
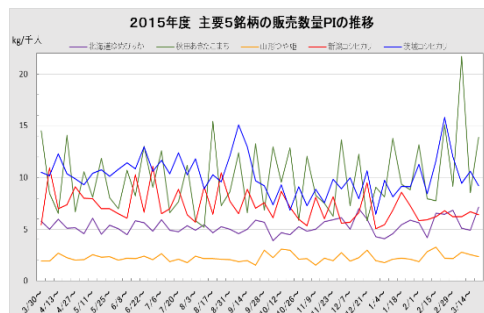
1) 米穀機構「米の取引価格等の経年推移（2012年度～）」> <http://www.komenet.jp/shouhichi/995.html>

①主要 5 銘柄の販売数量 PI

主要 5 銘柄（北海道ゆめぴりか、秋田あきたこまち、山形つや姫、新潟コシヒカリ、茨城コシヒカリ）の 2015 年度の販売数量 PI の推移は右図のとおりとなっている。

北海道ゆめぴりかと山形つや姫は年間を通して数量的に安定して販売されているのに対し、秋田あきたこまち、新潟コシヒカリ、茨城コシヒカリは週によって大きく販売数量が変動している。

また北海道ゆめぴりか、秋田あきたこまちと茨城コシヒカリの販売数量 PI は、前年度よりかなり程度増加しているのに対し、山形つや姫と新潟コシヒカリでは 10% 以上減少している。販売数量 PI が増えている銘柄は、年度前半の安値の影響により価格の値下がりの方が比較的大きい傾向があるのに対し、山形つや姫では価格の値上がり、新潟コシヒカリでは前年度同水準価格となっており、価格水準の違いが平均販売数量 PI の変動要因となっていることが伺える。



主要銘柄	平均価格			販売数量PI		
	平均価格 (円/kg)	同左 標準偏差	前年度比 (%)	販売数量PI (kg/千人)	標準偏差	前年度比 (%)
北海道ゆめぴりか	2,249	54.8	▲ 4.7	5.3	0.7	10.8
秋田あきたこまち	1,653	69.0	▲ 5.0	9.9	3.3	8.0
山形つや姫	2,292	77.9	1.3	2.3	0.4	▲ 10.1
新潟コシヒカリ	1,992	59.5	▲ 1.0	7.2	1.5	▲ 12.0
茨城コシヒカリ	1,526	87.2	▲ 3.9	10.2	1.8	12.6

②作付比率上位 5 品種の販売量

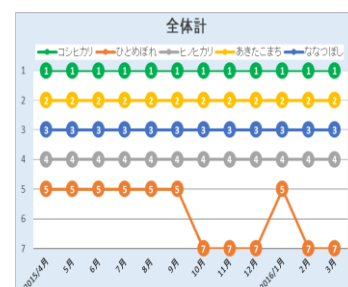
2013～2015 年産の作付比率上位 5 品種（コシヒカリ、ひとめぼれ、ヒノヒカリ、あきたこまち、ななつぼし）の月別販売量は、右下表のとおり、作付比率が最も高いコシヒカリが 1 位となっている。2 位はあきたこまち、3 位はななつぼしとなっており、上位 3 品種は昨年度と同じランキングを維持している。4 位はヒノヒカリとなっており、上位 4 品種の量販店等での販売量は年度を通して安定的に推移している。一方で作付比率 2 位のひとめぼれは、販売量では 5 位から 7 位の間を変動している。

このように、量販店等での販売量の実績は、必ずしも品種別作付比率の序列とリンクしていない。

水稲うるち米の品種別作付比率の推移

順位	2013年度		2014年度		2015年度	
	品種名	比率	品種名	比率	品種名	比率
1	コシヒカリ	36.7	コシヒカリ	36.4	コシヒカリ	36.1
2	ひとめぼれ	9.6	ひとめぼれ	9.7	ひとめぼれ	9.7
3	ヒノヒカリ	9.5	ヒノヒカリ	9.2	ヒノヒカリ	9.0
4	あきたこまち	7.5	あきたこまち	7.2	あきたこまち	7.2
5	ななつぼし	3.0	ななつぼし	3.1	ななつぼし	3.4
6	キヌヒカリ	2.9	はえぬき	2.9	はえぬき	2.8
7	はえぬき	2.7	キヌヒカリ	2.7	キヌヒカリ	2.7
8	まっしぐら	1.9	まっしぐら	2.0	まっしぐら	1.9
9	あさひの夢	1.5	あさひの夢	1.6	あさひの夢	1.6
10	きらら397	1.5	こしいぶき	1.5	こしいぶき	1.5
上位10品種計		76.8		76.3		75.9

資料：米穀機構「水稲の品種別作付動向について」



(3) 包装容量別販売割合の動向

2015 年度の包装容量別の販売割合は 5kg 袋が 64.2%で第 1 位となっており、次いで 10kg 袋が 27.5%、2kg 袋が 7.0%となっている。前年度と比べると 10kg 袋が 1.0 ポイント、2kg 袋が 0.2 ポイント増え、5kg 袋と「その他」は減少している。

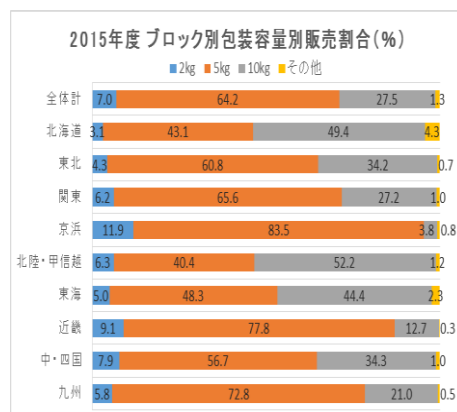
前述のとおり、2015 年度の平均販売価格は値上がり基調にあったとはいえ、年度前半の安値の影響により、年度平均では割安感のある 10kg 袋へのシフトが引続きみられている。

しかし、月別に包装容量袋の販売状況を見ると、月次平均価格の上昇に伴って 10kg 袋の販売割合が徐々に減少し、代わりに 5kg 袋の販売割合が増加する傾向がみられる。また東海ブロックでは 5kg 袋とともに 2kg 袋の販売割合の増加が顕著にみられている。

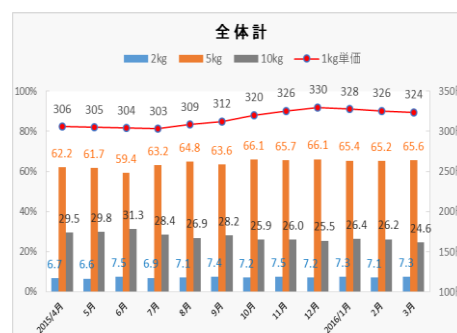
このように 2015 年度では、月次平均価格の上昇に伴い、10kg 袋シフトから一転、家庭内消費量に見合う 5kg 袋、2kg 袋への回帰が発生していることが分かる。

2015 年度においては年度前半の安値、後半の高値という価格動向が発生したため、包装容量袋別の販売状況は、年度を平均してしまうと安値の影響にがみられ、10kg 袋の増加となっているが、月次推移では高値の影響がみられ、10kg 袋の販売割合は徐々に減少しているという稀有な状況となっている。

なお、最近クローズアップされている 2kg 未満の小容量袋や 1 合パック詰め商品などは「その他」として集計されているが、その他の販売割合は前年度、前々年度を下回る状況となっており、量販店等が中心の POS データからは、それら商品の販売割合の増加は明らかとなっていない。



	包装容量別販売割合(全体%)				参考(円)	1kg当たり平均単価の月次増減率との相関				参考(円)
	2kg袋	5kg袋	10kg袋	その他		2kg袋販売割合	5kg袋販売割合	10kg袋販売割合	販売割合	
2015年度	7.0	64.2	27.5	1.3	314	0.44	0.83	-0.85	280.80	
2014年度	6.8	63.2	28.5	1.5	291	-0.24	0.58	0.19	180.83	
2013年度	6.9	66.8	24.3	2.0	373	0.86	0.64	-0.67	310.23	
2012-2014年	0.2	▲1.0	1.0	▲0.2	▲12	-0.55	0.67	-0.42	120.33	
2015-2013年	0.1	▲2.6	3.2	▲0.7	▲59	-0.45	0.45	-0.39	100.80	
						0.83	0.77	-0.80	410.79	
						0.90	0.47	-0.64	280.82	
						0.52	0.90	-0.91	180.59	
						-0.14	0.25	-0.28	330.71	



2. ブロック別の動向

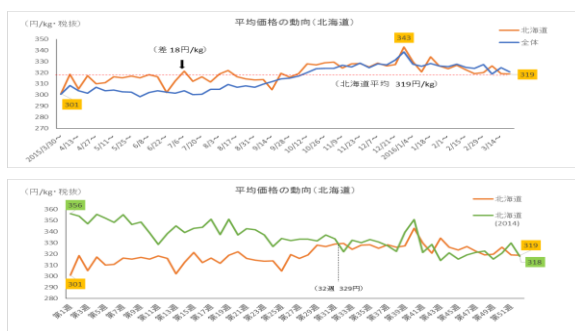
(1) 北海道ブロック

① 価格の動向

ア. 1kg 当たり販売価格

2015 年度における 1kg 当たりのブロック毎の平均価格は下表のとおりで、北海道ブロックでは 319 円/kg、全体比+5 円/kg、前年度比▲16 円/kg となっている。全体平均価格と同様に、年度末に向けて緩やかな値上がり基調となっている。年度初めの価格は、前年度比▲55 円/kg (▲15.4%) と年度最低価格 (301 円/kg) であった。その後、平均価格は一旦値上がりし、概ね年度平均価格水準で推移している。本格的な新米 (2015 年産米) シーズンとなる 9 月末以降は徐々に値上がりし、第 30 週 (10 月 19 日～) に前年度の販売価格に並び、第 40 週 (12 月 28 日～) には年度最高価格の 343 円/kg となっている。その後は若干の値下がりとなり、年度末には前年度比+1 円/kg (+0.3%) の 319 円/kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.11% ずつの値上がりとなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 15 週 (7 月 6 日～) の+18 円/kg となっている。

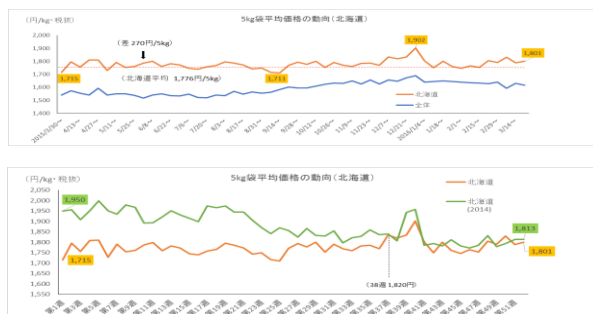
2015年度	平均価格 (円/kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	314	11	0.13	326	▲3.6
北海道	319	8	0.11	335	▲4.8
東北	331	23	0.20	341	▲3.0
関東	287	13	0.14	301	▲4.5
京浜	357	10	0.02	361	▲1.2
北陸	310	9	0.09	322	▲3.7
東海	308	15	0.19	332	▲7.1
近畿	311	10	0.10	326	▲4.6
中国四国	304	10	0.13	310	▲2.1
九州	318	14	0.11	328	▲3.2



イ. 5kg 袋の販売価格

2015 年度における 5kg 袋のブロック毎の平均価格は下表のとおりで、北海道ブロックは 1,776 円/5kg で、全体比+186 円/5kg、前年度比▲101 円/5kg となっている。年度を通して全体平均価格を上回って推移しているが、前年度との比較では概ね下回って推移している。年度初めに前年度比▲235 円/5kg (▲12.1%) であった最低価格 (1,715 円/5kg) は横ばい～若干の値上がりで推移し、第 38 週 (12 月 14 日～) に前年度の販売価格に並んでいる。第 40 週 (12 月 28 日～) には年度最高価格の 1,902 円/5kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.1% ずつの値上がりとなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 10 週 (6 月 1 日～) の+270 円/5kg となっている。

2015年度	平均価格 (円/5kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/5kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	1,590	47	0.10	1,655	▲4.0
北海道	1,776	34	0.10	1,877	▲5.4
東北	1,638	84	0.19	1,824	▲10.2
関東	1,453	67	0.13	1,532	▲5.2
京浜	1,712	48	0.01	1,746	▲2.0
北陸	1,705	63	0.10	1,768	▲3.6
東海	1,651	56	0.12	1,712	▲3.6
近畿	1,523	45	0.13	1,605	▲5.1
中国四国	1,544	34	0.08	1,591	▲3.0
九州	1,574	65	0.11	1,629	▲3.3



2015 年度におけるブロック毎の販売数量に占めるブロック内産の割合は下表のとおりで、北海道ブロックでは道内産シェアが **75.9%** となっており、前年度より **+2.9** ポイント増えている。他県産では茨城県産が **7.9%**（前年度比 **▲3.0** ポイント）、新潟県産が **5.5%**（同 **▲0.6** ポイント）と、北海道産のみ拡大している。

平均価格以上で販売されているのは青森青天の霹靂など 12 銘柄（前年度比▲1 銘柄）で、うち道内産が 3 銘柄（同▲3 銘柄）。平均価格未満は 12 銘柄等（同+3 銘柄）となっている。また青森青天の霹靂、北海道ゆきひかり、熊本森のくまさん、宮城コシヒカリ、山形はえぬき、宮城ひとめぼれの 6 銘柄がランクインし、山形ひとめぼれ、山形あきたこまち、千葉コシヒカリが圏外となっている。

表 1: 人员基本信息与考核数据 (共 30 行)																		姓名
姓名	性别	年龄	身高 (cm)	体重 (kg)	视力 (左)	视力 (右)	听力 (左)	听力 (右)	嗅觉	味觉	触觉	运动能力	语言能力	思维能力	情感能力	意志品质	综合评价	备注
张三	男	25	175	70	5.0	5.0	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	85	无异常
李四	女	28	160	55	4.8	4.9	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	82	无异常
王五	男	30	180	75	5.2	5.1	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	88	无异常
赵六	女	22	155	50	4.9	4.8	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	80	无异常
孙七	男	27	170	65	5.0	5.0	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	83	无异常
周八	女	29	165	58	4.7	4.8	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	81	无异常
吴九	男	31	185	78	5.1	5.2	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	89	无异常
郑十	女	24	158	52	4.9	4.9	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	84	无异常
冯十一	男	26	172	68	5.0	5.0	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	86	无异常
陈十二	女	32	170	60	4.8	4.8	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	80	无异常
林十三	男	29	178	72	5.1	5.1	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	87	无异常
周十四	女	27	162	56	4.9	4.9	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	83	无异常
吴十五	男	33	188	80	5.2	5.2	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	90	无异常
郑十六	女	23	156	51	4.8	4.8	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	82	无异常
冯十七	男	25	174	69	5.0	5.0	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	86	无异常
陈十八	女	30	168	59	4.9	4.9	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	81	无异常
林十九	男	28	176	71	5.1	5.1	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	87	无异常
周三十	女	26	160	54	4.8	4.8	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	83	无异常
吴三十一	男	34	190	82	5.2	5.2	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	91	无异常
郑三十二	女	24	157	52	4.9	4.9	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	84	无异常
冯三十三	男	27	173	70	5.0	5.0	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	87	无异常
陈三十四	女	31	169	60	4.9	4.9	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	82	无异常
林三十五	男	29	177	73	5.1	5.1	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	88	无异常
周三十六	女	28	163	57	4.8	4.8	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	84	无异常
吴三十七	男	35	192	84	5.2	5.2	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	92	无异常
郑三十八	女	25	159	53	4.9	4.9	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	85	无异常
冯三十九	男	26	175	71	5.0	5.0	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	87	无异常
陈四十	女	32	171	61	4.8	4.8	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	81	无异常
林四十一	男	30	179	74	5.1	5.1	正常	正常	正常	正常	正常	良好	流利	清晰	积极	坚韧	89	无异常

北海道	産地産品種	平均価格	販売割合	産地産品種	平均価格	販売割合
	青森 晴天の霞雲	555	0.0	北海道 ほろろき	309	8.0
	魚沼 コシヒカリ	532	0.4	北海道 ほしらのゆめ	305	2.5
	北海道 ゆめぴりか	471	13.6	茨城 コシヒカリ	286	4.2
	山形 つや姫	412	0.3	北海道 きらら397	282	0.2
	北海道 ゆめぴりか	403	0.0	北海道 ななつぼし	282	33.4
	熊本 森のきまぐら	401	0.0	北海道 きたぐりん	280	7.2
	新潟 コシヒカリ	397	4.5	ブランド米	279	6.2
	宮城 コシヒカリ	374	0.0	茨城 あきたこまち	265	3.6
	富山 コシヒカリ	372	0.4	岩手 あきたこまち	251	1.5
	北海道 ふっくりんこ	346	7.5	山形 はけあき	250	0.1
	秋田 あきたこまち	328	1.6	宮城 ひとめぼれ	235	0.4
	新潟 こしひかり	321	0.5	宮崎 コシヒカリ	233	0.5
	1kgあたり平均価格(北海道)	319				

下線は2015年度にランクインした産地品種

平成30年度産地別米等の平均価格・販売割合の分布（北海道：上位30産地別米等）
（単位：円/kg(税抜)）

平均価格

販売割合

（単位：円/kg(税抜)）

（単位：%

産地別米等	販売割合 (%)	平均価格 (円/kg(税抜))
魚沼 コシヒカリ	0.5	495
山形 つや姫	1.0	395
新潟 コシヒカリ	5.0	390
富山 コシヒカリ	1.0	385
宮城 コシヒカリ	1.0	380
秋田 あきたこまち	2.0	350
北海道 ふっくりんこ	8.0	350
北海道 ゆめぴりか	14.0	440
新潟 こいぶき	0.5	320
北海道 ほしのゆめ	3.0	320
茨城 コシヒカリ	4.0	300
北海道 おぼろづき	9.0	300
北海道 きらら397	4.0	290
ブレンド米	6.0	280
北海道 きたくりん	7.0	280
山形 はえぬき	1.0	260
茨城 あきたこまち	4.0	250
岩手 あきたこまち	2.0	245
北海道 ななつぼし	33.0	270

	産地品種	販売割合	平均価格
1	北海道 なまほし	33.4 (-3.0)	282 (-17)
2	北海道 ゆめりか	13.6 (-0.4)	471 (-3)
3	北海道 おぼろき	8.0 (-3.4)	309 (-60)
4	北海道 ぶっくらんこ	7.5 (-0.9)	346 (-7)
5	北海道 きたくらひ	7.2 (+7.0)	280 (-95)
6	ブランド米	6.2 (-2.8)	279 (-15)
7	新潟 コシヒカリ	4.5 (-0.2)	397 (-17)
8	茨城 コシヒカリ	4.2 (-2.4)	286 (-8)
9	茨城 あきたこまち	3.6 (-0.7)	265 (-1)
10	北海道 ほしのめ	2.5 (-0.4)	305 (-35)

	産地品種	販売割合	平均価格
11	秋田 あきたこまち	1.6 (+0.5)	328 (-64)
12	青森 あきたこまち	1.5 (+0.3)	251 (-27)
13	新潟 こしひかり	0.5 (+0.6)	321 (+1)
14	宮崎 コシヒカリ	0.5 (-0.1)	233 (-69)
15	岡山 コシヒカリ	0.4 (-0.1)	372 (-15)
16	香城 ひとめぼれ	0.4 -	235 -
17	徳島 コシヒカリ	0.4 (0.0)	532 (-11)
18	山形 つや姫	0.3 (0.0)	412 (+10)
19	北海道 きらら397	0.2 (-0.3)	282 (+20)
20	山形 はえぬき	0.1 -	250 -

(単位: %、円/kg(税別))		
産地品種	販売割合	平均価格
青森 緑天の露露	0.0	555
宮城 コシヒカリ	0.01	374
北海道 ゆきひかり	0.01	403 (+16%)
熊本 森のくまさん	0.00	401
△ 注		△10 (-17%)

注1：集計対象はうるち精米（慣行栽培米、特別栽培米、有機栽培米を含む）。
注2：販売割合はうるち精米の総重量に占める割合。（）内は前年の販売割合との差（ポイント）。
注3：平均価格は当該産地品種の加重平均価格（税抜）。（）内は前年の平均価格との差。

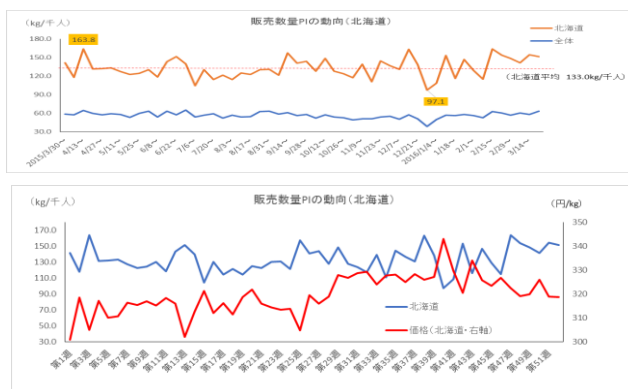
②販売数量 PI の動向

ア．販売数量 PI

2015 年度におけるブロック毎の平均販売数量 PI は下表のとおりで、北海道ブロックの平均販売数量 PI は前年度（131.5kg/千人）より+1.5kg/千人（+1.1%）となる133.0kg/千人となっている。平均販売数量 PI が最も多かったのは第3週（4月13日～）の163.8kg/千人で、最も少なかったのは第40週（12月28日～）の97.1kg/千人となっている。第3週は1kg 当たり平均価格が2番目に安かった週であり、第40週は最も高かった週であったことが平均販売数量 PI に影響していることが伺えるが、北海道ブロックでの1kg 当たり平均価格と平均販売数量 PI との間には、明確な相関関係は認められない。

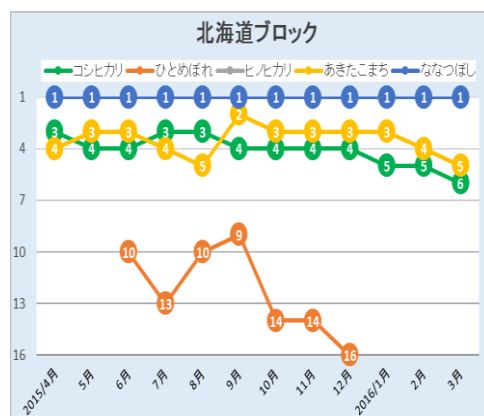
なお北海道ブロックの平均販売数量 PI は全国平均の約2.3倍と、前年度同様に全ブロック中最も高くなっている。

2015年度	平均販売数量 PI (kg/千人)	同左 前年度比 (%)	平均販売数量 PI 標準偏差	(参考)	
				平均販売数量 PI (全体を100として 指数化)	同左指数の 前年度対比 (2015/2014)
全体	56.6	▲2.6	4.8	100.0	—
北海道	133.0	▲1.1	15.8	234.9	1.0
東北	18.5	▲5.7	2.8	32.6	1.0
関東	64.6	0.0	7.4	114.0	1.0
京浜	57.6	▲6.5	8.8	101.7	1.0
北陸	33.7	▲2.7	4.6	59.5	1.0
東海	66.8	35.5	10.9	118.0	1.4
近畿	59.7	▲1.5	5.3	105.5	1.0
中国四国	39.3	▲9.2	4.9	69.4	0.9
九州	61.0	▲7.9	9.2	107.8	0.9



イ．全国作付比率上位5品種の販売量

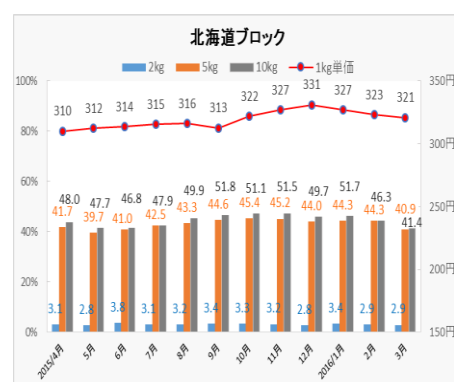
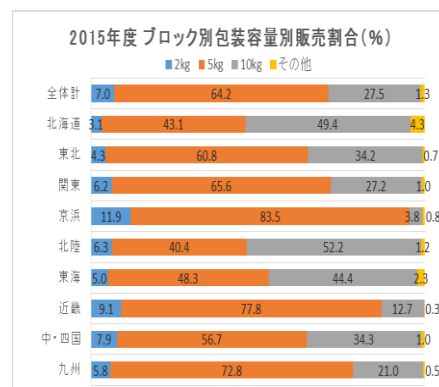
作付比率上位5品種（コシヒカリ、ひとめぼれ、ヒノヒカリ、あきたこまち、ななつぼし）の月別販売量の関係を見ると、前年度同様に道内作付比率1位であり全国作付比率5位のななつぼしが通年で1位となっている。また、作付比率最上位品種のコシヒカリは3～6位の間を、あきたこまちは2～5位の間を変動している。なお、ひとめぼれは6月～12月にかけてスポット的に取り扱われている。なお POS データ上、北海道ブロックでは、西日本が主産地であるヒノヒカリの実績はない。



③包装容量別販売割合の動向

2015年度における北海道ブロックの包装容量別販売割合は、2kg 袋が 3.1%（前年度同）、5kg 袋が 43.1%（同+2.3 ポイント）、10kg 袋が 49.4%（同▲6.5 ポイント）となっている。10kg 袋の販売割合が減少し 5kg 袋とその他の販売割合が増加している。10kg 袋の販売割合は、前年度比で減少したとはいえ、依然として北陸ブロックに次ぐ高い割合となっている。

月次推移をみると、10kg 袋の販売割合は、月次平均価格の値上がりにもかかわらず、年度を通して 1 位を維持している。10kg 袋も含めた各容量袋の販売割合と月次平均価格の間には、明確な相関は認められない。



	1kg 当たり平均単価の月次推移との相関		
	2kg 袋 販売割合	5kg 袋 販売割合	10kg 袋 販売割合
全体	0.44	0.83	-0.85
北海道	-0.24	0.59	0.19
東北	0.66	0.64	-0.67
関東	0.55	0.55	-0.62
京浜	-0.55	0.67	-0.42
北陸	-0.45	0.45	-0.39
東海	0.83	0.77	-0.80
近畿	0.90	0.47	-0.64
中国四国	0.52	0.90	-0.91
九州	-0.14	0.25	-0.26

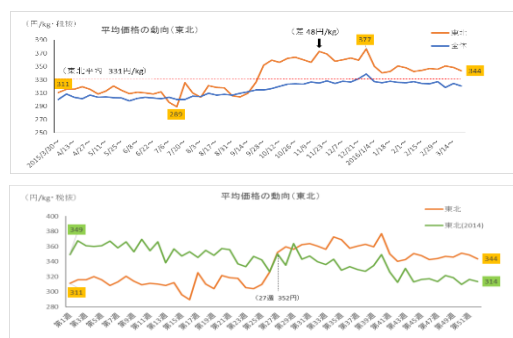
(2) 東北ブロック

①価格の動向

ア. 1kg 当たり販売価格

2015 年度における東北ブロックの平均価格は 331 円/kg で、全体比+17 円/kg、前年度比▲10 円/kg となっており、一時的な値下がりはあるものの、年度を通して概ね全体平均価格を上回って推移している。年度初めに前年度比▲38 円/kg (▲10.9%) であった販売価格 (311 円/kg) は、第 16 週 (7 月 13 日～) に年度最低価格の 289 円/kg となったものの、9 月半ばまで、概ね全体平均価格を上回る水準で推移している。本格的な新米(2015 年産米)シーズンとなる 9 月末頃以降は一気に 50 円/kg 程度値上がりし、第 27 週 (9 月 28 日～) に前年度の販売価格に並び、第 40 週 (12 月 28 日～) には年度最高価格の 377 円/kg となっている。年明け以降に値下がりした後、年度末には前年度比+30 円/kg (+9.6%) の 344 円/kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.20% ずつの値上がりとなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 34 週 (11 月 16 日～) の+48 円/kg となっている。

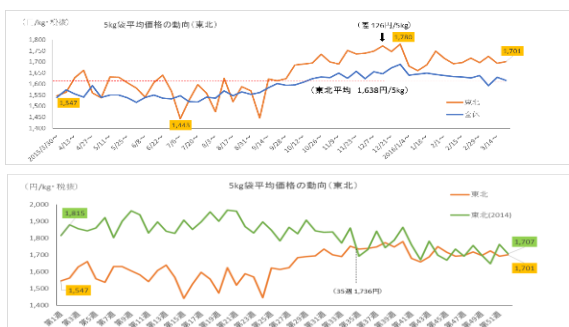
2015 年度	平均価格 (円/kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014 年度 平均価格 (円/kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	314	11	0.13	326	▲3.6
北海道	319	8	0.11	335	▲4.8
東北	331	23	0.20	341	▲3.0
関東	287	13	0.14	301	▲4.5
京浜	357	10	0.02	361	▲1.2
北陸	310	9	0.09	322	▲3.7
東海	308	15	0.19	332	▲7.1
近畿	311	10	0.10	326	▲4.6
中国四国	304	10	0.13	310	▲2.1
九州	318	14	0.11	328	▲3.2



イ. 5kg 袋の販売価格

2015 年度における東北ブロックの平均価格は 1,638 円/5kg で、全体比+48 円/5kg、前年度比▲186 円/5kg となっている。年度初めに前年度比▲268 円/5kg (▲14.8%) であった販売価格 (1,547 円/5kg) は、9 月初めまでは年度平均価格を上下しながら推移し、第 15 週 (7 月 6 日～) には年度最低価格の 1,443 円/5kg となった。9 月半ば以降は徐々に値上がりし、第 35 週 (11 月 23 日～) に前年度の販売価格に並んだ後、第 40 週 (12 月 28 日～) には年度最高価格の 1,780 円/5kg となっている。年明けに一旦値下がりした後、再び値上がりし、年度末には前年度とほぼ同水準の 1,701 円/5kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.19% ずつの値上がりとなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 38 週 (12 月 14 日～) の+126 円/5kg となっている。

2015 年度	平均価格 (円/5kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014 年度 平均価格 (円/5kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	1,590	47	0.10	1,655	▲4.0
北海道	1,776	34	0.10	1,877	▲5.4
東北	1,638	84	0.19	1,824	▲10.2
関東	1,453	67	0.13	1,532	▲5.2
京浜	1,712	48	0.01	1,746	▲2.0
北陸	1,705	63	0.10	1,768	▲3.6
東海	1,651	56	0.12	1,712	▲3.6
近畿	1,523	45	0.13	1,605	▲5.1
中国四国	1,544	34	0.08	1,591	▲3.0
九州	1,574	65	0.11	1,629	▲3.3



2015 年度における販売数量に占める東北ブロック産の割合は下表のとおり 75.6% となっており、前年度より▲0.5 ポイントとなっている。ブロック内では青森県産が前年度比+7.4%とシェアを拡大している。他県産では新潟県産が 18.5%（前年度比▲0.2 ポイント）となっており最も大きなシェアを占めている。

平均価格以上で販売されているのは青森青天の霹靂など 15 銘柄等（前年度同）で、うちブロック内産が 7 銘柄（前年度同）。平均価格未満は 12 銘柄（同+3 銘柄）となっている。また青森青天の霹靂、茨城あきたこまちがランクインし、北海道きらら 397、茨城コシヒカリが圏外となっている。

東北					
産地品種	平均価格	販売割合	産地品種	平均価格	販売割合
京都 コシヒカリ	718	0.0	宮城 つや姫	329	0.1
新潟 みずほの輝き	711	0.0	北海道 ななつぼし	329	1.0
魚沼 コシヒカリ	515	1.9	山形 コシヒカリ	322	0.7
青森 国太の最良	481	0.9	富士 コシヒカリ	316	0.2
山形 つや姫	444	15.7	岩手 ひめじはれ	308	1.1
宮城 たきたて	440	0.0	宮城 ひめじはれ	301	17.2
ブランド米	431	0.4	茨城 あきたこまち	293	0.4
山形 ササニシキ	422	0.1	山形 はねぐさ	292	2.5
北海道 ゆめぴりか	413	2.0	秋田 あきたこまち	289	14.6
山形 あきたこまち	366	0.3	岩手 とんぶりゃり	266	0.1
宮城 コシヒカリ	363	2.0	福島 ひめじはれ	263	3.6
新潟 こいひき	362	2.9	青森 つがるロマン	250	15.3
宮崎 コシヒカリ	336	0.1			
新潟 コシヒカリ	334	13.7			
福島 コシヒカリ	333	2.5			
1kg当たり平均単価(東北)	331				

下線は2015年度にラウンジメント産地品種

下線は2015年度にランクインした産地品種

（単位：円/kg(概換））

平均価格

販売割合

（単位：％）

ブランド名	販売割合 (%)	平均価格 (円/kg)
京都コシヒカリ	0.5	690
新潟 みずほの輝き	0.8	670
魚沼 コシヒカリ	3.5	510
青森 晴天の露塵	2.5	480
宮城 たきたて	1.5	440
ブレンド米	1.8	430
山形 ササニシキ	1.2	410
山形 あきたこまち	1.5	390
宮崎 コシヒカリ	2.2	380
宮城 コシヒカリ	2.8	370
北海道 ゆめぴりか	3.2	360
宮城 ササニシキ	3.8	350
新潟 こしいぶき	4.2	340
福島 コシヒカリ	3.5	330
北海道 ななつぼし	3.8	320
山形 はえぬき	3.2	310
山形 コシヒカリ	2.8	300
茨城 あきたこまち	2.5	290
岩手 どんぴしゃり	1.8	280
岩手 ひとめぼれ	2.2	270
山形 ひとめぼれ	3.5	260
福島 ひとめぼれ	3.8	250
宮城 つや庵	0.2	340
富山 コシヒカリ	0.5	330
新潟 コシヒカリ	14.5	320
宮城 ひとめぼれ	16.5	310
秋田 あきたこまち	15.5	300
青森 つがるロマン	16.5	250

		(単位：％、円/kg(当炭))		
産地産種		販売割合	平均価格	
21	宮崎 コシヒカリ	0.14	(0.0)	336 (0)
22	宮崎 つや姫	0.14	(+0.1)	329 (+3)
23	香茅 どんひしゃり	0.13	(+0.1)	266 (+4)
24	山形 ササニシキ	0.10	(0.0)	422 (+14)
25	宮崎 たきたて	0.03	(0.0)	440 (-3)
26	京都 コシヒカリ	0.01	(0.0)	718 (0)
27	新潟 みずひの輝き	0.01	(0.0)	711 (-7)
28				
29				
30				
全 体				331 (-16)

注1：集計対象はうるち精米（慣行栽培米、特別栽培米、有機栽培米を含む）。
注2：販売割合はうるち精米の総重量に占める割合。（1）内は前年の販売割合との差（ポイント）。
注3：平均価格は当該産地品種の加重平均価格（割抜）。（1）内は前年の平均価格との差。

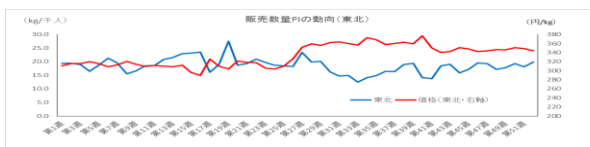
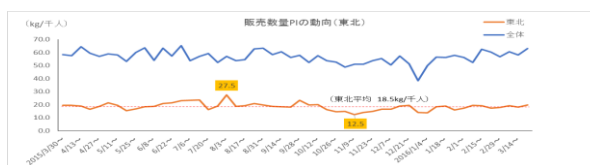
②販売数量 PI の動向

ア．販売数量 PI

2015 年度における東北ブロックの平均販売数量 PI は、前年度（19.6kg/千人）より ▲1.1kg/千人（▲5.6%）となる 18.5kg/千人となっている。平均販売数量 PI が最も多かったのは第 19 週（8 月 3 日～）の 27.5kg/千人で、最も少なかったのは第 33 週（11 月 9 日～）の 12.5kg/千人となっている。1kg 当たり平均価格と販売数量 PI の関係をみると、新米（2015 年産米）の本格的なシーズンとなる 9 月末頃からは、価格の上昇に対して販売数量 PI が減少しているようにはみえるが、明確な相関は認められない。年度を通じて 1kg 当たり平均価格と平均販売数量 PI との間には、明確な相関は認められない。

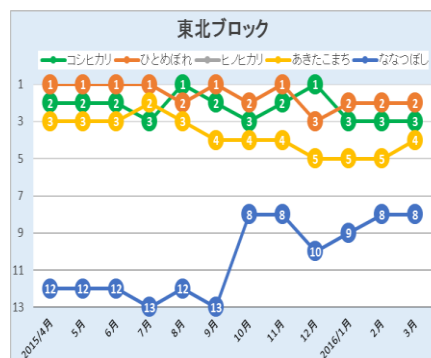
なお東北ブロックの平均販売数量 PI は全国平均の約 1/3 と、前年度同様に全ブロック中最も少なくなっている。

2015 年度	平均販売数量 PI (kg/千人)	同左 前年度比 (%)	平均販売数量 PI 標準偏差	(参考)	
				平均販売数量 PI (全体を100として 指数化)	同左指数の 前年度対比 (2015/2014)
全体	56.6	▲2.6	4.8	100.0	—
北海道	133.0	1.1	15.8	234.9	1.0
東北	18.5	▲5.7	2.8	32.6	1.0
関東	64.6	0.0	7.4	114.0	1.0
京浜	57.6	▲6.5	8.8	101.7	1.0
北陸	33.7	▲2.7	4.6	59.5	1.0
東海	66.8	35.5	10.9	118.0	1.4
近畿	59.7	▲1.5	5.3	105.5	1.0
中国四国	39.3	▲9.2	4.9	69.4	0.9
九州	61.0	▲7.9	9.2	107.8	0.9



イ．全国作付比率上位 5 品種の販売量

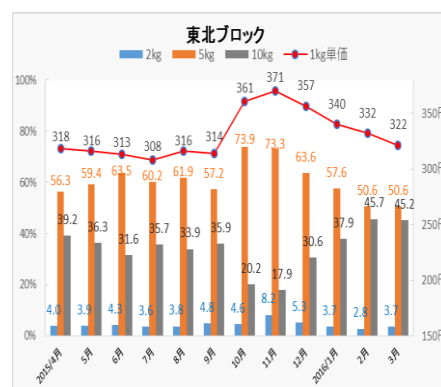
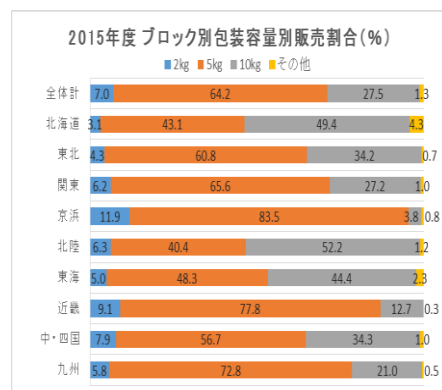
作付比率上位 5 品種（コシヒカリ、ひとめぼれ、ヒノヒカリ、あきたこまち、ななつぼし）の月別販売量の関係を見ると、右表のとおり、販売量は東北が主産地であるひとめぼれが 1～3 位を変動し、作付比率最上位品種のコシヒカリも 1～3 位の間を変動している。あきたこまちは 2～5 位の間を変動している。なお北海道ななつぼしは、前年度はスポット的な販売であったが、2015 年度は通年で販売されている。なお POS データ上、東北ブロックでは、西日本が主産地であるヒノヒカリの販売実績はない。



③包装容量別販売割合の動向

2015 年度における東北ブロックの包装容量別販売割合は、2kg 袋が 4.3%（前年度+0.4 ポイント）、5kg 袋が 60.8%（同+0.3 ポイント）、10kg 袋が 34.2%（同+1.0 ポイント）となっている。その他が 1.7 ポイント減少した分、2～10kg 袋の販売割合がすべて増加している。

月次推移をみると、10 月以降は月次平均価格の上昇に伴って 10kg 袋の減少と 5kg 袋、2kg 袋の割合の増加がみられ、価格の低下とともに、10kg 袋の増加と 5kg 袋、2kg 袋の減少がみられる。



月次平均価格との相関(東北・10月—3月)

2kg袋	5kg袋	10kg袋
0.82	0.95	-0.96

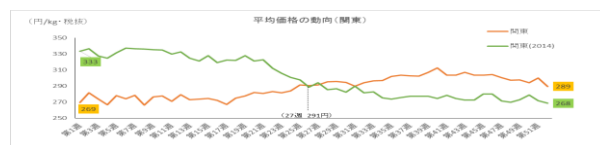
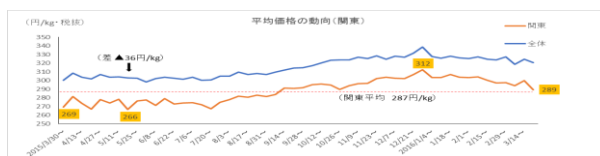
(3) 関東ブロック

①価格の動向

ア. 1kg 当たり販売価格

2015 年度における関東ブロックの平均価格は 287 円/kg で、全体比▲27 円/kg、前年度比▲14 円/kg となっており、年度を通して全体平均価格を下回って推移している。年度初めに前年度比▲64 円/kg (▲19.2%) であった販売価格 (269 円/kg) は、第 8 週 (5 月 18 日～) に年度最低価格の 266 円/kg となっている。その後は横ばいで推移した後、第 18 週 (7 月 27 日～) 辺りから徐々に値上がりし始め、第 27 週 (9 月 28 日～) に前年度の販売価格に並び、第 40 週 (12 月 28 日～) には年度最高価格の 312 円/kg となっている。年明け以降は再び値下がりへ転じ、年度末には前年度比+21 円/kg (+7.8%) の 289 円/kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.14% ずつの値上がりとなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 8 週の▲36 円/kg となっている。

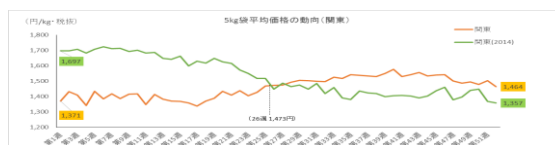
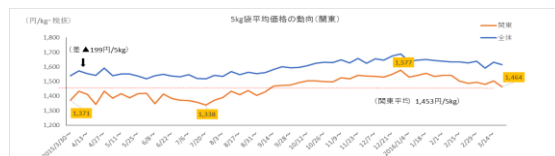
2015年度	平均価格 (円/kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	314	11	0.13	326	▲3.6
北海道	319	8	0.11	335	▲4.8
東北	331	23	0.20	341	▲10.0
関東	287	13	0.14	301	▲14.0
京浜	357	10	0.02	361	▲4.0
北陸	310	9	0.09	322	▲12.0
東海	308	15	0.19	332	▲3.2
近畿	311	10	0.10	326	▲15.0
中国四国	304	10	0.13	310	▲6.0
九州	318	14	0.11	328	▲10.0



イ. 5kg 袋の販売価格

2015 年度における関東ブロックの平均価格は 1,453 円/5kg で、全体比▲137 円/5kg、前年度比▲79 円/5kg となっている。年度初めに前年度比▲326 円/5kg (▲19.2%) であった販売価格 (1,371 円/5kg) は、第 17 週 (7 月 20 日～) に年度最低価格の 1,338 円/5kg を経た後値上がりへ転じ、第 26 週 (9 月 21 日～) に前年度の販売価格に並んでいる。第 40 週 (12 月 28 日～) には年度最高価格の 1,577 円/5kg となっている。年明け以降は値下がりへ転じ、年度末には前年度比+107 円/5kg (+7.9%) の 1,464 円/kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.13% ずつの値上がりとなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 4 週 (4 月 20 日～) の▲199 円/5kg となっている。

2015年度	平均価格 (円/5kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/5kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	1,590	47	0.10	1,655	▲4.0
北海道	1,776	34	0.10	1,877	▲5.4
東北	1,638	84	0.19	1,824	▲10.2
関東	1,453	67	0.13	1,532	▲5.2
京浜	1,712	48	0.01	1,746	▲2.0
北陸	1,705	63	0.10	1,768	▲3.6
東海	1,651	56	0.12	1,712	▲3.6
近畿	1,523	45	0.13	1,605	▲5.1
中国四国	1,544	34	0.08	1,591	▲3.0
九州	1,574	65	0.11	1,629	▲3.3



2015 年度における販売数量に占める関東ブロック産の割合は下表のとおり 52.2% となっており、前年度より▲0.6 ポイントとなっている。ブロック内では栃木県産 (23.1%) がシェアを拡大している一方、千葉県産 (3.4%)、茨城県産 (25.7%) のシェア縮小している。他県産では秋田県産 (11.7%)、北海道産 (10.1%) がシェアを拡大している。

平均価格以上で販売されているのは千葉県コシヒカリなど 11 銘柄等（前年度▲4 銘柄）で、うちブロック内産が 2 銘柄（前年度▲1 銘柄）。平均価格未満は 19 銘柄等（同+4 銘柄）となっている。また群馬あさひの夢、埼玉彩のかがやき、茨城はるみ、栃木とちぎの星のブロック内産銘柄がランクインし、茨城ミルキークイーン、熊本森のくまさん、青森まっしぐら、茨城ひとめぼれが圏外となっている。

開業			閉業		
産地品種	平均価格	販売割合	産地品種	平均価格	販売割合
魚沼 コシヒカリ	492	1.2	栃木 なすびかり	277	2.0
山形 つがる	406	1.0	秋田 あきたこまち	276	11.7
北海道 ゆめぴりか	380	3.2	茨城 コシヒカリ	268	17.7
新潟 コシヒカリ	362	7.9	新潟 こいしづき	264	0.8
千葉 コシヒカリ	333	1.7	千葉 ふさおとめ	264	1.0
富山 コシヒカリ	320	1.9	宮城 ひとめぼれ	261	0.4
北海道 ふっくらんこ	320	2.4	茨城 あきたこまち	260	6.9
宮崎 コシヒカリ	313	0.8	岩手 ひとめぼれ	258	1.1
北海道 ななつしほ	295	3.7	千葉 ふさおとめ	252	0.5
北海道 きらら397	291	0.8	山形 はえぬぎ	247	1.0
栃木 コシヒカリ	290	17.4	宮城 ササニキ	243	0.7
1kg当たり平均単価(開業)	287		ブランド米	238	5.7
			群馬 あさひの草	213	0.3
			青森 つがる白牡丹	212	0.4
			栃木 あまの星	212	1.8
			新潟 彩のかがやき	201	0.3
			茨城 ひとめぼれ	198	0.4
			茨城 はるみ	198	0.4
			栃木 とちのぞ	197	0.6

下線は2015年度にランクインした産地品種

（単位：円/kg(概換)）

平均価格

販売割合

（単位：%）

ブランド名	販売割合 (%)	平均価格 (円/kg)
魚沼 コシヒカリ	1.0	490
山形 つや姫	1.5	395
北海道 ゆめぴりか	3.5	385
新潟 コシヒカリ	8.0	375
千葉 コシヒカリ	0.5	355
富山 コシヒカリ	2.0	350
北海道 ふっくりんこ	2.5	345
宮崎 コシヒカリ	0.5	335
北海道 397	0.5	325
北海道 ななつぼし	4.0	325
千葉 ふさおとめ	2.0	320
新潟 いしづき	0.5	315
岩手 ひめぼれ	1.5	310
山形 はえぬき	1.5	305
宮城 ササニシキ	1.0	300
群馬 あさひの夢	0.5	295
青森 つがるロマン	1.5	290
埼玉 彩のかがやき	0.5	285
新潟 ちのち	0.5	280
茨城 はるみ	1.0	275
茨城 ゆめぴりか	0.5	270
栃木 なすひかり	2.5	265
茨城 あきたこまち	7.0	260
秋田 あきたこまち	12.0	255
茨城 コシヒカリ	17.0	250
栃木 コシヒカリ	16.5	245
ブレンド米	5.5	235

産地品種			産地品種			産地品種			(単位: %、円/kg(略称))		
	販売割合	平均価格		販売割合	平均価格		販売割合	平均価格		販売割合	平均価格
茨城 コシヒカリ	17.7 (+1.9)	268 (-7.9)	11 恵山 コシヒカリ	1.9 (-0.5)	320 (-1.7)	21 北海道 きさらぎ397	0.8 (-0.0)	291 (-3.5)			
栃木 コシヒカリ	17.4 (+1.4)	290 (-5.1)	12 栃木 あさひの夢	1.8 (-0.3)	212 (-1.9)	22 宮城 ササニシキ	0.7 (-0.1)	243 (-2.9)			
秋田 あさひこま	11.7 (+0.9)	276 (-2.4)	13 千葉 コシヒカリ	1.7 (-0.8)	333 (-1.1)	23 栃木 とちきの里	0.6 (+0.4)	197 (-1.1)			
新潟 コシヒカリ	7.9 (+0.1)	362 (-3.8)	14 千葉 コシヒカリ	1.2 (-0.4)	492 (+1.0)	24 千葉 とちぎの雪	0.5 (-0.0)	252 (-)			
群馬 コシヒカリ	6.8 (+0.5)	261 (-2.5)	15 青森 コシヒカリ	1.1 (-0.5)	258 (-3.5)	25 千葉 とちぎの雪	0.4 (-0.2)	136 (-5.6)			
山形 コシヒカリ	5.9 (+0.4)	238 (-3.0)	16 青森 ぶどうはら	1.0 (-0.4)	264 (+1.2)	26 茨城 ゆめはら	0.4 (-0.4)	261 (-7.8)			
ブランド米	3.7 (-1.1)	295 (-2.7)	17 千葉 あさひどめ	1.0 (-0.0)	264 (+2.0)	27 茨城 ゆめはら	0.4 (-0.4)	198 (-1.9)			
北海道 なまほし	3.2 (-1.1)	295 (-2.7)	18 山形 はえぬき	1.0 (+0.1)	247 (-6)	28 群馬 つがるロマン	0.4 (-0.1)	212 (-3.7)			
北海道 ゆめはら	3.2 (-0.6)	380 (-3.5)	19 新潟 こしひのき	0.8 (-0.4)	264 (-5)	29 新潟 あさひの夢	0.3 (-0.2)	213 (-4.7)			
北海道 とうりんこ	2.4 (-1.0)	320 (-1.1)	20 宮城 コシヒカリ	0.6 (-0.7)	313 (-1.1)	30 埼玉 彩のかがやき	0.3 (+0.2)	201 (-3.8)			
栃木 なすのり	2.0 (-1.0)	277 (-4)									
注1：資料に欠けふたつを2.0(産地販売 特別栽培米 右欄に販売割合を4.5%)											
						全 体			289 (-1.98)		

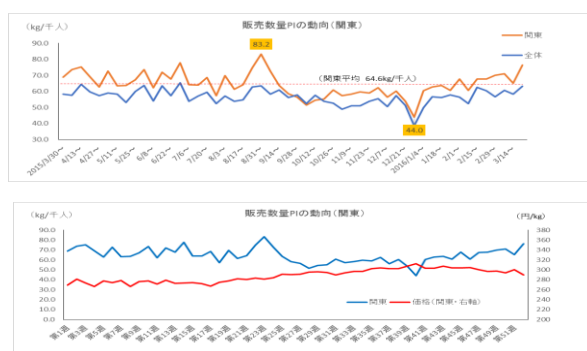
注1：集計対象はうるち精米（慣行栽培米、特別栽培米、有機栽培米を含む）。
注2：販売割合はうるち精米の総重量に占める割合。（）内は前年の販売割合との差（ポイント）。
注3：平均価格は当該産地品種の加重平均価格（税抜）。（）内は前年の平均価格との差。

②販売数量 PI の動向

ア．販売数量 PI

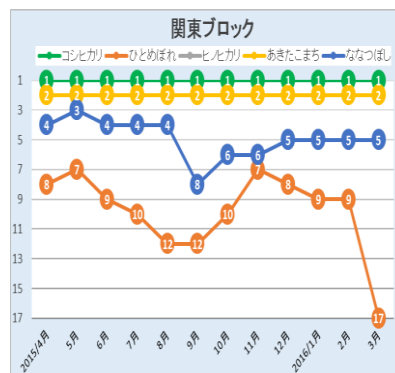
2015 年度における関東ブロックの平均販売数量 PI は、前年度同の 64.6kg/千人となっている。平均販売数量 PI が最も多かったのは第 23 週（8 月 31 日～）の 83.2kg/千人で、最も少なかったのは第 40 週（12 月 28 日～）の 44.0kg/千人となっている。販売数量 PI の最少のピークと 1kg 当たり販売価格の最高のピークとは概ね一致しているようにみえるが、年度を通じた 1kg 当たり平均価格と平均販売数量 PI との間には、明確な相関は認められない。ただし、第 40 週以降の 1kg 当たり平均価格と平均販売数量 PI との間には、強い負の相関が認められ（相関係数 -0.89 ）、価格低下による販売数量 PI の上昇が発生している。

2015 年度	平均販売数量 PI (kg/千人)	同左 前年度比 (%)	平均販売数量 PI 標準偏差	平均販売数量 PI (全体を100として 指数化)	同左指数の 前年度対比 (2015/2014)
全体	56.6	▲ 2.6	4.8	100.0	—
北海道	133.0	1.1	15.8	234.9	1.0
東北	18.5	▲ 5.7	2.8	32.6	1.0
関東	64.6	0.0	7.4	114.0	1.0
京浜	57.6	▲ 6.5	8.8	101.7	1.0
北陸	33.7	▲ 2.7	4.6	59.5	1.0
東海	66.8	35.5	10.9	118.0	1.4
近畿	59.7	▲ 1.5	5.3	105.5	1.0
中国四国	39.3	▲ 9.2	4.9	69.4	0.9
九州	61.0	▲ 7.9	9.2	107.8	0.9



イ．全国作付比率上位 5 品種の販売量

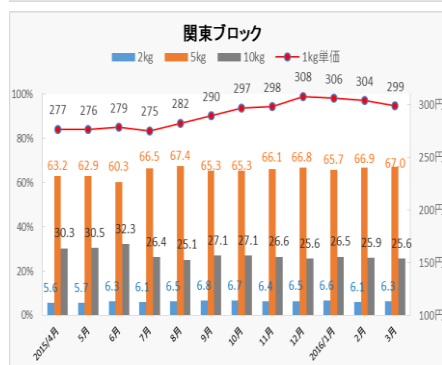
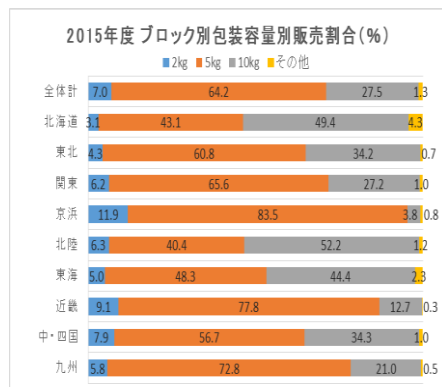
作付比率上位 5 品種（コシヒカリ、ひとめぼれ、ヒノヒカリ、あきたこまち、ななつぼし）の月別販売量の関係を見ると、右表のとおり、作付比率最上位品種のコシヒカリが通年で 1 位、あきたこまちが通年で 2 位と前年度同様の傾向がみられる。ななつぼしは 3～8 位の間を、ひとめぼれは 7～17 位の間を変動している。なお前年度の関東ブロックでは、西日本が主産地であるヒノヒカリがスポット的に販売されていたものの、2015 年度の POS データ上では、ヒノヒカリの販売実績はない。



③包装容量別販売割合の動向

2015 年度における関東ブロックの包装容量袋別販売割合は 2kg 袋が 6.2%（前年度比▲0.1 ポイント）、5kg 袋が 65.663.2%（同+2.4 ポイント）、10kg 袋が 27.2%（同▲2.2 ポイント）となっており、5kg 袋の販売割合のみ前年度に比べて増加している。

月次推移をみると、6 月までは 10kg 袋の販売割合が僅かずつ伸びていたが、月次平均価格が上昇に転じた 7 月以降は販売割合が 6 ポイント前後減少し、代わりに 5kg 袋の販売割合が微増となっている。1kg 当たり月次平均価格と包装容量袋別の販売割合には明確な相関は認められないものの、価格の上昇が 10kg 袋の販売割合減少の要因となっていることが伺える。



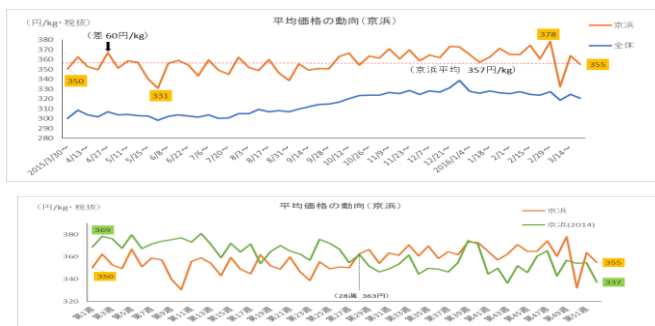
(4) 京浜ブロック

①価格の動向

ア. 1kg 当たり販売価格

2015 年度における京浜ブロックの平均価格は 357 円/kg で、全体比+43 円/kg、前年度比▲4 円/kg となっており、年度を通して全体平均価格を上回って推移している。年度初めに前年度比▲19 円/kg (▲5.14%) であった販売価格 (350 円/kg) は、第 10 週 (6 月 1 日～) に年度最低価格の 331 円/kg となつてはいるが、概ね横ばいで推移している。本格的な新米 (2015 年産米) シーズンとなる 9 月末頃以降は僅かずつ値上がりしており、第 28 週 (10 月 5 日～) に前年度の販売価格に並び、第 49 週 (2 月 29 日～) には年度最高価格の 378 円/kg となったが、3 月に値下がりがみられたことから、年度末の販売価格は前年度比+18 円/kg (+5.3%) の 355 円/kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.02% ずつの値上がりと、全ブロック中最も値上率が小さくなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 5 週 (4 月 27 日～) の+60 円/kg となっている。

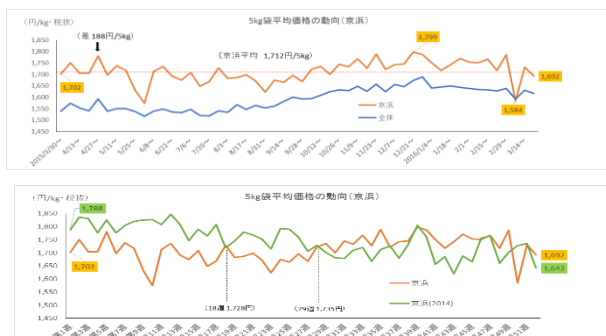
2015年度	平均価格 (円/kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	314	11	0.13	326	▲3.6
北海道	319	8	0.11	335	▲4.8
東北	331	23	0.20	341	▲3.0
関東	287	13	0.14	301	▲4.5
京浜	357	10	0.02	361	▲1.2
北陸	310	9	0.09	322	▲3.7
東海	308	15	0.19	332	▲7.1
近畿	311	10	0.10	326	▲4.6
中国四国	304	10	0.13	310	▲2.1
九州	318	14	0.11	328	▲3.2



イ. 5kg 袋の販売価格

2015 年度における京浜ブロックの平均価格は 1,712 円/5kg で、全体比+122 円/5kg、前年度比▲34 円/5kg となっている。年度初めに前年度比▲86 円/5kg (▲4.8%) であった販売価格 (1,702 円/5kg) は、年度平均水準を上下しながら徐々に値上がりし、第 18 週 (7 月 27 日～) に一旦前年度価格に並んでいる。その後、第 29 週 (10 月 12 日～) に再び前年度の販売価格に並び、第 39 週 (12 月 21 日～) には年度最高価格の 1,799 円/5kg となっている。年明け以降は、第 50 週 (3 月 7 日～) に年度最低価格 (1,584 円/5kg) となる値下がりがあったものの、全体平均及び前年度を上回って推移し、年度末の販売価格は、前年度+50 円/5kg (+3.0%) の 1,692 円/5kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.01% ずつの値上がりと、全ブロック中最も値上率が小さくなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 5 週 (4 月 27 日～) の+188 円/5kg となっている。

2015年度	平均価格 (円/5kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/5kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	1,590	47	0.10	1,655	▲4.0
北海道	1,776	34	0.10	1,877	▲5.4
東北	1,638	84	0.19	1,824	▲10.2
関東	1,453	67	0.13	1,532	▲5.2
京浜	1,712	48	0.01	1,746	▲2.0
北陸	1,705	63	0.10	1,768	▲3.6
東海	1,651	56	0.12	1,712	▲3.6
近畿	1,523	45	0.13	1,605	▲5.1
中国四国	1,544	34	0.08	1,591	▲3.0
九州	1,574	65	0.11	1,629	▲3.3

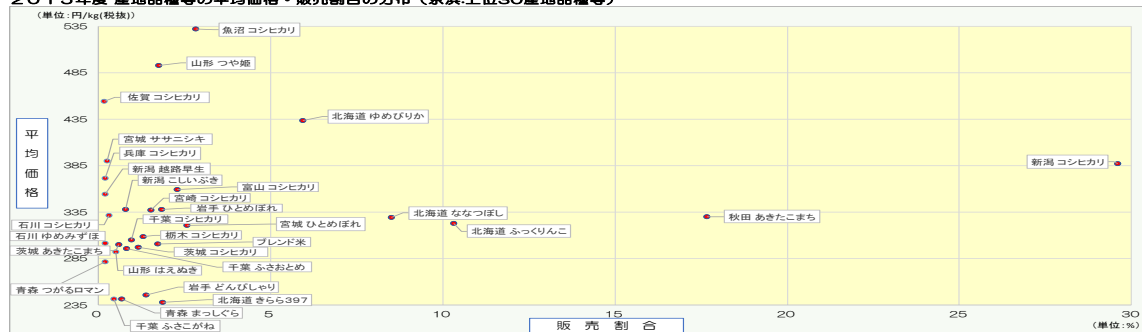


2015 年度における販売数量に占める産地割合は下表のとおりとなっており、新潟県産（33.7%）、北海道産（26.7%）がシェアを拡大している一方、秋田県産（17.8%）、岩手県産（3.3%）、宮城県産（2.8%）などのシェアが縮小している。

メーカ別生産実績(単位:千両)																					
年次	車種	軽乗用車	軽商用車	普通乗用車	普通商用車	軽トラック	普通トラック	軽四駆車	普通四駆車	軽貨物車	普通貨物車	軽バス	普通バス	軽トラック	普通トラック	軽四駆車	普通四駆車	軽貨物車	普通貨物車	軽バス	普通バス
2000	1	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2001	2	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2002	3	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2003	4	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2004	5	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2005	6	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2006	7	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2007	8	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2008	9	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2009	10	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2010	11	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2011	12	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2012	13	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2013	14	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2014	15	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2015	16	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100
2016	17	1,000	10	2,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100	10,000	100								

下線は2015年度にランクインした産地品種

(単位:円/kg(税抜))



	産地品種	販売先	平均価格 (単位: % B/kg(ポンド))
21	茨城 あきた21まち	0.6 (-1.4)	300 (-2.3)
22	山形 はえぬき	0.5 (0.0)	292 (-4.7)
23	千葉 ふさごがね	0.4 (-0.6)	241 (-3.1)
24	石川 コシヒナ	0.3 (+0.2)	231 (+7.7)
25	宮城 ササニシキ	0.2 (+0.2)	390 (-5.0)
26	新潟 越路早生	0.2 (0.0)	354 (-1.1)
27	青森 つがるロマン	0.2 (-0.3)	281 (-2.8)
28	兵庫 コシヒナ	0.2 (-0.1)	372 (-4.4)
29	石川 ゆめみずほ	0.2 (+0.1)	352 (-1.7)
30	佐賀 コシヒナ	0.2 (+0.1)	454 (+1.7)
	合計		363 (-1.2)

古手 ひこめはれ	18	(-0.8)	338	(-2.8)	20	青森 まつしぐら
----------	----	--------	-----	--------	----	----------

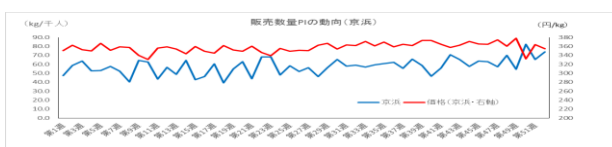
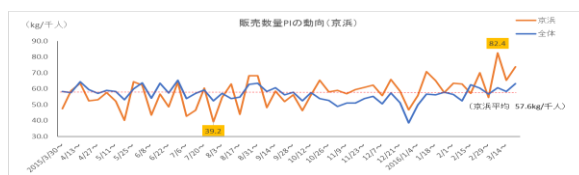
注1：集計対象はうるち精米（慣行栽培米、特別栽培米、有機栽培米を含む）。
 注2：販売割合はうるち精米の総重量に占める割合。（）内は前年の販売割合との差（ポイント）。
 注3：平均価格は当該年度品種の加重平均価格（税別）。（）内は前年の平均価格との差。

②販売数量 PI の動向

ア．販売数量 PI

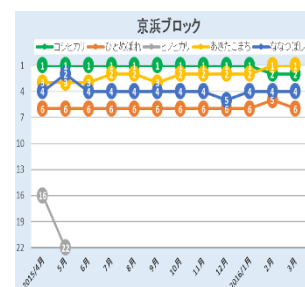
2015 年度における京浜ブロックの平均販売数量 PI は、前年度（61.6kg/千人）より ▲4.0kg/千人（▲6.5%）となる 57.6kg/千人となっている。年度を通じて全体平均の変動と概ね同期しながら推移している。平均販売数量 PI が最も多かったのは第 50 週（3 月 7 日～）の 82.4kg/千人で、最も少なかったのは第 18 週（7 月 27 日～）の 39.2kg/千人となっている。販売数量 PI の多・少のピークと 1kg 当たり販売価格の高・安のピークとは反比例の関係にあるようにみえるが、年度を通じた推移からは相関は認められない。

2015 年度	平均販売数量 PI (kg/千人)	同左 前年度比 (%)	平均販売数量 PI 標準偏差	(参考)	
				平均販売数量 PI (全体を100として 指数化)	同左指数の 前年度対比 (2015/2014)
全体	56.6	▲2.6	4.8	100.0	—
北海道	133.0	1.1	15.8	234.9	1.0
東北	18.5	▲5.7	2.8	32.6	1.0
関東	64.6	0.0	7.4	114.0	1.0
京浜	57.6	▲6.5	8.8	101.7	1.0
北陸	33.7	▲2.7	4.6	59.5	1.0
東海	66.8	35.5	10.9	118.0	1.4
近畿	59.7	▲1.5	5.3	105.5	1.0
中国四国	39.3	▲9.2	4.9	69.4	0.9
九州	61.0	▲7.9	9.2	107.8	0.9



イ．全国作付比率上位 5 品種の販売量

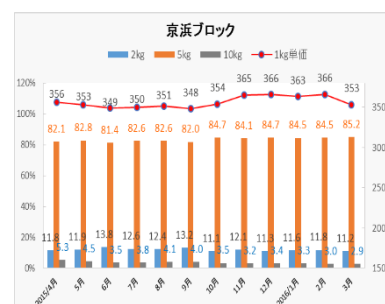
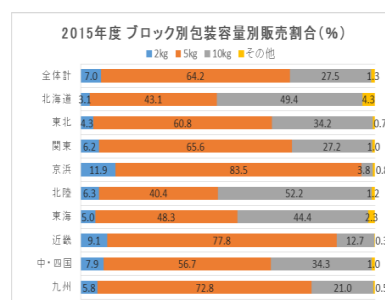
作付比率上位 5 品種（コシヒカリ、ひとめぼれ、ヒノヒカリ、あきたこまち、ななつぼし）の月別販売量の関係を見ると、右表のとおりヒノヒカリを除く 4 品種が、年間を通じて安定的に推移している。作付比率最上位品種のコシヒカリが 1～2 位となり、あきたこまちは 1～3 位を維持し、ななつぼしは 2～5 位を、ひとめぼれは概ね 6 位を維持している。なおヒノヒカリは 4～5 月にスポット的な扱いとなっている。



③包装容量別販売割合の動向

2015 年度における京浜ブロックの包装容器別販売割合は 2kg 袋が 11.9%（前年度比+1.8 ポイント）、5kg 袋が 83.5%（同▲2.0 ポイント）、10kg 袋が 3.8%（前年度同）となっており、2kg 袋の割合が前年度に比べて僅かに増加している。

月次推移を見ると、月次平均価格の変動は包装容量別販売割合に影響せず、年度を通じて一定の割合が維持されている。



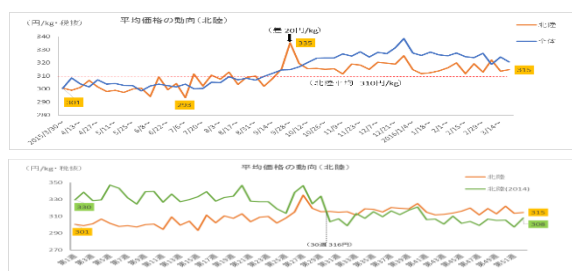
(5) 北陸ブロック（甲信地方含む）

①価格の動向

ア．1kg 当たり販売価格

2015 年度における北陸ブロックの平均価格は 310 円/kg で、全体比▲4 円/kg、前年度比▲12 円/kg となっている。9 月半ばまでは概ね全体平均水準で推移しているが、以降は全体平均価格を下回って推移している。年度初めに前年度比▲29 円/kg（▲8.8%）であった販売価格（301 円/kg）は第 15 週（7 月 6 日～）に年度最低価格の 293 円/kg となった後、徐々に値上がりし、第 27 週（9 月 28 日～）に年度最高価格の 335 円/kg となった後、第 30 週（10 月 19 日～）に前年度の販売価格に並んでいる。その後は概ね横ばいで推移し、年度末には前年度比+7 円/kg（+2.3%）の 315 円/kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.09% ずつの値上がりとなっており、京浜ブロックに次いで低い値上率となっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は、第 27 週の+20 円/kg となっている。

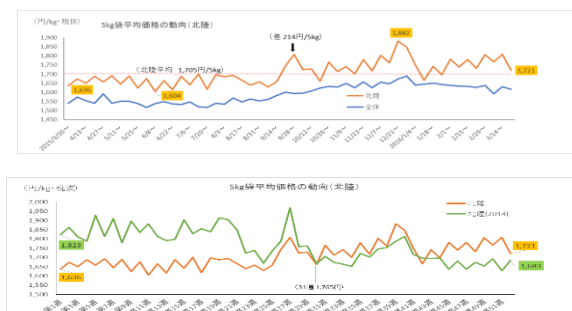
2015年度	平均価格 (円/kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	314	11	0.13	326	▲3.6
北海道	319	8	0.11	335	▲4.8
東北	331	23	0.20	341	▲3.0
関東	287	13	0.14	301	▲4.5
京浜	357	10	0.02	361	▲1.2
北陸	310	9	0.09	322	▲3.7
東海	308	15	0.19	332	▲7.1
近畿	311	10	0.10	326	▲4.6
中国四国	304	10	0.13	310	▲2.1
九州	318	14	0.11	328	▲3.2



イ．5kg 袋の販売価格

2015 年度における北陸ブロックの平均価格は 1,705 円/5kg で、全体比+115 円/5kg、前年度比▲63 円/5kg となっている。年度初めに前年度比▲187 円/5kg（▲10.3%）であった販売価格（1,636 円/5kg）は、第 11 週（6 月 8 日～）に年度最低価格の 1,604 円/5kg となるなど、9 月半ばまでは年度平均価格を概ね下回って推移している。以降は徐々に値上がりし、年度平均価格を概ね上回るようになる。第 31 週（10 月 26 日～）に前年度の販売価格に並ぶと、第 39 週（12 月 21 日～）には年度最高価格の 1,882 円/5kg となっている。その後、第 42 週（1 月 11 日～）にかけて値下がりしたが、第 43 週（1 月 18 日～）からは再び値上がりし、年度末には前年度比+38 円/5kg（+2.3%）の 1,721 円/5kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.1% ずつの値上がりとなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 27 週（9 月 28 日～）の+214 円/5kg となっている。

2015年度	平均価格 (円/5kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/5kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	1,590	47	0.10	1,655	▲4.0
北海道	1,776	34	0.10	1,877	▲5.4
東北	1,638	84	0.19	1,824	▲10.2
関東	1,453	67	0.13	1,532	▲5.2
京浜	1,712	48	0.01	1,746	▲2.0
北陸	1,705	63	0.10	1,768	▲3.6
東海	1,651	56	0.12	1,712	▲3.6
近畿	1,523	45	0.13	1,605	▲5.1
中国四国	1,544	34	0.08	1,591	▲3.0
九州	1,574	65	0.11	1,629	▲3.3



2015 年度における販売数量に占める北陸ブロック産の割合は下表のとおり 67.8% となっており、前年度より+0.2 ポイントとなっている。ブロック内では長野県産 (20.0%) がシェアを拡大している。他県産では宮城県産 (7.0%)、青森県産 (9.4%)、北海道産 (6.1%) がシェアを拡大している。

平均価格以上で販売されているのは山形つや姫など 19 銘柄（前年度+1 銘柄）で、うちブロック内産が 9 銘柄（前年度+1 銘柄）。平均価格未満は 11 銘柄等（同▲1 銘柄）となっている。また山形つや姫、岩手ひとめぼれ、福井あきさかり、秋田ひとめぼれがにランクインし、熊本ヒノヒカリ、茨城あきたこまち、長野キヌヒカリ、千葉ふさがねが圏外となっている。

産地品種	平均価格	販売割合	産地品種	平均価格	販売割合
山梨 コシヒカリ	654	0.0	新潟 しんがき	307	5.0
梨田 コシヒカリ	532	4.9	千葉 コシヒカリ	306	0.1
北海道 せめひかり	439	2.1	岐阜 コシヒカリ	289	21.1
長野 ミネキウーン	424	0.3	長野 きたかみたちち	285	4.6
京浜 ミネキウーン	416	0.1	千葉 きよさとみ	281	0.3
秋田 あきたこがね	395	0.6	山梨 たちめはれ	276	0.2
山梨 コシヒカリ	379	0.1	山梨 たちめはれ	276	0.3
山梨 コシヒカリ	373	0.2	青森 20	259	7.2
新潟 コシヒカリ	376	13.8	青森 きましろ	249	9.4
宮城 ササニシキ	354	0.3	栃木 コシヒカリ	200	0.6
宮城 コシヒカリ	354	0.7			
福井 あまのぼし	351	0.1			
新潟 越後早生	341	0.1			
長野 コシヒカリ	339	11.5			
福井 ハナエゼン	331	1.9			
新潟 きたかみたちち	329	6.5			
北海道 なまづし	329	4.0			
宮城 20	326	0.2			
山梨 たちめはれ	318	0.2			
山梨 たちめはれ(並後)	310	0.0			

（単位：円/kg（税別））

平均価格

販売割合

（単位：%）

ブランド	販売割合 (%)	平均価格 (円/kg)
山形 つや姫	0.2	650
魚沼 コシヒカリ	4.8	530
岩手 ひとめぼれ	0.8	460
茨城 ミルキークイーン	0.5	450
北海道 ゆめぴりか	4.2	445
長野 ミルキークイーン	0.5	425
秋田 あきたこまち	1.2	415
富山 コシヒカリ	1.5	405
山梨 コシヒカリ	2.5	395
宮城 ササニシキ	0.8	385
宮崎 コシヒカリ	2.2	375
福井 あきさかり	1.0	365
新潟 越後早生	0.2	355
宮城 ひとめぼれ	9.5	345
北海道 ななつぼし	7.5	340
新潟 コシヒカリ	14.2	370
長野 コシヒカリ	13.8	350
福井 ハナエチゼン	2.8	325
宮城 つや姫	0.5	315
千葉 コシヒカリ	1.2	305
新潟 こしいぶき	6.5	305
千葉 ふさおとめ	1.5	295
長野 風さやか	3.5	275
山梨 ヒタカリ	1.8	265
秋田 ひとめぼれ	0.8	255
栃木 コシヒカリ	0.5	245
長野 あきたこまち	5.5	285
ブレンド米	8.5	265
青森 まっしぐら	10.5	245
福井 コシヒカリ	20.5	275

注1：集計対象はうるち精米（慣行栽培米、特別栽培米、有機栽培米を含む）。
注2：販売割合はうるち精米の総重量に占める割合。（）内は前年の販売割合との差（ポイント）。
注3：平均価格は当該産地品種の加重平均価格（税抜）。（）内は前年の平均価格との差。

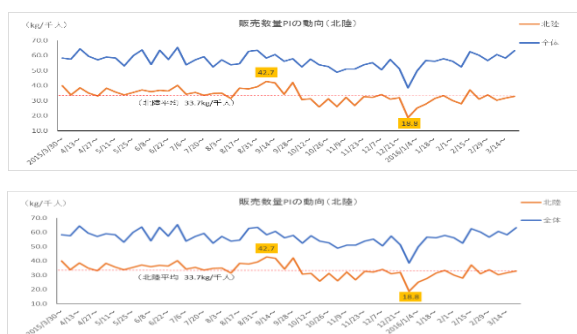
②販売数量 PI の動向

ア．販売数量 PI

2015 年度における北陸ブロックの平均販売数量 PI は、前年度（34.6kg/千人）より ▲0.9kg/千人（▲2.6%）となる 33.7kg/千人となっている。平均販売数量 PI が最も多かったのは第 24 週（9 月 7 日～）の 42.7kg/千人で、最も少なかったのは第 40 週（12 月 28 日～）の 18.8kg/千人となっている。販売数量 PI の多・少のピークと 1kg 当たり販売価格の高・安のピークとは反比例しているようにみえるが、年度を通した 1kg 当たり平均価格と平均販売数量 PI との間には、明確な相関は認められない。

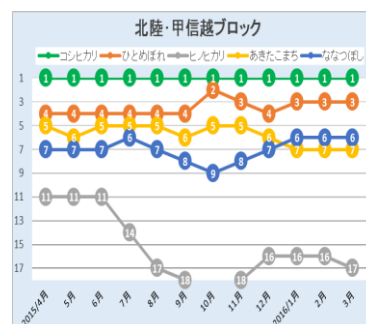
なお北陸ブロックの平均販売数量 PI は全国平均の約 1/2 と、前年度同様に全ブロック中 2 番目に少なくなっている。

2015年度	平均販売数量 PI (kg/千人)	同 前年度比 (%)	平均販売数量 PI 標準偏差	(参考)	
				平均販売数量 PI (全体を100として 指数化)	同指数の 前年度対比 (2015/2014)
全体	56.6	▲2.6	4.8	100.0	—
北海道	133.0	1.1	15.8	234.9	1.0
東北	18.5	▲5.7	2.8	32.6	1.0
関東	64.6	0.0	7.4	114.0	1.0
京浜	57.6	▲6.5	8.8	101.7	1.0
北陸	33.7	▲2.7	4.6	59.5	1.0
東海	66.8	35.5	10.9	118.0	1.4
近畿	59.7	▲1.5	5.3	105.5	1.0
中国四国	39.3	▲9.2	4.9	69.4	0.9
九州	61.0	▲7.9	9.2	107.8	0.9



イ．全国作付比率上位 5 品種の販売量

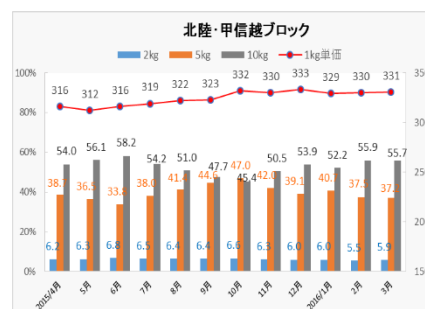
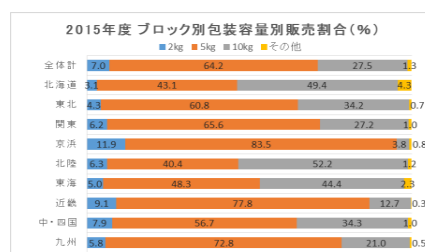
作付比率上位 5 品種（コシヒカリ、ひとめぼれ、ヒノヒカリ、あきたこまち、ななつぼし）の月別販売量の関係を見ると、右表のとおり作付比率最上位品種であり北陸が主産地であるコシヒカリが通年で 1 位となり、ひとめぼれは 2～4 位の間を、あきたこまちは 5～7 位の間を、ななつぼしは 6～9 位の間を変動している。ヒノヒカリは、POS データ上の販売実績がない 10 月を挟んで、11～18 位の間で変動している。



③包装容量別販売割合の動向

2015 年度における北陸ブロックの包装容器別販売割合は 2kg 袋が 6.3%（前年度比+0.5 ポイント）、5kg 袋が 40.4%（同+0.7 ポイント）、10kg 袋が 52.2%（同 ▲0.8 ポイント）となっており、10kg 袋の割合が前年度に比べて減少しているものの、前年度 1 位の北海道を抜いて全ブロック中最も割合が高くなっている。

月次推移をみると、6 月にかけて 5kg 袋と 10kg 袋の販売割合の差が拡大しているが、7 月～10 月には差が縮まり 11 月以降は再び差が拡大している。北陸ブロックの 5kg 袋と 10kg 袋の販売割合の間には、相関係数 -0.99 という強い負の相関が認められる。



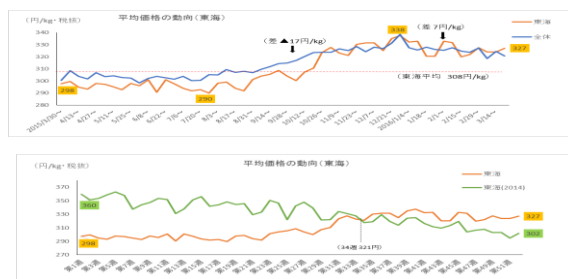
(6) 東海ブロック

①価格の動向

ア. 1kg 当たり販売価格

2015 年度における東海ブロックの平均価格は 308 円/kg で、全体比▲6 円/kg、前年度比▲24 円/kg となっている。年度初めに前年度比▲62 円/kg (▲17.2%) であった販売価格 (298 円/kg) は、第 18 週 (7 月 27 日～) に年度最低価格の 290 円/kg となった後、徐々に値上がりはしたものの、10 月までは全体平均価格を下回る水準で推移している。その後第 34 週 (11 月 16 日～) に前年度の販売価格に達すると、第 40 週 (12 月 28 日～) には年度最高価格の 338 円/kg となっている。年明け以降は横ばい～若干の値下げで推移した後、年度末には前年度比+25 円/kg (+8.3%) の 327 円/kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.19% ずつの値上がりとなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 28 週 (10 月 5 日～) の▲17 円/kg となっている。

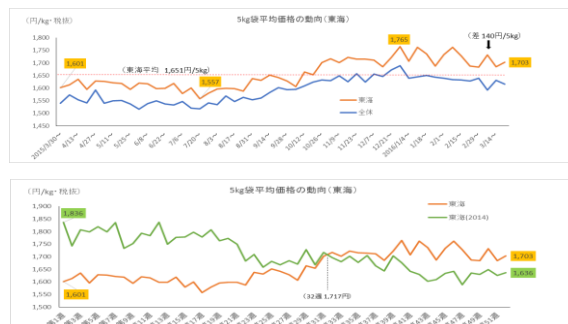
2015年度	平均価格 (円/kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	314	11	0.13	326	▲3.6
北海道	319	8	0.11	335	▲4.8
東北	331	23	0.20	341	▲3.0
関東	287	13	0.14	301	▲4.5
京浜	357	10	0.02	361	▲1.2
北陸	310	9	0.09	322	▲3.7
東海	308	15	0.19	332	▲7.1
近畿	311	10	0.10	326	▲4.6
中国四国	304	10	0.13	310	▲2.1
九州	318	14	0.11	328	▲3.2



イ. 5kg 袋の販売価格

2015 年度における東海ブロックの平均価格は 1,651 円/5kg で、全体比+61 円/5kg、前年度比▲61 円/5kg となっており、年度を通して全体平均価格を上回って推移している。年度初めに前年度比▲235 円/5kg (▲12.8%) であった販売価格 (1,601 円/5kg) は、7 月にかけて緩やかに値下がりし、第 17 週 (7 月 20 日～) に年度最低価格の 1,557 円/5kg となった後、値上がりに転じている。第 32 週 (11 月 2 日～) に前年度の販売価格に並び、第 40 週 (12 月 28 日～) には年度最高価格の 1,765 円/5kg となっている。年明け以降は値下がりとなり値上がりを繰り返し、年度末には前年度比+67 円/5kg (+4.1%) の 1,703 円/5kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.12% ずつの値上がりとなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 50 週 (3 月 7 日～) の+140 円/5kg となっている。

2015年度	平均価格 (円/5kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/5kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	1,590	47	0.10	1,655	▲4.0
北海道	1,776	34	0.10	1,877	▲5.4
東北	1,638	84	0.19	1,824	▲10.2
関東	1,453	67	0.13	1,532	▲5.2
京浜	1,712	48	0.01	1,746	▲2.0
北陸	1,705	63	0.10	1,768	▲3.6
東海	1,651	56	0.12	1,712	▲3.6
近畿	1,523	45	0.13	1,605	▲5.1
中国四国	1,544	34	0.08	1,591	▲3.0
九州	1,574	65	0.11	1,629	▲3.3



ウ．主要産地銘柄の平均価格と販売割合

2015 年度における販売数量に占める東海ブロック産の割合は下表のとおり 43.4% となっており、前年度より+2.9 ポイントとなっている。ブロック内では岐阜県産が前年度比+14.3%とシェアを大幅に拡大している。他県産では秋田県産が 17.4%（前年度比+10.7 ポイント）とシェアを大幅に拡大している。

産地品種別の販売シェアでは、秋田あきたこまち（17.1%）を筆頭に、三重コシヒカリ（11.5%）、岐阜ハツシモ（10.8%）、静岡コシヒカリ（8.2%）などとなっている。販売上位 30 銘柄中、ブロック内産銘柄は 11 銘柄（前年度+1 銘柄）となっている。なお全国での販売シェアでは上位にランクされる新潟コシヒカリは 5 位、秋田あきたこまちは前年度の 5 位から 1 位と躍進している。

平均価格以上で販売されているのは愛知コシヒカリなど 17 銘柄等（前年度+4 銘柄）で、うちブロック内産が 6 銘柄（前年度+4 銘柄）。平均価格未満は 13 銘柄（同▲4 銘柄）となっている。また富山ミルキークイーン、滋賀キヌヒカリ、宮城つや姫、岐阜ひとめぼれがランクインし、新潟こしいぶき、北海道きらら 397、長野コシヒカリ、長野あきたこまちは圏外となっている。

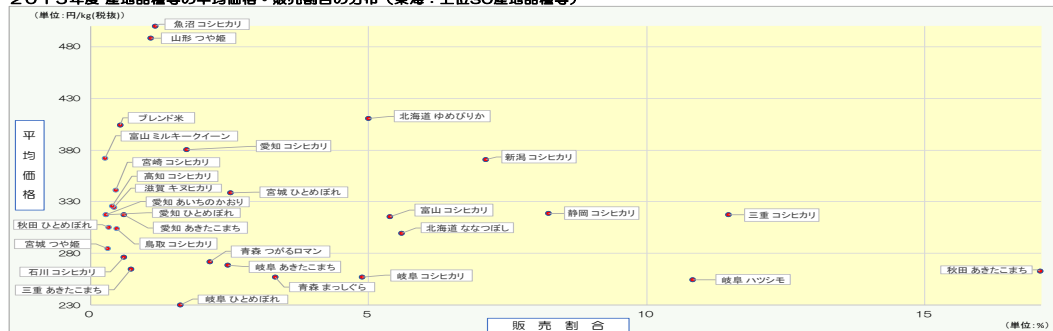
全国産地別販売シェア

産地	品種	販売数量(トン)	販売割合(%)	平均価格(円/kg)
秋田	あきたこまち	17,100	17.1	262
三重	コシヒカリ	11,500	11.5	317
岐阜	ハツシモ	10,800	10.8	254
静岡	コシヒカリ	8,200	8.2	319
新潟	コシヒカリ	7,100	7.1	371
北海道	ななつぼし	5,600	5.6	299
富山	コシヒカリ	5,400	5.4	315
北海道	ゆめぴりか	5,000	5.0	411
岐阜	コシヒカリ	4,900	4.9	257
三重	あきたこまち	3,300	3.3	257
青森	まっしぐら	3,300	3.3	257
秋田	ひとめぼれ	2,900	2.9	280
宮城	つや姫	2,800	2.8	341
鳥取	コシヒカリ	2,700	2.7	315
青森	つがるロマン	2,600	2.6	315
岐阜	あきたこまち	2,500	2.5	269
新潟	こしいぶき	2,400	2.4	265
石川	コシヒカリ	2,300	2.3	276
愛知	あいちのかおり	2,200	2.2	318
富山	ミルキークイーン	2,100	2.1	372
高知	コシヒカリ	2,000	2.0	305
滋賀	キヌヒカリ	1,900	1.9	324
高知	コシヒカリ	1,800	1.8	326
秋田	ひとめぼれ	1,700	1.7	305
新潟	コシヒカリ	1,600	1.6	339
山形	つや姫	1,500	1.5	489
山形	コシヒカリ	1,400	1.4	304
北海道	ゆめぴりか	1,300	1.3	299
ブレンド米		1,200	1.2	404
愛知	コシヒカリ	1,100	1.1	380
富山	ミルキークイーン	1,000	1.0	372
新潟	コシヒカリ	900	0.9	371
新潟	コシヒカリ	800	0.8	341
宮城	ひとめぼれ	700	0.7	285
高知	コシヒカリ	600	0.6	272
滋賀	キヌヒカリ	500	0.5	324
静岡	コシヒカリ	400	0.4	319
愛知	ひとめぼれ	300	0.3	318
愛知	あきたこまち	200	0.2	318
三重	コシヒカリ	100	0.1	317
愛知	あいちのかおり	100	0.1	317
富山	コシヒカリ	100	0.1	315
1kg当たり平均単価(東海)		308		

1kg当たり平均単価(東海)

東海	産地	品種	平均価格	販売割合	産地	品種	平均価格	販売割合
	魚沼	コシヒカリ	500	1.2	秋田	ひとめぼれ	305	0.3
	山形	つや姫	489	1.1	鳥取	コシヒカリ	304	0.5
	北海道	ゆめぴりか	411	5.0	北海道	ななつぼし	299	5.6
	ブレンド米		404	0.5	宮城	つや姫	285	0.3
	愛知	コシヒカリ	380	1.7	石川	コシヒカリ	276	0.6
	富山	ミルキークイーン	372	0.3	青森	つがるロマン	272	2.1
	新潟	コシヒカリ	371	7.1	岐阜	あきたこまち	269	2.5
	新潟	コシヒカリ	341	0.4	三重	あきたこまち	265	0.7
	宮城	ひとめぼれ	339	2.5	秋田	あきたこまち	262	17.1
	高知	コシヒカリ	326	0.4	岐阜	コシヒカリ	257	4.9
	滋賀	キヌヒカリ	324	0.4	青森	まっしぐら	257	3.3
	静岡	コシヒカリ	319	8.2	岐阜	ハツシモ	254	10.8
	愛知	ひとめぼれ	318	0.3	岐阜	ひとめぼれ	230	1.8
	愛知	あきたこまち	318	0.2				
	三重	コシヒカリ	317	11.5				
	愛知	あいちのかおり	317	0.3				
	富山	コシヒカリ	315	5.4				
	1kg当たり平均単価(東海)		308					

2015年度 産地品種等の平均価格・販売割合の分布（東海：上位30産地品種等）



産地	品種	販売割合	平均価格
1	秋田 あきたこまち	17.1 (+11.5)	262 (-79)
2	三重 コシヒカリ	11.5 (+5.6)	317 (-9)
3	岐阜 ハツシモ	10.8 (+8.7)	254 (-47)
4	静岡 コシヒカリ	8.2 (-4.3)	319 (-3)
5	新潟 コシヒカリ	7.1 (-0.5)	371 (-11)
6	北海道 ななつぼし	5.6 (+1.8)	299 (-21)
7	富山 コシヒカリ	5.4 (+0.8)	315 (-53)
8	北海道 ゆめぴりか	5.0 (+0.8)	411 (-16)
9	岐阜 コシヒカリ	4.9 (+2.7)	257 (-14)
10	青森 まっしぐら	3.3 (+0.3)	257 (-7)

産地	品種	販売割合	平均価格
11	宮城 ひとめぼれ	2.5 (-1.2)	339 (-15)
12	岐阜 あきたこまち	2.5 (+1.3)	269 (-16)
13	青森 つがるロマン	2.1 (-10.5)	272 (-5)
14	愛知 コシヒカリ	1.7 (-0.5)	380 (-6)
15	岐阜 ひとめぼれ	1.6 (-)	230 (-)
16	魚沼 コシヒカリ	1.2 (-0.3)	500 (-23)
17	山形 つや姫	1.1 (-0.2)	489 (-1)
18	三重 あきたこまち	0.7 (-0.0)	265 (-2)
19	石川 コシヒカリ	0.6 (-0.8)	276 (-15)
20	愛知 あきたこまち	0.6 (-0.1)	318 (-1)

産地	品種	販売割合	平均価格
21	ブレンド米	0.5 (-0.5)	404 (-6)
22	鳥取 コシヒカリ	0.5 (-0.1)	304 (-12)
23	宮城 コシヒカリ	0.4 (-0.4)	341 (+9)
24	滋賀 キヌヒカリ	0.4 (-)	324 (-)
25	高知 コシヒカリ	0.4 (0.0)	326 (-8)
26	秋田 ひとめぼれ	0.3 (-0.6)	305 (-15)
27	宮城 つや姫	0.3 (+0.3)	285 (-84)
28	愛知 ひとめぼれ	0.3 (-0.2)	318 (-14)
29	愛知 あいちのかおり	0.3 (-0.2)	317 (-13)
30	富山 ミルキークイーン	0.3 (-)	372 (-)
全	体		307 (-26)

注1：集計対象はうるち精米（慣行栽培米、特別栽培米、有機栽培米を含む）。

注2：販売割合はうるち精米の総重量に占める割合。（）内は前年の販売割合との差(ポイント)。

注3：平均価格は当該産地品種の加重平均価格（税別）。（）内は前年の平均価格との差。

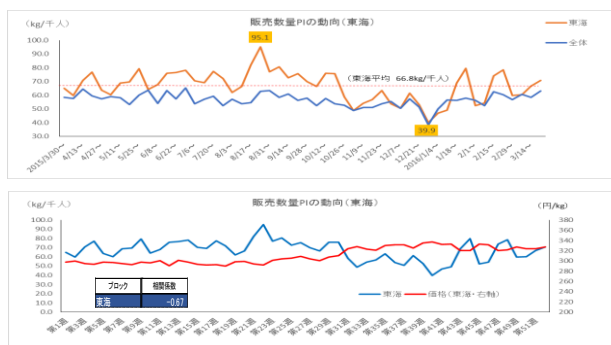
②販売数量 PI の動向

ア．販売数量 PI

2015 年度における東海ブロックの平均販売数量 PI は、前年度（49.3kg/千人）より 17.5kg/千人（+35.5%）増加した 66.8kg/千人となっており、前年度比では全ブロック中最も増加している。平均販売数量 PI が最も多かったのは第 22 週（8 月 24 日～）の 95.1kg/千人で、最も少なかったのは第 40 週（12 月 28 日～）の 39.9kg/千人となっている。年度を通して全国平均を概ね上回って推移している。1kg 当たり平均価格と販売数量 PI の関係を見ると、平均価格の水準に応じて販売数量 PI が増減する傾向となっており、両者には相関係数「-0.67」と弱い負の相関が認められる。

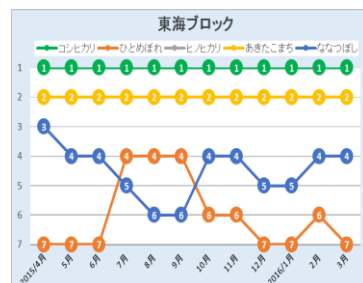
なお 2015 年度の東海ブロックの平均販売数量 PI は、全国平均を約 2 割上回っており、北海道ブロックに次ぐ水準となっている。

2015 年度	平均販売数量 PI (kg/千人)	同左 前年度比 (%)	平均販売数量 PI 標準偏差	(参考)	
				平均販売数量 PI (全体を100として 指数化)	同左指数の 前年度対比 (2015/2014)
全体	56.6	▲2.6	4.8	100.0	—
北海道	133.0	1.1	15.8	234.9	1.0
東北	18.5	▲5.7	2.8	32.6	1.0
関東	64.6	0.0	7.4	114.0	1.0
京浜	57.6	▲6.5	8.8	101.7	1.0
北陸	33.7	▲2.7	4.6	59.5	1.0
東海	66.8	35.5	10.9	118.0	1.4
近畿	59.7	▲1.5	5.3	105.5	1.0
中国四国	39.3	▲9.2	4.9	69.4	0.9
九州	61.0	▲7.9	9.2	107.8	0.9



イ．全国作付比率上位 5 品種の販売量

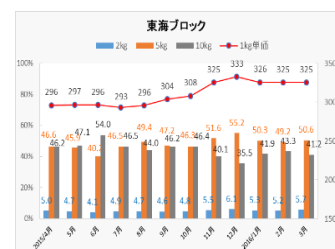
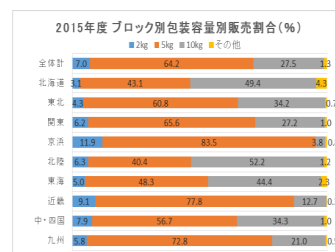
作付比率上位 5 品種（コシヒカリ、ひとめぼれ、ヒノヒカリ、あきたこまち、ななつぼし）の月別販売量の関係を見ると、右表のとおり、販売量は作付比率最上位品種のコシヒカリが通年で 1 位となり、あきたこまちが通年で 2 位、ななつぼしは 3～6 位の間を、ひとめぼれは 4～7 位の間を変動している。なお POS データ上は、ヒノヒカリの販売実績はない。



③包装容量別販売割合の動向

2015 年度における東海ブロックの包装容器別販売割合は 2kg 袋が 5.0%（前年度比▲1.6 ポイント）、5kg 袋が 48.3%（同▲10.5 ポイント）、10kg 袋が 44.4%（同+22.3 ポイント）となっており、年度前半の値下がりの影響か、10kg 袋の割合は前年度の 2 倍となっている。このことから東海ブロックの販売数量 PI の増加は 10kg 袋が中心となって発生していると思われる。月次推移を見ると、月次平均価格の値上がりに対して 10kg 袋割合が減少し、2kg 袋、5kg 袋の割合が高くなる関係がある。

	1kg当たり平均単価の月次推移との相関			参考 月次平均単価 の単価相関係数 (r2)
	2kg袋 販売割合	5kg袋 販売割合	10kg袋 販売割合	
東海	0.83	0.77	-0.80	4.1(0.79)



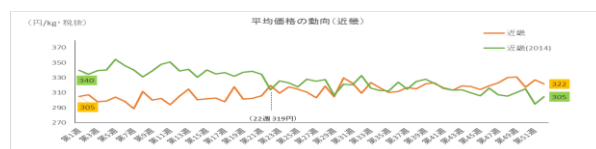
(7) 近畿ブロック

①価格の動向

ア. 1kg 当たり販売価格

2015 年度における近畿ブロックの平均価格は 311 円/kg で、全体比▲3 円/kg、前年度比▲15 円/kg となっている。年度初めに前年度比▲35 円/kg (▲10.3%) であった販売価格 (305 円/kg) は、第 3 週 (4 月 13 日～) に年度最低価格の 298 円/kg となると、その後は上下を繰り返しながら徐々に値上がりしている。第 22 週 (8 月 24 日～) に前年度の販売価格に並ぶと、その後はほぼ横ばいから若干の値上がりで推移した後、第 49 週 (2 月 29 日～) には年度最高価格となる 331 円/kg となっている。その後の値下がりを経て、年度末には前年度比+17 円/kg (+5.6%) の 322 円/kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.10% ずつの値上がりとなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 35 週 (11 月 23 日～) の▲18 円/kg となっている。

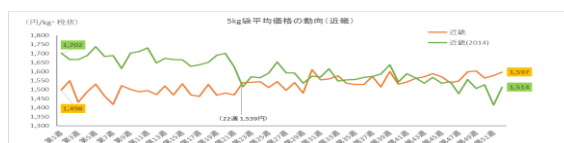
2015年度	平均価格 (円/kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	314	11	0.13	326	▲3.6
北海道	319	8	0.11	335	▲4.8
東北	331	23	0.20	341	▲3.0
関東	287	13	0.14	301	▲4.5
京浜	357	10	0.02	361	▲1.2
北陸	310	9	0.09	322	▲3.7
東海	308	15	0.19	332	▲7.1
近畿	311	10	0.10	326	▲4.6
中国四国	304	10	0.13	310	▲2.1
九州	318	14	0.11	328	▲3.2



イ. 5kg 袋の販売価格

2015 年度における近畿ブロックの平均価格は 1,523 円/5kg で、全体比▲67 円/5kg、前年度比▲82 円/5kg となっている。年度を通して、全体平均価格を下回って推移している。年度初めに前年度比▲204 円/5kg (▲12.0%) であった販売価格 (1,498 円/5kg) は、第 14 週 (6 月 29 日～) に年度最低価格の 1,471 円/5kg となった後、値上がりから横ばいで推移している。その後第 30 週 (10 月 19 日～) に一気に値上がりし、年度最高価格の 1,610 円/5kg となっている。その後の一時的な値下がりを経て再び値上がりし、第 46 週 (2 月 8 日～) 以降は前年度を上回る水準で推移している。年度末には前年度+83 円/5kg (+5.5%) の 1,597 円/5kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.13% ずつの値上がりとなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 40 週 (12 月 28 日～) の▲159 円/5kg となっている。

2015年度	平均価格 (円/5kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/5kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	1,590	47	0.10	1,655	▲4.0
北海道	1,776	34	0.10	1,877	▲5.4
東北	1,638	84	0.19	1,824	▲10.2
関東	1,453	67	0.13	1,532	▲5.2
京浜	1,712	48	0.01	1,746	▲2.0
北陸	1,705	63	0.10	1,768	▲3.6
東海	1,651	56	0.12	1,712	▲3.6
近畿	1,523	45	0.13	1,605	▲5.1
中国四国	1,544	34	0.08	1,591	▲3.0
九州	1,574	65	0.11	1,629	▲3.3



2015 年度における販売数量に占める近畿ブロック産の割合は下表のとおり 15.4%と全ブロック中最も低く、前年度より▲5.2 ポイントとなっている。ブロック内では兵庫産(8.1%)が前年度比▲4.9%とシェアを縮小している。他県産では北海道産(10.0%)、石川県産(8.1%)がシェアを拡大しており、新潟県産(17.3%)と合わせたシェアは3割以上を占めている。

平均価格以上で販売されているのは京都コシヒカリなど 11 銘柄（前年度同）で、うちブロック内産が 4 銘柄（前年度+1 銘柄）。平均価格未満は 19 銘柄等（前年度同）となっている。また奈良ヒノヒカリ、福岡ヒノヒカリ、北海道きらら 397、宮城つや姫、石川ゆめみずほ、三重あきたこまちがランクインし、福井コシヒカリ、広島コシヒカリ、滋賀ヒカリ新世紀、香川コシヒカリ、岩手あきたこまち、島根コシヒカリが圏外となっている。

産地	産地品種	平均価格	販売割合	産地品種	平均価格	販売割合
島根	山形 コシヒメ	520	18	宮城 ひとめづめ	304	18
長野	山形 コシヒメ	407	12	宮城 ひむかづき	300	5
北海道	ゆめぴりか	375	36	山形 あきさこちろ	295	33
新潟	コシヒメ	361	132	山形 コシヒメ	294	77
京都	コシヒメ	359	07	三重 コシヒメ	292	23
岡山	山形 コシヒメ	353	37	山形 コシヒメ	287	18
兵庫	コシヒメ	347	72	三河 コシヒメ	285	44
長野	コシヒメ	345	33	山形 はるめき	280	28
北海道	ななつしほ	337	60	新潟 七尾子	276	03
山形	コシヒメ	322	19	山形 コシヒメ	273	03
奈良	七尾子	313	04	山形 赤いさぶ?	263	03
1kg当たりの平均価格(産地)		311		埼玉 十ヶ子セン	262	88
				島根 十ヶ子セン	260	03
				宮城 七尾子	258	03
				山形 七尾子	256	10
				新潟 七尾子	241	11
				新潟 七尾子	236	12
				山形 ゆめみずほ	232	32
				三重 あきさこちろ	146	03

Figure 1: Scatter plot showing the relationship between average price (平均価格) and sales ratio (販売割合) for various rice brands. The y-axis represents average price in yen/kg (excluding tax) from 230 to 510. The x-axis represents the sales ratio from 0 to 10. Data points are labeled with brand names, showing a general trend where higher sales ratio correlates with higher average price.

Brand Name (販売店)	Sales Ratio (販売割合)	Average Price (平均価格) [yen/kg (excluding tax)]
魚沼 コシヒカリ	~1.5	~505
山形 つや姫	~2.5	~415
京都 コシヒカリ	~3.5	~365
北海道 ゆめぴりか	~4.5	~385
富山 コシヒカリ	~5.5	~365
新潟 コシヒカリ	~9.5	~365
長野 コシヒカリ	~8.5	~305
北海道 ななつぼし	~6.5	~345
兵庫 コシヒカリ	~7.5	~365
宮城 コシヒカリ	~4.5	~325
奈良 ヒノヒカリ	~3.5	~315
徳島 コシヒカリ	~5.5	~325
三重 コシヒカリ	~6.5	~325
山形 はえぬき	~5.5	~315
秋田 あきたこまち	~5.5	~315
石川 コシヒカリ	~6.5	~315
宮城 ひとめぼれ	~7.5	~315
福島 ヒノヒカリ	~2.5	~275
鳥取 コシヒカリ	~4.5	~275
島根 ハナエチゼン	~4.5	~275
新潟 こしひぶき	~5.5	~275
宮城 つや姫	~3.5	~265
北海道 さらさら397	~2.5	~265
石川 ゆめみずほ	~5.5	~255
滋賀 キヌヒカリ	~5.5	~255
福井 ハナエチゼン	~7.5	~275
岡山 キヌヒカリ	~6.5	~275

		(単位：％、円/㎏(概算))			
産地品種		販売割合	平均価格		
1	フレンド米	1.2	(-0.9)	304	(-5)
2	山形 つや姫	1.4	(-0.8)	407	(-1)
3	鳥根 ハナエチゼン	0.9	(-1.0)	260	(-6)
4	京都 コシヒカリ	0.7	(-0.1)	359	(+6)
5	施設 コシヒカリ	0.7	(-0.2)	273	(-3)
6	福岡 ヒノヒカリ	0.6	-	276	-
7	香城 つや姫	0.5	(-0.5)	258	(-13)
8	奈良 ヒノヒカリ	0.5	(-0.4)	313	(+3)
9	三重 あきたこまち	0.4	(-0.2)	146	(-72)
10	北海道 さらさら397	0.3	(+0.1)	263	(-20)
全 体				310	(-18)

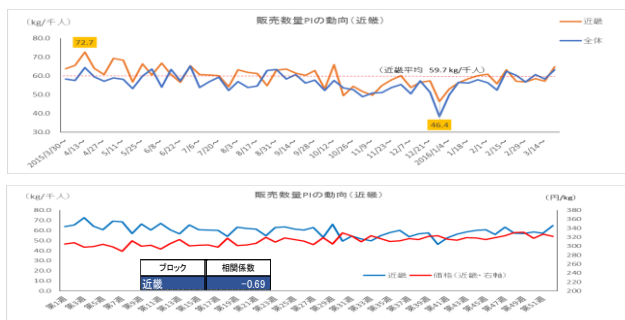
31

②販売数量 PI の動向

ア．販売数量 PI

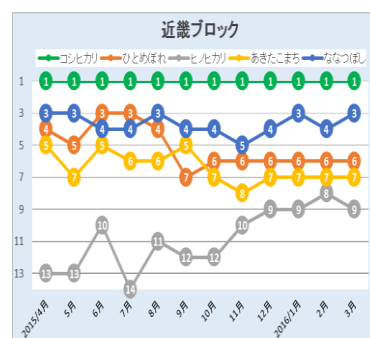
2015 年度における近畿ブロックの平均販売数量 PI は、前年度（60.7kg/千人）より 1.0kg/千人（▲1.6%）減少した 59.7kg/千人となっている。平均販売数量 PI が最も多かったのは第 3 週（4 月 13 日～）の 72.7kg/千人で、最も少なかったのは第 40 週（12 月 28 日～）の 46.4kg/千人となっている。年度を通して全国平均水準で推移している。1kg 当たり平均価格と販売数量 PI の関係を見ると、平均価格の水準に応じて販売数量 PI が増減する傾向がみられるが、両者には相関係数「-0.69」と弱い負の相関が認められる。

2015 年度	平均販売数量 PI (kg/千人)	同左 前年度比 (%)	平均販売数量 PI 標準偏差	平均販売数量 PI (全体を100として 指数化)	同左指数の 前年度対比 (2015/2014)
全体	56.6	▲2.6	4.8	100.0	—
北海道	133.0	1.1	15.8	234.9	1.0
東北	18.5	▲5.7	2.8	32.6	1.0
関東	64.6	0.0	7.4	114.0	1.0
京浜	57.6	▲6.5	8.8	101.7	1.0
北陸	33.7	▲2.7	4.6	59.5	1.0
東海	66.8	35.5	10.9	118.0	1.4
近畿	59.7	▲1.5	5.3	105.5	1.0
中国四国	39.3	▲9.2	4.9	69.4	0.9
九州	61.0	▲7.9	9.2	107.8	0.9



イ．全国作付比率上位 5 品種の販売量

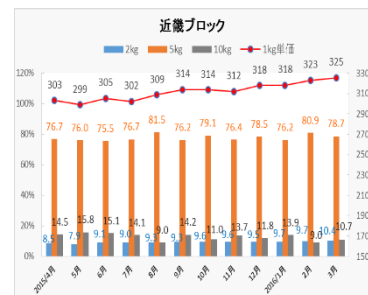
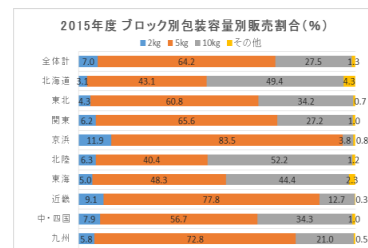
作付比率上位 5 品種（コシヒカリ、ひとめぼれ、ヒノヒカリ、あきたこまち、ななつぼし）の月別販売量の関係を見ると、右表のとおり、販売量は作付比率最上位品種のコシヒカリが通年で 1 位となっている。ひとめぼれは 3～7 位の間を、ななつぼしは 3～5 位の間を、あきたこまちは 5～8 位の間を、ヒノヒカリは 8～14 位の間を変動している。



③包装容量別販売割合の動向

2015 年度における近畿ブロックの包装容器別販売割合は 2kg 袋が 9.1%（前年度比+0.6 ポイント）、5kg 袋が 77.8%（同▲0.2 ポイント）、10kg 袋が 12.7%（同▲0.4 ポイント）となっており、2kg 袋の割合が前年度に比べて増加している。月次推移を見ると、月次平均価格の上昇が 2kg 袋の増加しており、10kg 袋の減少にリンクしている。前年度の近畿ブロックでは、米価の下落が各包装容量袋の販売割合に影響していなかったことが示されていたが、2015 年度のような価格の上昇局面では、その影響が認められる。

	1kg当たり平均単価の月次推移との相関			参考
	2kg袋 販売割合	5kg袋 販売割合	10kg袋 販売割合	月次平均単価 の単回帰係数 (R2)
近畿	0.90	0.47	-0.64	24(0.92)



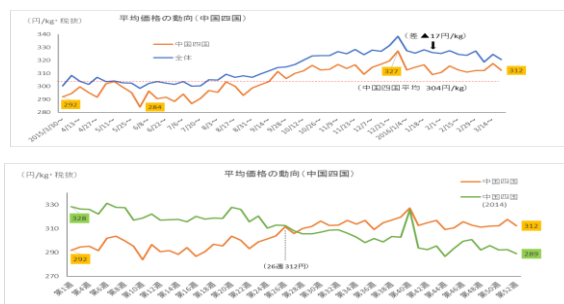
(8) 中国四国ブロック

①価格の動向

ア. 1kg 当たり販売価格

2015 年度における中国四国ブロックの平均価格は 304 円/kg で、全体比▲10 円/kg、前年度比▲6 円/kg となっており、年度を通して全体平均価格を下回って推移している。年度初めに前年度比▲36 円/kg (▲11.0%) であった販売価格 (292 円/kg) は、第 10 週 (6 月 1 日～) に年度最低価格の 284 円/kg となった後、徐々に値上がりし、第 26 週 (9 月 21 日～) に前年度の販売価格に並び、第 40 週 (12 月 28 日～) には年度最高価格の 327 円/kg となっている。その後は若干の値下がりがあった後、年度末には前年度比+23 円/kg (+8.0%) の 312 円/kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.13% ずつ値上がりしており、全体平均と同水準となっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 44 週 (1 月 25 日～) の▲17/kg となっている。

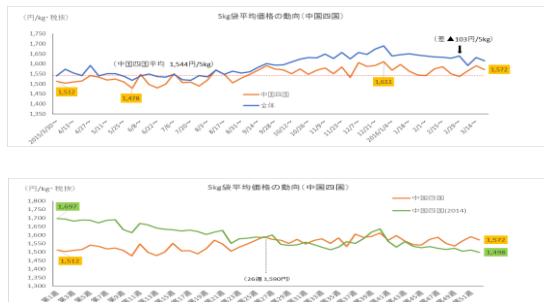
2015年度	平均価格 (円/kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	314	11	0.13	326	▲3.6
北海道	319	8	0.11	335	▲4.8
東北	331	23	0.20	341	▲3.0
関東	287	13	0.14	301	▲4.5
京浜	357	10	0.02	361	▲1.2
北陸	310	9	0.09	322	▲3.7
東海	308	15	0.19	332	▲7.1
近畿	311	10	0.10	326	▲4.6
中国四国	304	10	0.13	310	▲2.1
九州	318	14	0.11	328	▲3.2



イ. 5kg 袋の販売価格

2015 年度における中国四国ブロックの平均価格は 1,544 円/5kg で、全体比▲46 円/5kg、前年度比▲47 円/5kg となっている。年度初めに前年度比▲185 円/5kg (▲10.9%) であった販売価格 (1,512 円/5kg) は、第 10 週 (6 月 1 日～) に年度最低価格の 1,478 円/5kg となった。その後は徐々に値上がりし、第 26 週 (9 月 21 日～) に前年度の販売価格に並び、第 40 週 (12 月 28 日～) に年度最高価格の 1,611 円/5kg となっている。その後も前年度の販売価格を上回りながら推移し、年度末には前年度比+74 円/kg (+4.9%) の 1,572 円/5kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.08% ずつの値上がりに留まり、京浜ブロックに次ぐ低率となっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 49 週 (2 月 29 日～) の▲103 円/5kg となっている。

2015年度	平均価格 (円/5kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/5kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	1,590	47	0.10	1,655	▲4.0
北海道	1,776	34	0.10	1,877	▲5.4
東北	1,638	84	0.19	1,824	▲10.2
関東	1,453	67	0.13	1,532	▲5.2
京浜	1,712	48	0.01	1,746	▲2.0
北陸	1,705	63	0.10	1,768	▲3.6
東海	1,651	56	0.12	1,712	▲3.6
近畿	1,523	45	0.13	1,605	▲5.1
中国四国	1,544	34	0.08	1,591	▲3.0
九州	1,574	65	0.11	1,629	▲3.3



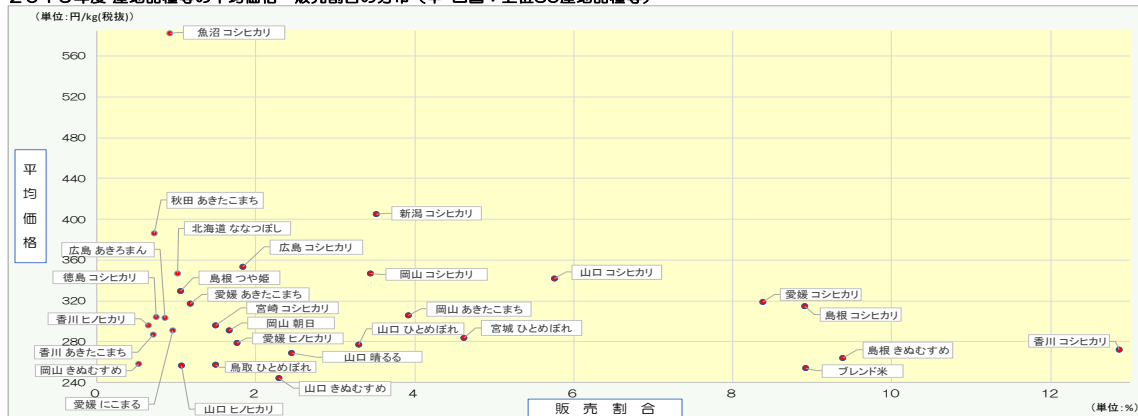
2015 年度における販売数量に占める中国四国ブロック産の割合は下表のとおり 77.4%となっており、引き続き九州ブロックに次ぐシェアの高さとなっているが、前年度より 0.6 ポイントシェアを落としている。ブロック内では島根県産（19.4%）、愛媛県産（15.8%）、香川県産（14.3%）がシェアを拡大している。他県産では新潟県産（4.8%）、宮城県産（4.7%）がシェアを拡大している。

平均価格以上で販売されているのは広島コシヒカリなど 13 銘柄（前年度▲1 銘柄）で、うちブロック内産が 9 銘柄（前年度▲1 銘柄）。平均価格未満は 17 銘柄等（同+1 銘柄）となっている。また島根つや姫、岡山きぬむすめがランクインし、岡山キヌヒカリ、新潟こしいぶきが圏外となっている。

中国産国産					
産地品種		平均価格	販売割合	産地品種	
集治	コンチカ	582	0.9	広島	ききまきん
新田	コンチカ	405	3.9	山口	ヒトツリ
秋田	あきたこまち	388	0.7	宮城	コンチカ
広島	コンチカ	353	1.8	岡山	朝日
岡山	コンチカ	347	3.4	愛媛	にこにこまる
北海道	ななつほし	347	1.0	香川	あきたこまち
山口	コンチカ	242	5.8	宮崎	おとほれ
島根	つばね	229	1.0	徳島	ヒトツリ
島根	コンチカ	219	8.4	山口	おとほれ
広島	あきたこまち	217	1.2	香川	コンチカ
島根	コンチカ	315	8.3	山口	南から
広島	あきたこまち	308	3.9	島根	ききまきん
徳島	コンチカ	304	0.7	山口	ききまきんすめ
1kg当たり平均価格(中国産国産)		304		山口	おとほれ
				山口	ヒトツリ
					ブレん太
				山口	ききまきんすめ

下線は2015年度にランクインした産地品種

(単位:円/kg(税抜))



		(単位: 円/kg(概算))		
	産地品種	販売割合	平均価格	
▲	黒豚 びつや姫	1.0	+0.9	329 (-92)
▲	北海道 なまほし	1.0	+0.1	347 (+13)
▲	愛媛 ことる	1.0	+0.6	291 (-33)
▲	魚沼 コシヒカリ	0.9	+0.2	582 (-13)
▲	広島 あきまろ	0.9	-0.1	303 (-13)
▲	徳島 コシヒカリ	0.7	-0.5	304 (+10)
▲	秋田 あきたこまち	0.7	0.0	386 (-31)
▲	香川 あきたこまち	0.7	+0.1	287 (-8)
▲	香川 ヒノヒカリ	0.6	0.0	296 (-8)
▲	岡山 きぬむすめ	0.5	+0.5	258 (-11)
	全 体			301 (-44)

注1：集計対象はうるち糠米（慣行栽培米、特別栽培米、有機栽培米を含む）

注2：販売割合はうるち産米の総重量に占める割合。()内は前年の販売割合との差(ポイント)

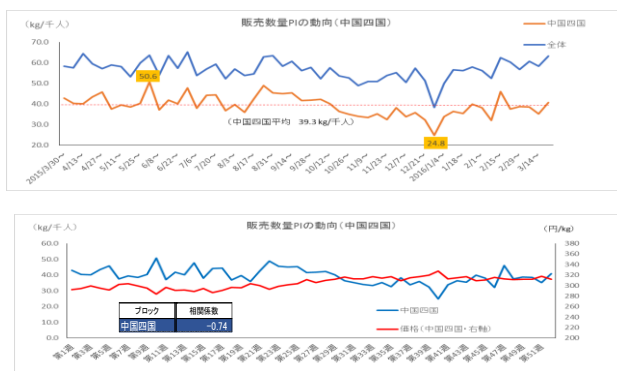
注3：平均価格は当該農地品種の加重平均価格（税別）。（ ）内は前年の平均価格との差

②販売数量 PI の動向

ア. 販売数量 PI

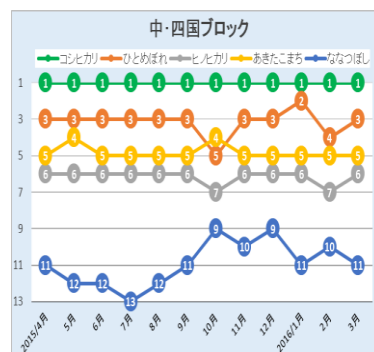
2015 年度における中国四国ブロックの平均販売数量 PI は、前年度（43.3kg/千人）より 4.0kg/千人（▲9.2%）減少した 39.3kg/千人となっている。平均販売数量 PI が最も多かったのは第 10 週（6 月 1 日～）の 50.6kg/千人で、最も少なかったのは第 40 週（12 月 28 日～）の 24.8kg/千人となっている。年度を通して全国平均水準以下で推移している。1kg 当たり平均価格と販売数量 PI の関係を見ると、平均価格の水準に応じて販売数量 PI が増減する傾向がみられるが、両者には相関係数「-0.74」と負の相関が認められる。

2015 年度	平均販売数量 PI (kg/千人)	同左 前年度比 (%)	平均販売数量 PI 標準偏差	(参考)	
				平均販売数量 PI (全体を100として 指数化)	同左指数の 前年度対比 (2015/2014)
全体	56.6	▲2.6	4.8	100.0	—
北海道	133.0	1.1	15.8	234.9	1.0
東北	18.5	▲5.7	2.8	32.6	1.0
関東	64.6	0.0	7.4	114.0	1.0
京浜	57.6	▲6.5	8.8	101.7	1.0
北陸	33.7	▲2.7	4.6	59.5	1.0
東海	66.8	35.5	10.9	118.0	1.4
近畿	59.7	▲1.5	5.3	105.5	1.0
中国四国	39.3	▲9.2	4.9	69.4	0.9
九州	61.0	▲7.9	9.2	107.8	0.9



イ. 全国作付比率上位 5 品種の販売量

作付比率上位 5 品種（コシヒカリ、ひとめぼれ、ヒノヒカリ、あきたこまち、ななつぼし）の月別販売量の関係を見ると、右表のとおり、販売量は作付比率最上位品種のコシヒカリが通年で 1 位となり、ひとめぼれは 2～5 位の間を、あきたこまちは 4～5 位の間を、ヒノヒカリは 6～7 位の間を、ななつぼしは 9～13 位の間を変動している。近畿以东ではみられなかったヒノヒカリの通年での上位と、ななつぼしの下位が特徴的である。

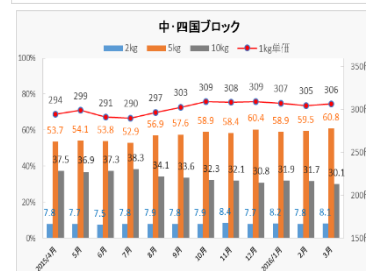
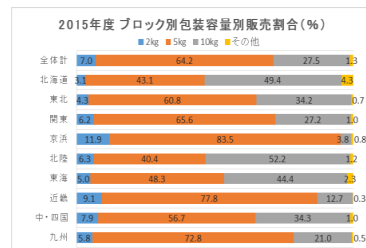


③包装容量別販売割合の動向

2015 年度における中国四国ブロックの包装容器別販売割合は 2kg 袋が 7.9%（前年度比+0.4 ポイント）、5kg 袋が 56.7%（同+4.5 ポイント）、10kg 袋が 34.3%（同▲5.1 ポイント）となっている。

月次推移を見ると、月次平均価格の値上がりとともに 5kg 袋の販売割合が増加し、逆に 10kg 袋の販売割合が減少していく傾向が伺える。実際に、月次平均価格と 5kg 袋の販売割合との間には強い正の相関（相関係数 0.90）が、逆に 10kg 袋とは強い負の相関（相関係数 -0.91）が認められる。

	1kg当たり平均単価の月次推移との相関			参考 月次平均単価 の単回帰係数 (R ²)
	2kg袋 販売割合	5kg袋 販売割合	10kg袋 販売割合	
中国四国	0.52	0.90	-0.91	1.6(0.99)



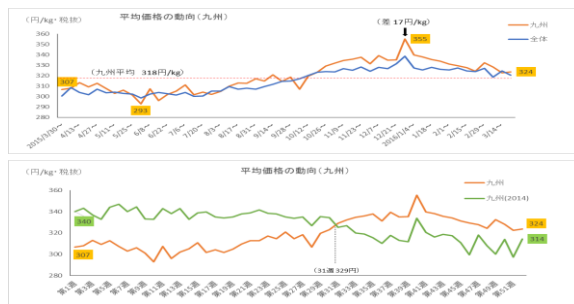
(9) 九州ブロック

①価格の動向

ア. 1kg 当たり販売価格

2015 年度における九州ブロックの平均価格は 318 円/kg で、全体比+4 円/kg、前年度比▲10 円/kg となっており、10 月半ばまでは概ね全体平均価格を上下しながら推移し、10 月末以降は概ね全体平均価格を上回って推移している。年度初めに前年度比▲33 円/kg (▲9.7%) であった販売価格 (307 円/kg) は、第 10 週 (6 月 1 日～) に年度最低価格の 293 円/kg を経た後徐々に値上がりし、第 31 週 (10 月 26 日～) に前年度の販売価格に並び、第 40 週 (12 月 28 日～) には年度最高価格の 355 円/kg となっている。年明け以降に若干の値下がりした後、年度末には前年度比+10 円/kg (+3.2%) の 324 円/kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.11% ずつの値上がりとなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は、第 40 週の+17 円/kg となっている。

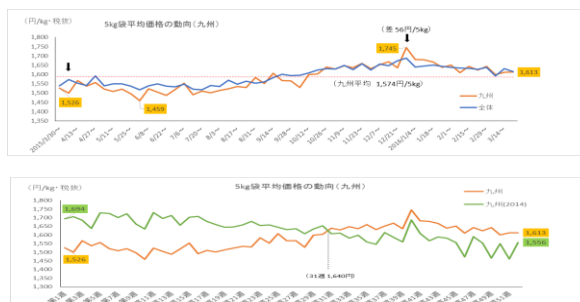
2015年度	平均価格 (円/kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	314	11	0.13	326	▲3.6
北海道	319	8	0.11	335	▲4.8
東北	331	23	0.20	341	▲3.0
関東	287	13	0.14	301	▲4.5
京浜	357	10	0.02	361	▲1.2
北陸	310	9	0.09	322	▲3.7
東海	308	15	0.19	332	▲7.1
近畿	311	10	0.10	326	▲4.6
中国四国	304	10	0.13	310	▲2.1
九州	318	14	0.11	328	▲3.2



イ. 5kg 袋の販売価格

2015 年度における九州ブロックの平均価格は 1,574 円/5kg で、全体比▲16 円/5kg、前年度比▲55 円/5kg となっている。年度初めに前年度比▲168 円/5kg (▲9.9%) であった販売価格 (1,526 円/5kg) は、第 10 週 (6 月 1 日～) に年度最低価格の 1,459 円/5kg となっている。その後、第 31 週 (10 月 26 日～) に前年度の販売価格に並んだ後、第 40 週 (12 月 28 日～) には年度最高価格の 1,745 円/5kg となっている。年明け以降は値下がりし、年度末には前年度比+57 円 (3.7%) の 1,613 円/5kg となっている。年度初め～年度末間の販売価格は、毎週 0.11% ずつの値上がりとなっている。全体平均価格との乖離が最も大きい週は第 40 週の+56 円/5kg となっている。

2015年度	平均価格 (円/5kg・税抜)	標準偏差	週平均 増減率 (%)	2014年度 平均価格 (円/5kg・税抜)	2015/2014 増減 (%)
全体	1,590	47	0.10	1,655	▲4.0
北海道	1,776	34	0.10	1,877	▲5.4
東北	1,638	84	0.19	1,824	▲10.2
関東	1,453	67	0.13	1,532	▲5.2
京浜	1,712	48	0.01	1,746	▲2.0
北陸	1,705	63	0.10	1,768	▲3.6
東海	1,651	56	0.12	1,712	▲3.6
近畿	1,523	45	0.13	1,605	▲5.1
中国四国	1,544	34	0.08	1,591	▲3.0
九州	1,574	65	0.11	1,629	▲3.3



2015 年度における販売数量に占める九州ブロック産の割合は下表のとおり 86.6% となっており、全ブロック中最も高く、前年度より+0.5 ポイントさらにシェアを拡大している。ブロック内では熊本県産 (28.3%)、鹿児島県産 (7.3%)、大分県産 (2.0%) がシェアを拡大している。なお九州ブロックでは他県産米のシェアは極めて低く、表中には記載していないが、最高位の宮城県産が 1.8%に留まっている。

平均価格以上で販売されているのは熊本コシヒカリなど 16 銘柄等（前年度▲1 銘柄）で、うちブロック内産が 10 銘柄（前年度同）。平均価格未満は 14 銘柄（同+1 銘柄）となっている。また山口コシヒカリ、長崎にこまる、山口きぬむすめ、宮崎まいひかりがランクインし、北海道ななつぼし、長崎ヒノヒカリ、熊本くまさんの力、宮崎おてんとそだちが圏外となっている。

九州	産地品種	平均価格	販売割合	産地品種	平均価格	販売割合
鹿児島	コンヒナコ	594	0.4	福岡 乙子ナシ	310	2.9
新潟	コンヒナコ	460	0.0	山口 口とのぼれ	309	0.2
熊本	コンヒナコ	388	0.7	熊本 乙子ナシ	303	12.8
宮城	つや姫	372	0.1	宮城 乙子ナシ	300	5.7
佐賀	コンヒナコ	370	0.7	佐賀 乙子ナシ	297	0.2
福岡	元気づし	364	5.9	鳥取 乙子ナシ	294	0.6
福岡	コンヒナコ	358	0.7	宮城 口とのぼれ	289	0.8
長野	コンヒナコ	348	0.9	大分 乙子ナシ	287	1.5
山口	口とのぼれ	335	0.3	宮城 乙子ナシ	286	17.7
鹿児島	乙子ナシ	333	1.3	佐賀 乙子ナシ	283	2.1
佐賀	さびゆり	329	1.3	熊本 乙子ナシ	278	1.0
福岡	夢つく	328	12.0	熊本 あきまき	270	0.6
大分	コンヒナコ	325	0.6	山口 ぬめりすめ	254	0.2
ブランド系		325	7.0	宮城 乙子ナシ	238	0.2
熊本	森のくまさん	318	10.9			
1kg当たり平均価格(九州)						
		318				

（単位：円/kg(税抜）

平均価格

販売割合

（単位：％）

ブランド名	販売割合 (%)	平均価格 (円/kg)
魚沼 コシヒカリ	0.5	590
新潟 コシヒカリ	1.5	460
熊本 コシヒカリ	1.8	420
佐賀 コシヒカリ	2.0	410
宮城 つや姫	2.2	400
長崎 コシヒカリ	2.5	380
長野 コシヒカリ	0.2	350
山口 コシヒカリ	0.3	340
大分 コシヒカリ	0.4	330
山口 ひとめぼれ	0.5	320
佐賀 ひとめぼれ	0.6	310
宮城 ひとめぼれ	0.7	300
熊本 キヌヒカリ	2.8	280
山口 きぬむすめ	0.8	270
熊本 あきまさり	1.2	260
佐賀 夢しずく	3.5	250
長崎 にこまる	1.5	320
大分 ヒノヒカリ	2.5	300
福岡 ヒノヒカリ	3.5	290
佐賀 さがびより	2.0	330
鹿児島 ヒノヒカリ	5.5	350
福岡 元気つくし	5.5	380
ブレンド米	7.0	320
宮崎 コシヒカリ	6.0	280
熊本 森のくまさん	11.5	270
福岡 夢つくし	12.5	280
熊本 ヒノヒカリ	13.5	270
宮崎 ヒノヒカリ	15.5	260

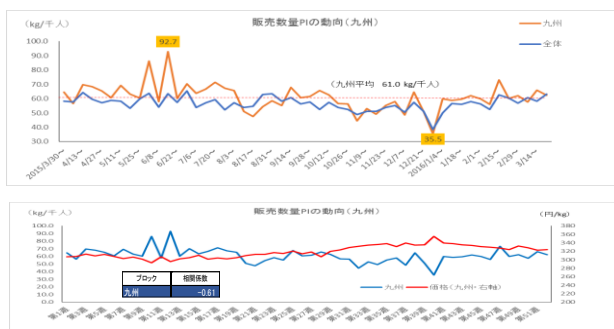
注1：集計対象はうるち精米（慣行栽培米、特別栽培米、有機栽培米を含む）。
注2：販売割合はうるち精米の総重量に占める割合。（）内は前年の販売割合との差（ポイント）。
注3：平均価格は当該産地品種の加重平均価格（税抜）。（）内は前年の平均価格との差。

②販売数量 PI の動向

ア. 販売数量 PI

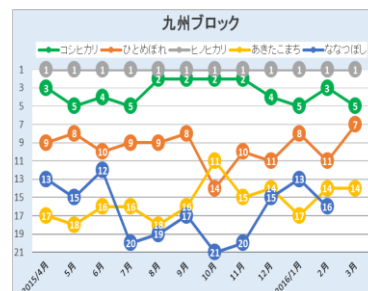
2015 年度における九州ブロックの平均販売数量 PI は、前年度（66.3kg/千人）より 5.3kg/千人（▲8.0%）減少した 61.0kg/千人となっている。平均販売数量 PI が最も多かったのは第 12 週（6 月 15 日～）の 92.7kg/千人で、最も少なかったのは第 40 週（12 月 28 日～）の 35.5kg/千人となっている。8 月上旬までは全国平均を上回っていたが、それ以降は全国平均を上下しながら推移している。1kg 当たり平均価格と販売数量 PI の関係を見ると、平均価格の水準に応じて販売数量 PI が増減する傾向が伺えるが、明確な相関は認められない。

2015 年度	平均販売数量 PI (kg/千人)	同左 前年度比 (%)	平均販売数量 PI 標準偏差	(参考)	
				平均販売数量 PI (全体を100として 指数化)	同左指数の 前年度対比 (2015/2014)
全体	56.6	▲2.6	4.8	100.0	—
北海道	133.0	1.1	15.8	234.9	1.0
東北	18.5	▲5.7	2.8	32.6	1.0
関東	64.6	0.0	7.4	114.0	1.0
京浜	57.6	▲6.5	8.8	101.7	1.0
北陸	33.7	▲2.7	4.6	59.5	1.0
東海	66.8	35.5	10.9	118.0	1.4
近畿	59.7	▲1.5	5.3	105.5	1.0
中国四国	39.3	▲9.2	4.9	69.4	0.9
九州	61.0	▲7.9	9.2	107.8	0.9



イ. 全国作付比率上位 5 品種の販売量

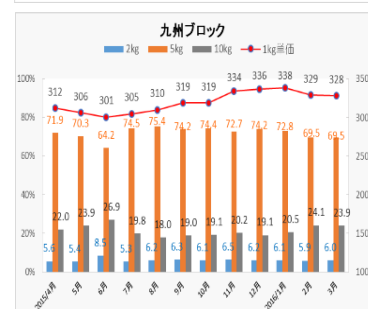
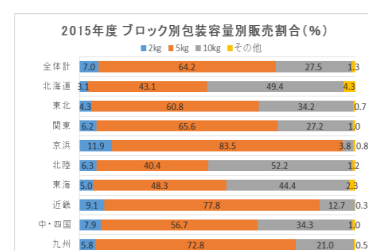
作付比率上位 5 品種（コシヒカリ、ひとめぼれ、ヒノヒカリ、あきたこまち、ななつぼし）の月別販売量の関係を見ると、右表のとおり販売量は、九州の主力品種の一つであるヒノヒカリが通年で 1 位となっている。作付比率最上位品種であるコシヒカリは 2～5 位の間を、ひとめぼれは 8～14 位の間を、あきたこまちは 11～18 位の間を、ななつぼしは 12～21 位の間を変動している。



③包装容量別販売割合の動向

2015 年度における九州ブロックの包装容器別販売割合は 2kg 袋が 5.8%（前年度比+0.5 ポイント）、5kg 袋が 72.8（同+0.7 ポイント）、10kg 袋が 21.0%（同▲1.2 ポイント）となっている。

月次推移を見ると、月次平均価格が値下がりしていた 6 月までは 10kg 袋の販売割合が伸びているが、値上がりに転じた 7 月以降はシェアを落とし、1 月まではほぼ横ばいで推移している。九州産早期米等の新米が供給される 8 月から 11 月までの間も、包装容量毎の特徴的な動きはみられない。



Ⅲ. 米代替食品、米加工品等の販売金額 PI、販売数量 PI の動向

POS データに基づく米代替品（パン類、麺類）及び米加工品等（加工米飯、包装もち、もち米）の販売動向については、四半期毎に季報（RPQuarterly）として当機構ホームページ「米ネット <http://www.komenet.jp/>」で公表している。ここでは季報で公表している右表の品目毎の 2015 年度の動向についてみていく。

＜季報において提出している品目＞

うるち精米	うるち精米（慣行栽培米、特別栽培米及び有機栽培米を含み、玄米、発芽玄米、古代米、及びもち米を除く）の販売金額・数量をPOSデータから抽出。
米代替品	
パン類	POSの「パン・シリアル類」のデータから、食パン、菓子パン及び調理パンの販売金額を抽出。
麺類	POSの「麺類」「インスタント類、カップ類、乾麺、生麺・ゆで麺、スナック麺」、マカロニ、その他麺類」の販売金額・数量を抽出。
米加工品等	
冷凍米飯	POSの「冷凍米飯加工品」の販売金額・数量を抽出。
パックご飯	POSの「米飯加工品」のデータのうち、パックご飯の販売金額・数量を抽出（例、古糖、おこわ、赤飯を除く）。
包装もち	POSの「包装類」の販売金額・数量を抽出。
もち米	POSの「米」のデータのうち、もち米の販売金額・数量を抽出。

1. パン類

（1）販売動向

2015 年度におけるパン類の全体平均の販売金額 PI は 45,663 円/千人（前年度比+0.2%）で、米（17,304 円/千人）の約 2.6 倍のとなっている。

2015 年度の販売金額 PI は、7 月までは前年度並み～前年度を上回っていたが、8 月以降は前年度割れ（販売不振）が目立つようになっていく。一部のパンメーカーは、円安などによる輸入原材料（政府売渡小麦含む）の値上がりを背景に、2015 年 7 月出荷分から値上げを行っており、東京区部の食パンの小売価格の例でも、8 月以降は前年同月を上回る価格で推移している。2015 年度のパン類の動向にも、この価格改定が影響していると推察される。

品名	2015年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	平均	前年比(%)	2015年
心斎橋	46,541	45,001	46,015	45,188	42,171	45,270	45,000	40,089	41,969	46,245	47,500	47,540	45,663	0.2	452,001
心斎橋	31,157	31,139	31,182	31,182	29,354	31,345	31,877	32,735	29,418	32,387	33,112	33,168	31,899	▲0.8	321,565
東北	42,500	42,023	42,411	38,335	34,760	38,150	38,382	38,384	40,414	42,307	40,581	39,382	40,414	0.4	322,202
関東	48,772	46,145	46,902	44,835	41,303	44,954	44,832	46,734	41,887	45,585	48,921	48,930	45,953	0.2	453,874
近畿	42,138	38,884	38,880	38,885	37,728	38,410	37,483	38,822	38,187	38,788	40,410	42,222	39,888	▲0.1	389,118
中国	42,800	41,859	42,365	41,832	37,578	42,544	41,759	41,588	38,562	41,495	42,480	42,004	41,316	1.2	407,805
九州	65,945	62,244	64,480	61,718	58,578	61,282	62,495	62,701	58,084	65,502	67,075	67,521	62,864	2.7	612,931
関東	54,669	50,224	51,403	51,282	48,669	50,482	50,155	52,719	48,128	53,453	54,138	53,525	51,577	1.0	514,418
中国	54,769	53,539	53,535	52,382	48,841	52,400	52,728	48,017	53,053	53,659	53,653	52,324	51,577	▲1.0	522,851
九州	47,223	45,310	47,013	45,335	42,563	45,789	44,680	45,305	48,932	45,185	43,823	44,754	45,408	0.8	444,081

販売金額PI	2015年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	平均
心斎橋	46,541	45,001	46,015	45,188	42,171	45,270	45,000	40,089	41,969	46,245	47,500	47,540	45,663
前年同月比(%)	0.8	▲1.5	1.5	1.5	▲1.3	3.4	▲0.5	0.8	▲1.7	0.4	▲1.2	▲0.2	0.2
心斎橋	18,041	17,304	17,304	16,882	17,325	16,882	17,304	16,115	16,122	16,825	17,304	16,882	17,304
前年同月比(%)	1.5	▲1.1	▲0.4	▲1.5	▲0.8	▲1.2	▲1.3	▲1.5	▲1.5	0.5	▲0.4	▲0.2	▲0.8

東京区部の食パンの小売価格（税込）

	価格 (円/kg)	前年同月比 (%)
2015年4月	418	▲2.1
5月	412	▲3.3
6月	420	1.0
7月	422	▲0.5
8月	427	1.2
9月	430	1.4
10月	435	3.3
11月	433	2.6
12月	433	3.8
2016年1月	430	4.6
2月	434	4.6
3月	436	5.3

資料：総務省「小売物価統計」

輸入小麦政府売渡価格（税別）

年度	期	円/トン	前年比
2012	4月	46,457	▲15.5
	10月	47,743	2.8
2013	4月	52,371	9.7
	10月	54,533	4.1
2014	4月	54,250	▲0.5
	10月	54,009	▲0.4
2015	4月	55,620	3.0
	10月	52,444	▲5.7

資料：農林水産省「輸入小麦の政府売渡価格の推移」

（2）ブロック動向

年度を通して販売金額 PI が最も高いブロックは、前年度と同様に東海ブロック（62,964 円/千人、前年度比+2.7%）となっており、前年度からの増加率の点でも、全ブロック中最も高い。最も低いのは、前年度と同様に北海道ブロック（31,899 円/千人、同▲0.8%）となっている。東海ブロックと北海道ブロックの販売金額 PI の差は約 2 倍（前年度同）となっている。また前年度比で最も減少したのは京浜ブロック（39,098 円/千人、同▲2.0%）となっている。

米とパン類の販売金額 PI の比較では、東北ブロックが米の約 8 倍と全ブロック中最も高く、中国四国ブロックは約 5 倍となっているが、米の生産量が極少である京浜ブロックでは約 1.7 倍と小幅となっている。ブロックによっては自給的である米に対し、ほとんどを購入に頼るパン類などとは、販売データである POS 上の差が大きく出てしまう特徴がある。そのため PI が米より高いからといって、東北や中国四国ではパン類の消費水準が高いとは、必ずしもいえないことがある。

	米の平均 販売金額PI	パン類の平均 販売金額PI	パン類/米 比	パン類販売 金額PI 2015/2014 比
2015年度				
全体	17,304	45,663	2.64	1.00
北海道	42,363	31,899	0.75	0.99
東北	4,937	39,362	7.97	1.00
関東	18,828	45,953	2.44	1.00
京浜	23,334	39,098	1.68	0.98
北陸	10,895	41,316	3.79	1.01
東海	20,376	62,964	3.09	1.03
近畿	18,325	51,577	2.81	1.01
中国四国	11,567	52,334	4.52	0.99
九州	18,349	44,754	2.44	1.01

2. 麺類

(1) 販売動向

2015 年度における麺類の全体平均の販売金額 PI は 40,121 円/千人（前年度比+1.8%）、販売数量 PI は 80.6kg/千人（同▲2.5%）となっている。麺類もパン類と同様に輸入原材料の値上がりなどを背景にした価格改定が行われており、東京区部の即席麺の小売価格を例にすると、2015 年 1 月から価格改定の影響と推測される小売価格の上昇が始まり、2015 年度末には価格改定前の約 9%増の水準となっている。メーカーの IR 情報²⁾では「袋めん類全体では平成 27 年 1 月に行った価格改定の影響を受け、一時的に販売数量が減少し、前期の売上を下回りました。」との報告がなされており、POS データによる麺類の販売金額 PI の増加と販売数量 PI の減少の同時発生は、価格改定により生じたものと推察される。

販売地域	2014年12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	2014年度	2015年度
東京区部	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000

販売地域	2014年12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	2014年度	2015年度
販売数量	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6

販売地域	2014年12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	2014年度	2015年度
販売金額	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000

東京区部の即席麺の小売価格（税込）

価格	前年同月比	価格	前年同月比
(円/kg)	(%)	(円/kg)	(%)
2014年1月	▲2.1	2015年4月	4.1
2月	0.7	5月	4.8
3月	0.0	6月	6.2
4月	0.0	7月	4.8
5月	4.3	8月	4.1
6月	0.7	9月	6.9
7月	2.8	10月	7.6
8月	0.7	11月	5.5
9月	4.3	12月	7.0
10月	3.6	2016年1月	4.1
11月	1.4	2月	1.3
12月	0.0	3月	9.3
2015年1月	4.3		
2月	7.0		
3月	9.3		

資料：総務省「小売物価統計」

米との比較では、販売金額 PI では麺類は米の 2.3 倍（前年度同）、販売数量 PI では 1.5 倍（前年度 1.6 倍）となっている。米と麺類の関係を販売数量 PI からみると、年度を通しての関係性は認められないが、11 月以降は負の相関（相関係数 -0.73）が認められ、米の販売数量 PI が増加する月は麺類の販売数量 PI が減少するという関係となっている。

2) 日清食品ホールディングス株式会社「平成 27 年 3 月期決算短信」

(2) ブロック動向

年度を通して販売金額 PI が最も高いブロックは、前年度と同様に東海ブロック（48,739 円/千人、前年度比+2.3%）となっており、最も低いのは、前年度と同様に九州ブロック（33,461 円/千人、同+1.1%）となっている。また前年度比で最も増加したのは関東ブロック（46,080 円/千人、同+2.6%）、最も減少したのは京浜ブロック（36,839 円/千人、同▲0.6%）となっている。東海ブロックと九州ブロックの差は約 1.5 倍となっている。

販売地域	2014年12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月	2月	3月	2014年度	2015年度
販売金額	48,739	48,739	48,739	48,739	48,739	48,739	48,739	48,739	48,739	48,739	48,739	48,739	48,739	48,739	48,739	48,739	48,739	48,739

2015年度	米の平均販売金額PI	麺類の平均販売金額PI	麺類/米比	前年度比
全体	17,304	40,121	2.32	1.8
北海道	42,363	44,881	1.06	0.3
東北	4,937	42,392	8.59	2.3
関東	18,828	46,080	2.45	2.6
京浜	23,334	36,839	1.58	▲0.6
北陸	10,895	40,933	3.76	2.3
東海	20,376	48,739	2.39	1.9
近畿	18,325	37,155	2.03	1.6
中国四国	11,567	38,277	3.31	2.2
九州	18,349	33,461	1.82	1.1

米と麺類の販売金額 PI の比較では、北海道ブロックが米と麺類がほぼ同じ額となっているのに対し、東北ブロックでは米の約 9 倍と全ブロック中最も高く、北陸と中国四国ブロックは約 3 倍となっている。

IV. 米に関する年表

この項では、2015年度の米に関する施策等のほか、社会経済の出来事などについて、主要なものを収録し、年表形式で編纂しています。

本編 2 ページの「(2) 米を巡る施策等の動向」と合わせてご活用ください。

資料編

I. 価格等に関する資料

1. POSデータ

(1) 精米の1kg当たり税抜平均単価の推移	46
(2) 慣行栽培米5kg袋の税抜平均価格の推移	46
(3) 精米の販売数量PIの推移	46
(4) 全国上位20産地・品種等の販売価格の推移	46
(5) 全国上位20産地・品種等の販売割合の推移	47
(6) ブロック別主要産地・品種等の販売価格の推移	48
①北海道ブロック	48
②東北ブロック	49
③関東ブロック	49
④京浜ブロック	50
⑤北陸ブロック	50
⑥東海ブロック	51
⑦近畿ブロック	52
⑧中国四国ブロック	52
⑨九州ブロック	53
(7) ブロック別主要産地・品種等の販売割合の推移	54
①北海道ブロック	54
②東北ブロック	54
③関東ブロック	55
④京浜ブロック	55
⑤北陸ブロック	56
⑥東海ブロック	56
⑦近畿ブロック	57
⑧中国四国ブロック	58
⑨九州ブロック	58
(8) 主要5銘柄の販売数量PIの推移	59
(9) ブロック別包装容量別販売割合の推移	59
2. 相対取引価格の推移	60
3. 卸間取引価格の推移	60
4. 小売価格の推移(コシヒカリ)	60

II. 生産に関する資料

1. 水稻うるち米品種の作付割合、都道府県別収穫量、生産数量目標	61
2. 米の生産費	62
3. 米の農産物検査数量と1等米比率	62

III. 消費に関する資料

1. 米の需要実績	63
2. 米の1人1か月当たり消費量・家庭内在庫量	63
3. 米の1世帯当たり購入量	63
4. 政府及び民間流通における6月末在庫	64
5. 1世帯当たり年平均1か月間の支出(二人以上の世帯)	64
6. 世代別の米等の摂取量(国民栄養調査)	64
7. 消費者物価指数	64

IV. 米取引関係者の判断(DI調査)に関する資料(2016年3月末まで)

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)	65
2. 主食用米の米価水準(全体)	65

V. 米代替食品、加工品等に関する資料

1. パン類	65
(1) 販売金額PIの推移	65
2. 麺類	65
(1) 販売金額PIの推移	65
(2) 販売数量PIの推移	65
3. 加工米飯	66
(1) 販売金額PIの推移	66
(2) 販売数量PIの推移	66
4. 包装もち、もち米	67
(1) 販売金額PIの推移	67
(2) 販売数量PIの推移	67

VI. 経済等指標

1. GDP、GNIの推移	68
2. 実質賃金指数の推移	68
3. 可処分所得の推移	68
4. 人口の推移	68

②東北ブロック主要産地・品種等の販売価格の推移（円/5kg・税抜）

東北ブロック主要産地・品種等の販売価格の推移(円/5kg・税抜)

[illegible]

7/6～		7/13～		7/20～		7/27～		8/3～		8/10～		8/17～		8/24～		8/31～		9/7～		9/14～		9/21～		9/28～	
産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格
ブロック全体	1,702	ブロック全体	1,782	ブロック全体	1,858	ブロック全体	1,840	ブロック全体	1,762	ブロック全体	1,848	ブロック全体	1,852	ブロック全体	1,831	ブロック全体	1,709	ブロック全体	1,828	ブロック全体	1,828	ブロック全体	1,828	ブロック全体	1,828
山形 つや姫	2,245	新潟 コシヒカリ	1,674	新潟 コシヒカリ	1,681	新潟 コシヒカリ	2,209	山形 つや姫	2,252	山形 つや姫	2,252	山形 つや姫	2,232	福島 ひまめ	1,691	山形 つや姫	1,691	山形 つや姫	2,232	新潟 コシヒカリ	1,906	山形 つや姫	2,398	山形 つや姫	2,398
福島 ひまめ	1,111	山形 つや姫	2,384	山形 つや姫	2,234	山形 つや姫	1,679	新潟 コシヒカリ	1,685	新潟 コシヒカリ	1,704	新潟 コシヒカリ	1,689	新潟 コシヒカリ	1,691	新潟 コシヒカリ	1,724	宮城 ひまめ	1,622	新潟 コシヒカリ	1,896	新潟 コシヒカリ	1,896	新潟 コシヒカリ	1,896
新潟 コシヒカリ	1,725	秋田 あきたこまち	1,356	秋田 あきたこまち	1,411	秋田 あきたこまち	1,591	茨城 あきたこまち	1,590	秋田 あきたこまち	1,389	山形 つや姫	1,708	山形 つや姫	1,708	山形 つや姫	1,708	山形 つや姫	1,708	山形 つや姫	1,708	山形 つや姫	1,708	山形 つや姫	1,708
宮城 ひまめ	1,627	山形 はなめ	1,449	宮城 ひまめ	1,769	宮城 ひまめ	1,534	秋田 あきたこまち	1,406	宮城 ひまめ	1,834	秋田 あきたこまち	1,421	宮城 ひまめ	1,748	山形 はなめ	1,395	山形 つや姫	2,398	宮城 ひまめ	1,661	宮城 ひまめ	1,661	宮城 ひまめ	1,661
秋田 あきたこまち	1,564	宮城 ひまめ	1,724	山形 はなめ	1,620	山形 はなめ	1,878	山形 はなめ	1,672	秋田 あきたこまち	1,782	秋田 あきたこまち	1,782	秋田 あきたこまち	1,782	秋田 あきたこまち	1,782	秋田 あきたこまち	1,782	秋田 あきたこまち	1,782	秋田 あきたこまち	1,782	秋田 あきたこまち	1,782
新潟 コシヒカリ	1,861	新潟 こしひかり	1,917	福島 コシヒカリ	1,782	秋田 あきたこまち	1,641	山形 はなめ	1,475	茨城 あきたこまち	1,597	福島 ひまめ	1,469	福島 ひまめ	1,469	福島 ひまめ	1,469	福島 ひまめ	1,469	福島 ひまめ	1,469	福島 ひまめ	1,469	福島 ひまめ	1,469

[illegible][illegible]

③関東ブロック主要産地・品種等の販売価格の推移（円/5kg・税抜）

関東ブロック主要産地・品種等の販売価格の推移(円/5kg・税抜)

2015年度	2015/3/30～		4/6～		4/13～		4/20～		4/27～		5/4～		5/11～		5/18～		5/25～		6/1～		6/8～		6/15～		6/22～		6/29～		
	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	
ブロッコチ	1,480	ブロッコチ	1,553	ブロッコチ	1,531	ブロッコチ	1,458	ブロッコチ	1,544	1,438	ブロッコチ	1,506	ブロッコチ	1,540	ブロッコチ	1,536	ブロッコチ	1,466	1,480	ブロッコチ	1,533	ブロッコチ	1,486	1,440	ブロッコチ	1,528	ブロッコチ	1,476	
茨城 コシヒカリ	1,411	茨城 コシヒカリ	1,348	茨城 コシヒカリ	1,240	茨城 コシヒカリ	1,440	茨城 コシヒカリ	1,434	茨城 コシヒカリ	1,538	茨城 コシヒカリ	1,413	茨城 コシヒカリ	1,277	茨城 コシヒカリ	1,425	茨城 コシヒカリ	1,408	茨城 コシヒカリ	1,903	茨城 コシヒカリ	1,420	茨城 コシヒカリ	1,549	茨城 コシヒカリ	1,528	茨城 コシヒカリ	1,480
北海道 ななつぼし	1,318	新潟 コシヒカリ	1,591	栃木 コシヒカリ	1,563	栃木 コシヒカリ	1,551	茨城 コシヒカリ	1,522	栃木 コシヒカリ	1,440	栃木 コシヒカリ	1,521	栃木 コシヒカリ	1,514	北海道 ななつぼし	1,505	茨城 コシヒカリ	1,416	栃木 コシヒカリ	1,442	新潟 コシヒカリ	1,442	新潟 コシヒカリ	1,440	新潟 コシヒカリ	1,428	新潟 コシヒカリ	1,428
栃木 コシヒカリ	1,506	茨城 コシヒカリ	1,442	北海道 ななつぼし	1,683	秋田 あきさきこぼし	1,385	北海道 ななつぼし	1,387	新潟 コシヒカリ	1,920	新潟 コシヒカリ	1,925	秋田 あきさきこぼし	1,389	栃木 コシヒカリ	1,605	北海道 ななつぼし	1,456	北海道 ななつぼし	1,324	栃木 コシヒカリ	1,528	秋田 あきさきこぼし	1,366	茨城 コシヒカリ	1,440	茨城 コシヒカリ	1,440
新潟 コシヒカリ	1,989	北海道 ななつぼし	1,482	新潟 コシヒカリ	1,931	栃木 あきさきこぼし	917	新潟 コシヒカリ	1,882	新潟 コシヒカリ	1,908	秋田 あきさきこぼし	1,372	新潟 コシヒカリ	1,902	新潟 コシヒカリ	1,868	秋田 あきさきこぼし	928	秋田 あきさきこぼし	1,388	新潟 コシヒカリ	1,954	秋田 あきさきこぼし	1,354	秋田 あきさきこぼし	1,344	秋田 あきさきこぼし	1,344
北海道 ゆめぴりか	1,816	宮城 ササニシキ	1,420	秋田 あきさきこぼし	1,482	新潟 コシヒカリ	1,881	秋田 あきさきこぼし	1,381	栃木 とどろきの星	1,932	新潟 こいしき	1,168	茨城 あきたこぼし	1,464	秋田 あきたこぼし	1,412	茨城 あきたこぼし	1,400	茨城 あきたこぼし	1,028	北海道 ゆめぴりか	1,894	茨城 ササニシキ	1,384	茨城 あきたこぼし	1,384	茨城 あきたこぼし	1,384
秋田 あきさきこぼし	1,369	秋田 あきさきこぼし	1,427	新潟 こいしき	1,022	北海道 ゆめぴりか	1,082	北海道 ゆめぴりか	1,880	北海道 ゆめぴりか	1,637	北海道 ゆめぴりか	1,758	茨城 ゆめぴりか	1,081	新潟 コシヒカリ	1,932	新潟 コシヒカリ	1,863	茨城 あきたこぼし	1,364	茨城 ササニシキ	1,364	茨城 あきたこぼし	1,364	茨城 あきたこぼし	1,364	茨城 あきたこぼし	1,364
秋田 あきさきこぼし	1,488	秋田 あきさきこぼし	1,402	秋田 あきさきこぼし	1,483	秋田 あきさきこぼし	1,445	秋田 あきさきこぼし	1,493	秋田 あきさきこぼし	1,483	秋田 あきさきこぼし	1,483	秋田 あきさきこぼし	1,483	秋田 あきさきこぼし	1,483	秋田 あきさきこぼし	1,483	秋田 あきさきこぼし	1,483	秋田 あきさきこぼし	1,483	秋田 あきさきこぼし	1,483	秋田 あきさきこぼし	1,483	秋田 あきさきこぼし	1,483
ブランド米	1,339	ブランド米	1,335	北海道 ななつぼし	1,541	北海道 ななつぼし	1,596	ブランド米	1,357	秋田 ササニシキ	1,112	山形 つや姫	1,805	ブランド米	1,315	茨城 あきたこぼし	1,405	北海道 ななつぼし	1,624	北海道 ななつぼし	1,558	ブランド米	1,157	ブランド米	1,157	ブランド米	1,157	ブランド米	1,157
宮城 ササニシキ	1,077	富山 コシヒカリ	1,691	富山 コシヒカリ	1,635	富山 コシヒカリ	1,679	北海道 ななつぼし	1,423	秋田 あきさきこぼし	1,392	北海道 ゆめぴりか	2,045	ブランド米	1,341	ブランド米	1,350	ブランド米	1,640	ブランド米	1,685	ブランド米	1,304	富山 コシヒカリ	1,636	富山 コシヒカリ	1,636	富山 コシヒカリ	1,636
富山 コシヒカリ	1,691	ブランド米	1,306	ブランド米	1,392	岩手 ひとめぼれ	1,353	ブランド米	1,369	ブランド米	1,397	北海道 ゆめぴりか	2,045	ブランド米	1,341	岩手 ひとめぼれ	1,277	富山 コシヒカリ	1,685	ブランド米	1,297	富山 コシヒ							
魚沼 コシヒカリ	2,100																												

7/6～	7/13～	7/20～	7/27～	8/3～	8/10～	8/17～	8/24～	8/31～	9/7～	9/14～	9/21～	9/28～	
産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格
アロマック全体	1,492	アロマック全体	1,474	アロマック全体	1,453	アロマック全体	1,507	アロマック全体	1,555	アロマック全体	1,528	アロマック全体	1,559
アロマック全シタリ	1,404	アロマック全シタリ	1,371	アロマック全シタリ	1,363	アロマック全シタリ	1,418	アロマック全シタリ	1,486	アロマック全シタリ	1,470	アロマック全シタリ	1,533
赤木・シタリ	1,536	赤木・シタリ	1,571	赤木・シタリ	1,584	赤木・シタリ	1,592	赤木・シタリ	1,644	赤木・シタリ	1,603	赤木・シタリ	1,672
北海道 ななつぼし	1,259	新潟全シタリ	1,813	新潟全シタリ	1,838	新潟全シタリ	1,871	宮崎全シタリ	1,684	秋田 あきたこま	1,517	秋田 あきたこま	1,444
北海 秋田 あきたこま	1,819	秋田 あきたこま	1,385	新潟全シタリ	1,587	新潟全シタリ	1,559	赤木 あきたこま	1,413	秋田 あきたこま	1,278	秋田 あきたこま	1,165
北海 道 ゆめぴりか	1,732	ブランド米	1,074	青森 つがるロマン	1,060	新潟全シタリ	1,256	赤木 あきたこま	1,286	秋田 あきたこま	1,286	秋田 あきたこま	1,288
アロマック あきたこま	1,394	青森 つがるロマン	1,003	山形 はえぬき	1,012	北海 道 ゆめぴりか	943	秋田 あきたこま	1,318	北海 道 ななつぼし	1,295	秋田 あきたこま	1,344
アロマック あきたこま	1,482	ブランド米	1,047	北海 道 ゆめぴりか	1,012	北海 道 ゆめぴりか	934	秋田 あきたこま	1,372	秋田 あきたこま	1,369	秋田 あきたこま	1,340
秋田 あきたこま	1,482	北海 道 ななつぼし	1,481	北海 道 ななつぼし	1,483	北海 道 ななつぼし	1,483	北海 道 ななつぼし	1,491	北海 道 ななつぼし	1,491	北海 道 ななつぼし	1,491
山形 つや姫	1,334	北海 道 ふっくらんこ	1,681	北海 道 ななつぼし	1,589	北海 道 ななつぼし	1,587	北海 道 ななつぼし	1,597	北海 道 ななつぼし	1,597	北海 道 ななつぼし	1,597
北海 道 ななつぼし	1,645	アロマック あきたこま	1,406	アロマック あきたこま	1,427	ブランド米	1,389	ブランド米	1,312	ブランド米	1,308	ブランド米	1,308
山形 つや姫	1,841	高山全シタリ	1,638	北海 道 ふっくらんこ	1,672	岩手 ひまのぼれ	1,267	ブランド米	1,285	新潟 しほり	1,316	千歳 ふさおとめ	1,442
岩手 ひまのぼれ	1,311					高山全シタリ	1,162	北海 道 ふっくらんこ	1,643	高山全シタリ	1,667		
						青森 つがるロマン	1,074						
						高山全シタリ	1,747						

[illegible]

[illegible]

④京浜ブロック主要産地・品種等の販売価格の推移（円/5kg・税抜）

[illegible][illegible][illegible][illegible]

⑤北陸ブロック主要産地・品種等の販売価格の推移（円/5kg・税抜）

[illegible]

⑦近畿ブロック主要産地・品種等の販売価格の推移（円/5kg・税抜）

近畿ブロック主要産地・品種等の販売価格の推移(円/5kg・税抜)

[illegible][illegible][illegible]

2016/1/4～		1/11～		1/18～		1/25～		2/1～		2/8～		2/15～		2/22～		2/29～		3/7～		3/14～		3/21～	
産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格
ブロック全体	1,670	ブロック全体	1,696	ブロック全体	1,702	ブロック全体	1,719	ブロック全体	1,704	ブロック全体	1,666	ブロック全体	1,686	ブロック全体	1,730	ブロック全体	1,737	ブロック全体	1,706	ブロック全体	1,709	ブロック全体	1,730
長野 コシヒカリ	1,615	新潟 コシヒカリ	1,950	長野 コシヒカリ	1,550	新潟 コシヒカリ	1,890	長野 コシヒカリ	1,658	福井 ハナエチゼン	1,426	長野 コシヒカリ	1,479	新潟 コシヒカリ	1,878	新潟 コシヒカリ	1,575	新潟 コシヒカリ	1,894	長野 コシヒカリ	1,629	長野 コシヒカリ	1,561
秋田 あきたこまち	1,542	北海道 ななつぼし	1,656	新潟 コシヒカリ	1,985	福井 ハナエチゼン	1,422	秋田 あきたこまち	1,547	北海道 ななつぼし	1,615	新潟 コシヒカリ	1,960	兵庫 コシヒカリ	1,777	新潟 コシヒカリ	1,957	兵庫 コシヒカリ	1,791	福井 ハナエチゼン	1,424	北海道 ゆめめりか	1,899
福井 ハナエチゼン	1,460	山形 はえぬき	1,534	石川 コシヒカリ	1,600	北海道 ななつぼし	1,712	新潟 コシヒカリ	1,948	新潟 コシヒカリ	1,414	北海道 ゆめめりか	1,869	新潟 コシヒカリ	1,689	新潟 コシヒカリ	1,958	石川 コシヒカリ	1,660	岡山 コシヒカリ	1,438	新潟 コシヒカリ	1,901
新潟 コシヒカリ	1,992	三重 コシヒカリ	1,434	兵庫 コシヒカリ	1,799	兵庫 コシヒカリ	1,796	兵庫 コシヒカリ	1,792	兵庫 コシヒカリ	1,784	北海道 ゆめめりか	1,965	北海道 ななつぼし	1,662	北海道 ななつぼし	1,683	北海道 ゆめめりか	1,971	兵庫 コシヒカリ	1,790	福井 ハナエチゼン	1,551
北海道 ななつぼし	1,680	富山 コシヒカリ	1,753	新潟 コシヒカリ	1,520	福井 ハナエチゼン	1,649	新潟 コシヒカリ	1,977	徳島 コシヒカリ	1,360	兵庫 コシヒカリ	1,811	福井 ハナエチゼン	1,506	兵庫 コシヒカリ	1,785	岡山 コシヒカリ	1,537	富山 コシヒカリ	1,754	兵庫 コシヒカリ	1,771
兵庫 コシヒカリ	1,798	新潟 コシヒカリ	1,785	岡山 コシヒカリ	1,530	宮城 ひとめぼれ	1,600	富山 コシヒカリ	1,770	石川 コシヒカリ	1,646	富山 コシヒカリ	1,752	石川 コシヒカリ	1,649	石川 コシヒカリ	1,635	山形 はえぬき	1,540	石川 コシヒカリ	1,635	秋田 あきたこまち	1,621
石川 コシヒカリ	1,670	長野 コシヒカリ	1,681	長野 コシヒカリ	1,833	北海道 こいひさき	1,494	石川 コシヒカリ	1,634	宮城 ひとめぼれ	1,515	福井 ハナエチゼン	1,363	徳島 コシヒカリ	1,503	福井 ハナエチゼン	1,288	新潟 コシヒカリ	1,604	石川 コシヒカリ	1,629	岡山 コシヒカリ	1,626
富山 コシヒカリ	1,789	福井 ハナエチゼン	1,490	北海道 ゆめめりか	2,022	長野 コシヒカリ	1,679	三重 コシヒカリ	1,433	山形 はえぬき	1,659	山形 はえぬき	1,700	山形 はえぬき	1,627	山形 はえぬき	1,627	山形 はえぬき	1,627	山形 はえぬき	1,627	山形 はえぬき	1,627
滋賀 コシヒカリ	1,685	石川 コシヒカリ	1,607	宮城 ひとめぼれ	1,702	北海道 ゆめめりか	2,049	福井 ハナエチゼン	1,509	北海道 ゆめめりか	2,045	石川 コシヒカリ	1,650	岡山 コシヒカリ	1,595	秋田 あきたこまち	1,612	三重 コシヒカリ	1,530	宮城 ひとめぼれ	1,545	北海道 ななつぼし	1,877
新潟 こいひさき	1,494	奈良 ヒノヒカリ	1,548	宮城 ひとめぼれ	1,665			奈良 ヒノヒカリ	1,467	秋田 あきたこまち	1,652	宮城 ひとめぼれ	1,821			奈良 ヒノヒカリ	1,447	宮城 ひとめぼれ	1,559	福井 ハナエチゼン	2,056		
								北海道 ななつぼし	1,870									山形 つや姫	2,056				

⑧中国四国ブロック主要産地・品種等の販売価格の推移（円/5kg・税抜）

中国四国ブロック主要産地・品種等の販売価格の推移(円/5kg・税抜)

2015年度	2013/3/30～		4/6～		4/13～		4/20～		4/27～		5/4～		5/11～		5/18～		5/25～		6/1～		6/8～		6/15～		6/22～		6/29～		
	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	産地・品種等	平均価格	
	ブロック全体	1,636	ブロック全体	1,626	ブロック全体	1,633	ブロック全体	1,638	ブロック全体	1,665	ブロック全体	1,657	ブロック全体	1,646	ブロック全体	1,644	ブロック全体	1,627	ブロック全体	1,597	ブロック全体	1,610	ブロック全体	1,621	ブロック全体	1,600	ブロック全体	1,600	
	香川 コシヒカリ	1,653	香川 コシヒカリ	1,631	香川 コシヒカリ	1,592	香川 コシヒカリ	1,541	香川 コシヒカリ	1,528	香川 コシヒカリ	1,581	香川 コシヒカリ	1,568	香川 コシヒカリ	1,531	香川 コシヒカリ	1,522	香川 コシヒカリ	1,531	香川 コシヒカリ	1,571	香川 コシヒカリ	1,401	香川 コシヒカリ	1,393	香川 コシヒカリ	1,382	
	岡山 あきたま	1,558	愛媛 ヒタコ	1,420	ブレンド米	1,576	岡山 あきたま	1,544	宮城 ひめめ	1,602	岡山 あきたま	1,644	1,644	1,644	1,597	岡山 あきたま	1,527	岡山 あきたま	1,540	愛媛 コシヒカリ	1,850	ブレンド米	1,483	愛媛 コシヒカリ	1,679	岡山 ききめ	1,679	岡山 ききめ	
	愛媛 コシヒカリ	1,733	愛媛 コシヒカリ	1,680	山口 コシヒカリ	1,640	愛媛 コシヒカリ	1,643	ブレンド米	1,581	山口 コシヒカリ	1,738	宮城 ひめめ	1,522	愛媛 コシヒカリ	1,689	ブレンド米	1,570	山口 コシヒカリ	1,742	岡山 あきたま	1,542	岡山 あきたま	1,568	岡山 あきたま	1,593	岡山 あきたま	1,593	
	ブレンド米	1,534	岡山 あきたま	1,684	島根 コシヒカリ	1,758	島根 コシヒカリ	1,655	新潟 コシヒカリ	1,702	ブレンド米	1,550	愛媛 コシヒカリ	1,768	愛媛 コシヒカリ	1,689	山口 コシヒカリ	1,768	岡山 あきたま	1,629	岡山 あきたま	1,546	岡山 あきたま	1,546	岡山 あきたま	1,568	岡山 あきたま	1,568	
	山口 コシヒカリ	1,776	ブレンド米	1,587	岡山 あきたま	1,638	岡山 あきたま	1,592	山口 コシヒカリ	1,858	愛媛 コシヒカリ	1,702	愛媛 ヒタコ	1,509	ブレンド米	1,527	新潟 コシヒカリ	1,663	島根 コシヒカリ	1,653	ブレンド米	1,564	山口 コシヒカリ	1,838	山口 コシヒカリ	1,814	愛媛 コシヒカリ	1,676	
	島根 コシヒカリ	1,688	山口 コシヒカリ	1,762	愛媛 コシヒカリ	1,764	ブレンド米	1,568	岡山 あきたま	1,700	新潟 コシヒカリ	1,604	宮城 ひめめ	1,545	山口 コシヒカリ	1,545	山口 コシヒカリ	1,518	山口 コシヒカリ	1,978	愛媛 コシヒカリ	1,779	ブレンド米	1,522	ブレンド米	1,522	ブレンド米	1,522	
	新潟 コシヒカリ	1,792	新潟 コシヒカリ	1,687	新潟 コシヒカリ	1,680	山口 コシヒカリ	1,790	島根 コシヒカリ	1,834	山口 コシヒカリ	1,721	島根 コシヒカリ	1,855	島根 ヒタコ	1,857	愛媛 ヒタコ	1,538	岡山 朝日	1,389	岡山 コシヒカリ	1,817	愛媛 ヒタコ	1,508	愛媛 ひめめ	1,565	島根 あきらまん	1,565	
	岡山 ききめ	1,429	広島 コシヒカリ	1,687	新築 ヒタコ	1,503	新築 コシヒカリ	1,927	愛媛 ヒタコ	1,813	広島 コシヒカリ	1,775	新築 コシヒカリ	1,357	新築 コシヒカリ	1,790	岡山 コシヒカリ	1,690	広島 コシヒカリ	1,594	広島 コシヒカリ	1,737	広島 コシヒカリ	1,737	広島 コシヒカリ	1,737	広島 コシヒカリ	1,737	
	宮城 ひめめ	1,550	島根 ヒタコ	1,907	岡山 ひめめ	1,570	岡山 ききめ	1,416	愛媛 ヒタコ	1,515	岡山 ひめめ	1,574	山口 コシヒカリ	1,961	岡山 朝日	1,321	島根 コシヒカリ	1,793	島根 あきらまん	1,417	愛媛 にこまる	1,502	島根 コシヒカリ	1,835	岡山 ききめ	1,581	岡山 ききめ	1,581	
	広島 あきらまん	1,429	宮城 ひめめ	1,958	岡山 朝日	1,434	岡山 ききめ	1,422	岡山 朝日	1,429	広島 あきらまん	1,444	岡山 ききめ	1,299	岡山 朝日	1,429	岡山 ききめ	1,743	岡山 ききめ	1,743	岡山 ききめ	2,050	岡山 ききめ	1,552	岡山 コシヒカリ	1,552	岡山 コシヒカリ	1,552	
	岡山 コシヒカリ	1,744	岡山 ききめ	1,402	広島 あきらまん	1,416	岡山 コシヒカリ	1,853	広島 あきらまん	1,466	香川 あきたま	1,539	香川 あきたま	1,492	島根 つや姫	1,507	岡山 コシヒカリ	1,825	岡山 コシヒカリ	1,826	岡山 コシヒカリ	1,852	広島 あきらまん	1,420	岡山 コシヒカリ	1,820	岡山 コシヒカリ	1,820	
	愛媛 ヒタコ	1,650	広島 あきらまん	1,412	島根 つや姫	1,400	島根 つや姫	1,656	広島 つや姫	1,648	愛媛 ヒタコ	1,728	愛媛 ヒタコ	1,467	1,773	新潟 コシヒカリ	1,823	岡山 にこまる	1,448	岡山 にこまる	1,448	岡山 にこまる	1,448	岡山 にこまる	1,448	岡山 にこまる	1,448	岡山 にこまる	1,448
	岡山 コシヒカリ	1,829	島根 つや姫	1,636	島根 つや姫	1,697																							
	石川 コシヒカリ	1,575																											

[illegible]

[illegible][illegible]

⑨九州ブロック主要産地・品種等の販売価格の推移（円/5kg・税抜）

九州ブロック主要産地・品種等の販売価格の推移(円/5kg・税抜)

[illegible][illegible][illegible][illegible]

①北海道ブロック

北海道ブロック主要産地・品種等の販売割合の推移(%)

[illegible]

7/6～		7/13～		7/20～		7/27～		8/3～		8/10～		8/17～		8/24～		8/31～		9/7～		9/14～		9/21～		9/28～	
産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合
北海道 ぬめりひかり	25.3	北海道 ぬめりひかり	26.1	北海道 ぬめりひかり	27.8	北海道 ぬめりひかり	27.1	北海道 ぬめりひかり	30.0	北海道 ぬめりひかり	28.8	北海道 ぬめりひかり	27.2	北海道 ぬめりひかり	24.5	北海道 ぬめりひかり	23.0	北海道 ぬめりひかり	25.4	北海道 ぬめりひかり	31.5	北海道 ぬめりひかり	31.7	北海道 ぬめりひかり	32.8
北海道 中ゆめひかり	21.4	北海道 中ゆめひかり	22.1	北海道 中ゆめひかり	23.2	北海道 中ゆめひかり	22.0	北海道 中ゆめひかり	20.1	北海道 中ゆめひかり	20.0	北海道 中ゆめひかり	22.4	北海道 中ゆめひかり	21.7	北海道 中ゆめひかり	21.9	北海道 中ゆめひかり	23.8	北海道 中ゆめひかり	23.6	北海道 中ゆめひかり	22.7	北海道 中ゆめひかり	21.7
北海道 ふうりんこ	12.2	北海道 ふうりんこ	12.8	北海道 ふうりんこ	13.2	北海道 ふうりんこ	12.8	北海道 ふうりんこ	12.2	北海道 ふうりんこ	12.2	北海道 ふうりんこ	12.2	北海道 ふうりんこ	12.1	北海道 ふうりんこ	12.0	北海道 ふうりんこ	9.9	北海道 ふうりんこ	8.9	北海道 ふうりんこ	8.9	北海道 ふうりんこ	8.4
北海道 おぼろづき	1.06	北海道 おぼろづき	0.8	北海道 おぼろづき	0.8	北海道 おぼろづき	0.8	北海道 おぼろづき	0.8	北海道 おぼろづき	0.8	北海道 おぼろづき	0.8	北海道 おぼろづき	0.8	北海道 おぼろづき	0.8	北海道 おぼろづき	0.8	北海道 おぼろづき	0.8	北海道 おぼろづき	0.8	北海道 おぼろづき	0.8
北海道 ほうのゆめ	7.7	北海道 コシヒカリ	5.4	北海道 おぼろづき	7.0	北海道 おぼろづき	8.0	北海道 おぼろづき	8.3	北海道 おぼろづき	8.1	北海道 おぼろづき	8.2	北海道 おぼろづき	8.4	茨城 あきたまにまち	10.7	北海道 おぼろづき	9.8	茨城 あきたまにまち	9.4	茨城 あきたまにまち	8.2	北海道 おぼろづき	8.4
ブレンド米	5.3	茨城 コシヒカリ	4.9	北海道 おぼろづき	4.9	北海道 おぼろづき	4.9	北海道 おぼろづき	5.5	北海道 おぼろづき	5.0	北海道 おぼろづき	5.9	茨城 コシヒカリ	5.8	茨城 コシヒカリ	4.7	北海道 おぼろづき	7.7	茨城 コシヒカリ	4.6	北海道 おぼろづき	6.5	茨城 コシヒカリ	5.4

10/5～		10/12～		10/19～		10/26～		11/2～		11/9～		11/16～		11/23～		11/30～		12/7～		12/14～		12/21～		12/28～	
産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合
北海道 ゆめのみか	27.2	北海道 ゆめのみか	28.3	北海道 ゆめのみか	23.5	北海道 ゆめのみか	25.0	北海道 ゆめのみか	25.8	北海道 ゆめのみか	24.9	北海道 ゆめのみか	25.8	北海道 ゆめのみか	24.9	北海道 ゆめのみか	25.8	北海道 ゆめのみか	28.2	北海道 ゆめのみか	31.3	北海道 ゆめのみか	31.4	北海道 ゆめのみか	34.9
北海道 ななひし	28.1	北海道 ななひし	27.1	北海道 ななひし	23.1	北海道 ななひし	23.8	北海道 ななひし	23.2	北海道 ななひし	24.5	北海道 ななひし	23.3	北海道 ななひし	24.5	北海道 ななひし	23.1	北海道 ななひし	19.9	北海道 ななひし	19.8	北海道 ななひし	22.1	北海道 ななひし	19.9
北海道 あふひんぐ	10.1	北海道 あふひんぐ	10.5	北海道 あふひんぐ	10.5	北海道 あふひんぐ	11.8	北海道 あふひんぐ	11.1	北海道 あふひんぐ	10.7	北海道 あふひんぐ	11.0	北海道 あふひんぐ	10.7	北海道 あふひんぐ	11.0	北海道 あふひんぐ	18.0	北海道 あふひんぐ	18.0	北海道 あふひんぐ	10.7	北海道 あふひんぐ	18.0
北海道 おほろづき	9.1	北海道 おほろづき	7.0	北海道 きたぐいん	8.5	北海道 きたぐいん	8.1	ブランド米	8.5	ブランド米	7.2	ブランド米	9.8	ブランド米	7.4	ブランド米	10.0	北海道 おほろづき	7.7	北海道 きたぐいん	9.1	北海道 きたぐいん	8.2	北海道 きたぐいん	9.2
茨城 コシヒカリ	5.8	茨城 コシヒカリ	5.0	ブランド米	7.9	ブランド米	7.9	北海道 きたぐいん	6.1	北海道 おほろづき	6.2	北海道 おほろづき	6.6	ブランド米	6.6	ブランド米	6.3	ブランド米	6.3	北海道 おほろづき	7.6	北海道 おほろづき	6.4	北海道 おほろづき	7.8
茨城 あきたこまち	5.4			北海道 おほろづき	7.7	北海道 おほろづき	6.5	北海道 おほろづき	6.4	茨城 コシヒカリ	6.0	北海道 きたぐいん	7.5	北海道 きたぐいん	6.0	北海道 おほろづき	6.2	北海道 きたぐいん	6.1	北海道 きたぐいん	6.0	新潟 コシヒカリ	4.9		

2016/1/4～		1/11～		1/18～		1/25～		2/1～		2/8～		2/15～		2/22～		2/29～		3/7～		3/14～		3/21～	
産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合
北海道 ゆめぴりか	28.2	北海道 ゆめぴりか	24.5	北海道 ゆめぴりか	25.2	北海道 ななつひし	25.6	北海道 ゆめぴりか	23.4	北海道 ゆめぴりか	24.5	北海道 ななつひし	27.1	北海道 ゆめぴりか	26.4	北海道 ゆめぴりか	24.7	北海道 ゆめぴりか	30.1	北海道 ゆめぴりか	28.2	北海道 ゆめぴりか	27.3
北海道 ななつひし	21.7	北海道 ななつひし	20.4	北海道 ななつひし	23.5	北海道 ななつひし	24.3	北海道 ななつひし	23.8	北海道 ななつひし	23.8	北海道 ゆめぴりか	25.5	北海道 ななつひし	24.8	北海道 ななつひし	22.8	北海道 ななつひし	24.3	北海道 ななつひし	22.4	北海道 ななつひし	26.1
北海道 おほろづき	12.4	北海道 おほろづき	12.9	北海道 おほろづき	12.9	北海道 おほろづき	9.7	北海道 おほろづき	12.9	北海道 おほろづき	12.9	北海道 おほろづき	9.7	北海道 おほろづき	11.9	北海道 おほろづき	11.9	北海道 おほろづき	11.9	北海道 おほろづき	11.9	北海道 おほろづき	11.9
北海道 きたくりん	10.5	北海道 おほろづき	9	ブレンド米	7.9	北海道 おほろづき	8.3	北海道 おほろづき	9.7	ブレンド米	9.6	北海道 おほろづき	8.9	北海道 きたくりん	10.2	北海道 おほろづき	11.8	北海道 おほろづき	7.1	北海道 おほろづき	6.2	北海道 おほろづき	6.4
ブレンド米	6.7	ブレンド米	7.0	北海道 きたくりん	7.8	ブレンド米	8.1	北海道 きたくりん	8.5	ブレンド米	7.4	北海道 きたくりん	7.9	北海道 きたくりん	7.9	北海道 きたくりん	8.1	北海道 きたくりん	7.1	ブレンド米	6.9	ブレンド米	5.9
北海道 おほろづき	3.9	北海道 きたくりん	6.6	北海道 おほろづき	7.4	ブレンド米	6.1	北海道 きたくりん	9.2	北海道 おほろづき	7.0									北海道 きたくりん		北海道 きたくりん	5.9

②東北ブロック主要産地・品種等の販売割合の推移 (%)

東北ブロック主要産地・品種等の販売割合の推移(%)

2016年度	2015/3/30		4/6		4/13		4/20		4/27		5/4		5/11		5/18		5/25		6/1		6/8		6/15		6/22		6/29		
	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	
	新潟 コシヒカリ	24.3	秋田 あきたこまち	22.2	新潟 コシヒカリ	29.1	山形 つや姫	31.6	山形 つや姫	23.9	新潟 コシヒカリ	30.1	山形 つや姫	32.5	宮城 ひのめぼれ	22.2	山形 つや姫	24.5	秋田 あきたこまち	25.8	山形 つや姫	21.4	山形 つや姫	31.6	新潟 コシヒカリ				
	山形 つや姫	22.2	新潟 コシヒカリ	19.7	山形 つや姫	28.9	新潟 コシヒカリ	16.8	新潟 コシヒカリ	20.5	新潟 コシヒカリ	19.6	新潟 コシヒカリ	12.7	宮城 ひのめぼれ	22.2	新潟 コシヒカリ	19.6	新潟 コシヒカリ	20.6	新潟 コシヒカリ	27.8	山形 つや姫	18.9					
	山形 はるめき	16.1	山形 つや姫	13.4	秋田 あきたこまち	14.1	山形 つや姫	14.1	新潟 コシヒカリ	11.4	新潟 コシヒカリ	11.3	新潟 コシヒカリ	12.9	宮城 ひのめぼれ	14.2	新潟 コシヒカリ	19.6	新潟 コシヒカリ	13.9	秋田 あきたこまち	23.8	山形 つや姫	19.7					
	宮城 ひのめぼれ	10.9	宮城 ひのめぼれ	9.8	北海道 ゆめびりか	11.6	福島 コシヒカリ	8.7	宮城 ひのめぼれ	10.8	宮城 ひのめぼれ	11.4	秋田 あきたこまち	7.8	秋田 あきたこまち	11.3	山形 はるめき	12.2	宮城 ひのめぼれ	7.5	秋田 あきたこまち	11.1	福島 ひのめぼれ	7.2					
	秋田 あきたこまち	8.6	新潟 こいひき	7.1	北海道 ゆめびりか	7.9	北海道 ゆめびりか	8.6	新潟 こいひき	7.9	宮城 ササニシキ	6.9	北海道 ゆめびりか	5.7	北海道 ゆめびりか	6.7	宮城 ひのめぼれ	8.8	山形 はるめき	10.1	北海道 ゆめびりか	8.1	宮城 ひのめぼれ	7.9					
			福島 ひのめぼれ	6.6			福島 ひのめぼれ	5.7						4.3	秋田 あきたこまち	6.5													

[illegible]

	10/5～	10/12～	10/19～	10/26～	11/2～	11/9～	11/16～	11/23～	11/30～	12/7～	12/14～	12/21～	12/28～
産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合
山形 つや姫	34.6	山形 つや姫	25.9	山形 つや姫	35.1	山形 つや姫	26.7	山形 つや姫	24.1	山形 つや姫	21.1	山形 つや姫	27.4
秋田 あきたこまち	14.9	新潟 コンシタリ	19.7	宮城 ひめぼれ	13.1	新潟 コンシタリ	12.5	新潟 コンシタリ	20.1	新潟 コンシタリ	12.3	新潟 コンシタリ	16.6
秋田 あきたこまち	16.8	新潟 コンシタリ	16.4	新潟 コンシタリ	13.0	秋田 あきたこまち	10.2	秋田 あきたこまち	11.9	秋田 あきたこまち	13.4	秋田 あきたこまち	9.0
宮城 ひめぼれ	9.5	福島 ひとめぼれ	9.1	秋田 あきたこまち	9.9	新潟 こしいなぎ	8.8	宮城 ササニシキ	10.4	山形 つや姫	9.2	新潟 こしいなぎ	6.9
新潟 こしいなぎ	8.4	宮城 ひとめぼれ	8.4	北海道 なつぽし	9.9	福島 ひとめぼれ	8.4	宮城 ひとめぼれ	8.7	福島 ひとめぼれ	6.9	新潟 こしいなぎ	7.8
		新潟 こしいなぎ	6.6			福島 コンシタリ	6.8	新潟 こしいなぎ	8.2	新潟 こしいなぎ	6.1	宮城 ひめぼれ	7.0
						北海道 なつぽし	6.5	山形 コンシタリ	7.1	山形 はえぬき	6.6	山形 はえぬき	6.0
						山形 はえぬき	4.8	宮城 ひとめぼれ	5.0	青森 晴天の露露	6.2	宮城 ひめぼれ	5.4
								秋田 あきたこまち	5.0	秋田 あきたこまち	5.0	山形 はえぬき	6.0
								宮城 ササニシキ	4.9	秋田 あきたこまち	5.0	山形 コンシタリ	4.7
								福島 ひめぼれ	4.2	福島 ひめぼれ	4.2		

2016/1/4～		1/11～		1/18～		1/25～		2/1～		2/8～		2/15～		2/22～		2/29～		3/7～		3/14～		3/21～	
産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合
山形 つや姫	24.0	秋田 あきたこまち	17.6	山形 つや姫	21.5	山形 つや姫	29.6	新潟 コシヒカリ	19.3	山形 つや姫	24.6	山形 つや姫	20.5	山形 つや姫	22.0	山形 つや姫	22.0	山形 つや姫	21.4	山形 つや姫	24.3	山形 つや姫	25.0
秋田 あきたこまち	24.0	山形 つや姫	14.8	宮城 ひとめぼれ	16.3	新潟 コシヒカリ	12.6	秋田 あきたこまち	17.8	秋田 あきたこまち	14.9	新潟 コシヒカリ	20.5	新潟 コシヒカリ	17.8	新潟 コシヒカリ	19.9	宮城 ひとめぼれ	16.9	宮城 ひとめぼれ	13.2	宮城 ひとめぼれ	12.4
新潟 コシヒカリ	19.2	新潟 コシヒカリ	12.6	新潟 こしいぶき	12.3	新潟 コシヒカリ	17.0	新潟 コシヒカリ	13.0	宮城 ひとめぼれ	11.9	秋田 あきたこまち	18.2	秋田 あきたこまち	11.9	秋田 あきたこまち	14.1	秋田 あきたこまち	12.8	秋田 あきたこまち	14.1	秋田 あきたこまち	12.8
新巻 ひとめぼれ	9.0	新巻 ひとめぼれ	13.5	北海道 ななつぼし	8.5	宮城 ひとめぼれ	12.3	宮城 ひとめぼれ	12.3	宮城 ひとめぼれ	8.9	山形 はえぬき	7.8	山形 はえぬき	7.8	山形 はえぬき	7.8	秋田 あきたこまち	13.9	宮城 ひとめぼれ	9.4	北海道 ななつぼし	9.4
福島 コシヒカリ	9.4	山形 はえぬき	8.6	秋田 あきたこまち	7.9	北海道 ななつぼし	7.4	福島 コシヒカリ	7.7	宮城 ひとめぼれ	9.0	北海道 ななつぼし	9.1	宮城 ひとめぼれ	8.8	新潟 コシヒカリ	8.8	新潟 こしいぶき	10.1	山形 はえぬき	7.9	山形 はえぬき	7.9
宮城 ササニシキ	4.6	山形 コシヒカリ	9.2	福島 ひとめぼれ	5.5	秋田 あきたこまち	6.1	新潟 こしいぶき	5.4	山形 コシヒカリ	7.9	秋田 あきたこまち	5.7	秋田 あきたこまち	6.3	新潟 こしいぶき	6.5	福島 コシヒカリ	7.7	山形 はえぬき	6.9	山形 はえぬき	7.3
		新潟 こしいぶき	8.7	福島 コシヒカリ	5.4	山形 コシヒカリ	7.3	山形 はえぬき	7.3	山形 はえぬき	7.3	山形 コシヒカリ	5.5					福島 ひとめぼれ	4.9	山形 コシヒカリ	4.8	山形 コシヒカリ	4.8
				山形 はえぬき	4.5			新潟 こしいぶき	4.6									新潟 こしいぶき	4.5	秋田 あきたこまち	4.5	秋田 あきたこまち	4.8

③関東ブロック主要産地・品種等の販売割合の推移（％）

関東ブロック主要産地・品種等の販売割合の推移(%)

[illegible][illegible][illegible][illegible]

④京浜ブロック主要産地・品種等の販売割合の推移（％）

京浜ブロック主要産地・品種等の販売割合の推移(%)

[illegible][illegible][illegible]

[illegible]

⑤北陸ブロック主要産地・品種等の販売割合の推移（％）

北陸ブロック主要産地・品種等の販売割合の推移(%)

[illegible]

7/6～		7/13～		7/20～		7/27～		8/3～		8/10～		8/17～		8/24～		8/31～		9/7～		9/14～		9/21～		9/28～	
産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合
新潟 しいたけ	27.2	新潟 しいたけ	34.1	新潟 しいたけ	34.5	新潟 しいたけ	36.0	新潟 しいたけ	34.5	新潟 しいたけ	28.4	新潟 しいたけ	21.8	新潟 しいたけ	27.2	新潟 しいたけ	24.8	新潟 しいたけ	23.2	新潟 しいたけ	23.2	新潟 しいたけ	23.2	新潟 しいたけ	23.2
長野 あきたこまち	13.0	長野 あきたこまち	13.5	長野 あきたこまち	12.9	長野 あきたこまち	12.9	長野 あきたこまち	12.9	長野 あきたこまち	14.0	長野 あきたこまち	14.0	長野 あきたこまち	16.3	長野 あきたこまち	17.0	長野 あきたこまち	15.1	長野 あきたこまち	15.1	長野 あきたこまち	15.1	長野 あきたこまち	15.1
長野 あきたこまち	10.7	長野 あきたこまち	13.5	長野 あきたこまち	12.7	長野 あきたこまち	12.4	長野 あきたこまち	13.4	長野 あきたこまち	14.2	長野 あきたこまち	14.2	長野 あきたこまち	13.0	長野 あきたこまち	14.2	長野 あきたこまち	13.3	長野 あきたこまち	13.3	長野 あきたこまち	13.3	長野 あきたこまち	13.3
新潟 しいたけ	10.2	新潟 しいたけ	9.9	新潟 しいたけ	9.1	新潟 しいたけ	9.7	新潟 しいたけ	9.0	新潟 しいたけ	12.2	新潟 しいたけ	12.2	新潟 しいたけ	11.7	新潟 しいたけ	11.7	新潟 しいたけ	12.8	新潟 しいたけ	12.8	新潟 しいたけ	12.8	新潟 しいたけ	12.8
長野 あきたこまち	9.9	長野 あきたこまち	9.2	長野 あきたこまち	8.9	長野 あきたこまち	8.9	長野 あきたこまち	8.9	長野 あきたこまち	8.0	長野 あきたこまち	8.0	長野 あきたこまち	7.6	長野 あきたこまち	7.6	長野 あきたこまち	7.7	長野 あきたこまち	7.7	長野 あきたこまち	7.7	長野 あきたこまち	7.7
ブレンド米	7.1	新潟 しいたけ	6.7	新潟 しいたけ	6.7	新潟 しいたけ	7.0	新潟 しいたけ	7.7	ブレンド米	6.6	ブレンド米	6.6	ブレンド米	6.7	ブレンド米	6.7	ブレンド米	6.4	ブレンド米	6.4	ブレンド米	6.4	ブレンド米	6.4

[illegible][illegible]

⑥東海ブロック主要産地・品種等の販売割合の推移（％）

東海ブロック主要産地・品種等の販売割合の推移(%)

[illegible]

7/6～	7/13～	7/20～	7/27～	8/3～	8/10～	8/17～	8/24～	8/31～	9/7～	9/14～	9/21～	9/28～	
産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合
三重 コンシカ	13.0	岐阜 ひめぼし	18.4	静岡 コンシカ	16.1	三重 コンシカ	14.5	静岡 コンシカ	10.2	岐阜 あきたこまち	7.7	三重 コンシカ	12.8
三重 ひめぼし	12.0	岐阜 あきたこまち	16.3	岐阜 ひめぼし	13.8	宮城 やね	13.2	岐阜 ひめぼし	10.3	北海道 ゆめひかり	7.7	静岡 コンシカ	10.6
静岡 コンシカ	9.9	静岡 ひめぼし	8.8	静岡 ひめぼし	11.8	北海道 ゆめひかり	9.9	秋田 あきたこまち	9.9	秋田 あきたこまち	6.8	秋田 あきたこまち	6.0
新潟 コンシカ	10.1	富山 コンシカ	11.1	岐阜 ひめぼし	10.1	三重 コンシカ	7.7	富山 コンシカ	6.8	富山 コンシカ	6.8	青森 つがるロマン	7.5
秋田 あきたこまち	8.4	三重 コンシカ	7.7	秋田 あきたこまち	6.9	富山 ゆめひかり	7.2	北海道 ゆめひかり	6.0	青森 つがるロマン	6.3	新潟 コンシカ	6.8
北海道 ゆめひかり	8.0	北海道 ゆめひかり	7.1	北海道 ゆめひかり	6.3	静岡 コンシカ	6.8	北海道 ゆめひかり	6.2	青森 つがるロマン	6.0	秋田 あきたこまち	6.1
富山 コンシカ	7.2	秋田 あきたこまち	5.2	富山 コンシカ	6.0	新潟 コンシカ	6.6	秋田 あきたこまち	6.2	富山 コンシカ	5.8	北海道 ゆめひかり	6.7
北海道 ななほし	4.1	秋田 コンシカ	4.6	青森 つがるロマン	3.7	秋田 あきたこまち	4.6	新潟 コンシカ	5.8	青森 つがるロマン	5.3	未知 ひめぼし	6.8
青森 つがるロマン	3.1	青森 つがるロマン	4.2	未知 ひめぼし	5.0	北海道 ななほし	4.2	秋田 あきたこまち	4.4	秋田 あきたこまち	4.3	秋田 あきたこまち	4.0
岐阜 コンシカ	3.4	青森 つがるロマン	3.3	北海道 ななほし	3.3	秋田 コンシカ	3.8	新潟 コンシカ	5.2	未知 ひめぼし	4.2	未知 ひめぼし	3.4
				未知 なつひかり	3.3	北海道 なつひかり	3.4	宮城 やね	3.8	未知 コンシカ	4.9	未知 コンシカ	3.2
				青森 つがるロマン	3.1	岐阜 ハッソモ	3.4	静岡 なつひかり	3.1	未知 なつひかり	3.9	岐阜 ハッソモ	2.8
				三重 あきたこまち	3.1	青森 つがるロマン	3.1	岐阜 あきたこまち	3.1	未知 ひめぼし	4.2	岐阜 ハッソモ	3.6
								北海道 ななほし	2.8	岐阜 ハッソモ	3.7	未知 コンシカ	2.7

[illegible][illegible]

⑦近畿ブロック主要産地・品種等の販売割合の推移 (%)

近畿ブロック主要産地・品種等の販売割合の推移(%)

[illegible][illegible][illegible]

2016/1/4～		1/11～		1/18～		1/25～		2/1～		2/8～		2/15～		2/22～		2/29～		3/7～		3/14～		3/21～	
産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合	産地・品種等	販売割合
長野 コシヒカリ	13.3	新潟 コシヒカリ	13.9	長野 コシヒカリ	25.5	新潟 コシヒカリ	25.9	長野 コシヒカリ	11.6	福井 ハナエチゼン	17.4	長野 コシヒカリ	17.7	新潟 コシヒカリ	23.2	長野 コシヒカリ	14.8	北海道 ななつぼし	11.9	新潟 コシヒカリ	22.7	長野 コシヒカリ	17.3
秋田 あきたこまち	12.0	北海道 ななつぼし	10.7	新潟 コシヒカリ	12.7	福井 ハナエチゼン	14.8	秋田 あきたこまち	9.7	北海道 ななつぼし	15.9	新潟 コシヒカリ	11.5	兵庫 コシヒカリ	10.2	新潟 コシヒカリ	13.5	福井 ハナエチゼン	9.5	北海道 ゆめびりか	12.6	兵庫 コシヒカリ	15.8
福井 ハナエチゼン	10.5	山形 はえぬき	8.4	石川 コシヒカリ	9.2	北海道 ななつぼし	9.1	北海道 ゆめびりか	8.8	新潟 コシヒカリ	12.6	岡山 キヌヒカリ	11.1	北海道 ゆめびりか	10.0	北海道 ゆめびりか	12.0	石川 コシヒカリ	9.0	岡山 キヌヒカリ	11.3	新潟 コシヒカリ	10.7
新潟 コシヒカリ	9.9	三重 コシヒカリ	8.3	兵庫 コシヒカリ	9.1	兵庫 コシヒカリ	8.4	北海道 ゆめびりか	8.5	北海道 ななつぼし	8.4	北海道 ゆめびりか	8.4	北海道 ななつぼし	9.6	兵庫 コシヒカリ	9.8	北海道 ゆめびりか	7.6	兵庫 コシヒカリ	9.3	福井 ハナエチゼン	9.7
北海道 ななつぼし	8.0	富山 コシヒカリ	7.9	福井 ハナエチゼン	7.2	石川 コシヒカリ	7.5	新潟 コシヒカリ	8.1	徳島 コシヒカリ	6.0	兵庫 コシヒカリ	7.2	福井 ハナエチゼン	9.2	兵庫 コシヒカリ	6.8	岡山 キヌヒカリ	7.2	富山 コシヒカリ	7.0	秋田 あきたこまち	9.2
兵庫 コシヒカリ	7.1	兵庫 コシヒカリ	7.9	岡山 キヌヒカリ	6.1	富山 コシヒカリ	5.4	富山 コシヒカリ	8.0	石川 コシヒカリ	5.8	富山 コシヒカリ	6.5	石川 コシヒカリ	6.7	石川 コシヒカリ	6.8	山形 はえぬき	6.8	石川 コシヒカリ	6.8	兵庫 コシヒカリ	5.7
石川 コシヒカリ	7.0	長野 コシヒカリ	5.8	北海道 ななつぼし	5.1	新潟 こいしき	5.1	石川 コシヒカリ	7.9	宮城 ひとめぼれ	4.0	石川 コシヒカリ	6.1	徳島 コシヒカリ	6.5	福井 ハナエチゼン	4.6	新潟 コシヒカリ	6.4	宮城 ひとめぼれ	4.6	石川 コシヒカリ	5.3
富山 コシヒカリ	6.5	福井 ハナエチゼン	5.3	北海道 ゆめびりか	3.5	長野 コシヒカリ	3.7	三重 コシヒカリ	4.1	山形 はえぬき	4.8	福井 ハナエチゼン	6.0	宮城 ひとめぼれ	4.5	岡山 キヌヒカリ	4.5	秋田 あきたこまち	5.9	北海道 ゆめびりか	4.2	北海道 ななつぼし	4.3
滋賀 コシヒカリ	4.5	石川 コシヒカリ	4.8	宮城 ひとめぼれ	3.1	北海道 ゆめびりか	3.2	福井 ハナエチゼン	4.1	北海道 ゆめびりか	3.9	石川 コシヒカリ	5.4	岡山 キヌヒカリ	4.0	秋田 あきたこまち	4.3	三重 コシヒカリ	5.4	北海道 ななつぼし	3.2	岡山 キヌヒカリ	3.4
新潟 こいしき	4.4	奈良 ヒノヒカリ	3.9					奈良 ヒノヒカリ	4.1	秋田 あきたこまち	3.0	宮城 ひとめぼれ	4.4			奈良 ヒノヒカリ	3.8	宮城 ひとめぼれ	5.1				
		宮城 ひとめぼれ	3.5					北海道 ななつぼし	3.7							福井 ハナエチゼン	5.0						
																山形 つや姫	4.6						

2. 相対取引価格の推移

(単位:円/玄米60kg・税抜)													
	2011年産					2012年産							平均
(包装代等込)	当年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年1月	2月	3月	
2012年度	14,642	14,678	14,826	14,898	14,801	15,857	15,790	15,731	15,752	15,797	15,747	15,747	15,355
	2012年産					2013年産							
2013年度	15,722	15,659	15,517	15,379	15,359	14,163	14,050	13,940	13,888	13,842	13,810	13,761	14,591
	2013年産					2014年産							
2014年度	13,577	13,395	13,267	13,000	12,670	11,556	11,310	11,261	11,243	11,183	11,152	11,058	12,056
	2014年産					2015年産							
2015年度	11,038	11,010	11,131	11,064	11,044	12,202	12,144	12,244	12,264	12,257	12,282	12,270	11,746

資料：農林水産省「米の相対取引価格（出荷業者）」（速報値）

3. 卸間取引価格の推移

(円/60kg・税抜)									
2013年	4/25 第1回	7/18 第2回	8/29 第3回	10/10 第4回	11/29 第5回	2013/1/16 第6回	2/27 第7回		平均
成約価格	15,446	14,020	12,584	13,137	13,391	12,947	12,553		13,440
2014年	5/14 第1回	7/17 第2回	8/21 第3回	9/18 第4回	10/22 第5回	12/11 第6回	2015/1/15 第7回	2/25 第8回	
成約価格	12,650	11,903	10,732	10,893	9,970	10,012	10,394	10575	10,891
2015年	4/23 第1回	7/17 第2回	8/20 第3回	10/1 第4回	11/27 第5回	2016/1/14 第6回	3/4 第7回		
成約価格	10,921	11,111	10,999	12,693	12,498	12,898	13,375		12,071

資料：日本コメ市場「取引概要」

4. 小売価格の推移（コシヒカリ）

(単位:円/5kg精米袋入り、消費税込み)													
都市名	2015年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年 1月	2月	3月	平均 (単純平均)
札幌市	2,289	2,255	2,289	2,293	2,255	2,293	2,360	2,333	2,308	2,308	2,308	2,335	2,302
仙台市	1,875	1,919	1,919	1,919	1,880	1,928	1,934	1,978	2,009	2,026	2,006	1,878	1,939
東京特別区	2,271	2,265	2,239	2,263	2,253	2,275	2,307	2,331	2,312	2,318	2,309	2,343	2,291
新潟市	2,115	2,115	2,115	2,097	2,097	2,099	2,242	2,205	2,205	2,223	2,248	2,225	2,166
名古屋市	1,913	1,926	1,917	1,913	1,953	1,954	2,035	2,042	2,025	2,058	2,040	2,056	1,986
大阪市	2,026	1,999	2,008	2,044	1,974	2,019	2,055	2,059	2,112	2,111	2,190	2,161	2,063
広島市	2,010	2,030	2,018	1,966	1,993	1,979	1,996	2,114	2,127	2,168	2,127	2,114	2,054
松山市	2,160	1,987	1,987	1,992	1,987	1,987	1,992	2,048	2,232	2,059	2,038	2,075	2,045
福岡市	2,011	2,038	1,993	2,038	2,011	2,038	2,025	2,185	2,164	2,164	2,164	2,164	2,083
那覇市	2,422	2,417	2,619	2,395	2,619	2,619	2,619	2,619	2,619	2,619	2,654	2,492	2,559

資料：総務省「小売物価統計調査」

2. 米の生産費

1. 10アール当たり

区 分		2013年産 (円)	2014年産 (円)
生 産 費	物 財 費	79,061	79,934
	労 働 費	35,884	35,396
	費 用 合 計	114,945	115,330
	生産費(副産物価額差引)	112,572	114,268
	支払利子・地代算入生産費	117,698	119,285
	資本利子・地代算入生産費 (全算入生産費)	134,041	135,185
	収 量 kg/10a	536	526
(参考)全国水稻作況指数		101	101

2. 60キログラム当たり

区 分		2013年産 (円)	2014年産 (円)
生 産 費	物 財 費	8,982	9,120
	労 働 費	4,078	4,035
	費 用 合 計	13,060	13,155
	生産費(副産物価格差引)	12,790	13,032
	支払利子・地代算入生産費	13,372	13,603
	資本利子・地代算入生産費 (全算入生産費)	15,229	15,416

資料:農林水産省「米生産費」、「作物統計」

3. 米の農産物検査数量と1等米比率

2016(平成28)年3月末日現在

(単位:千トン、%)

年産	等級	検査数量		等 級 別 比 率 (%)			
			対前年同期比	1 等	2 等	3 等	規格外
2015 年 産		4,517.8	92.6	82.4	14.5	1.7	1.4
2014 年 産		4,880.1	—	81.2	15.8	1.3	1.6
2015年－2014年(ポイント)				1.2	－1.3	0.4	－0.3

資料:農林水産省「平成27年産米の検査結果(速報値)」

注:2014年産米の検査数量は前年同期の検査数量。

都道府県	(%)		
	2013年産 (平成25年産)	2014年産 (平成26年産)	2015年産 (平成27年産)
全国	79.0	81.4	82.4
北海道	89.2	91.8	92.8
青森	91.8	88.5	93.7
岩手	96.0	93.7	95.8
宮城	93.1	91.8	83.3
秋田	91.9	91.2	91.1
山形	95.6	93.6	94.8
福島	91.8	92.0	90.6
茨城	89.6	92.5	84.3
栃木	88.4	96.3	90.6
群馬	41.1	88.3	81.2
埼玉	66.5	80.2	68.2
千葉	93.2	94.6	88.8
東京	—	—	—
神奈川	18.0	25.1	23.0
山梨	77.7	87.5	88.0
長野	96.5	95.6	96.0
静岡	68.7	80.2	79.4
新潟	77.3	75.7	79.2
富山	72.6	87.6	91.4
石川	82.0	74.4	87.5
福井	81.1	84.5	86.7
岐阜	66.5	72.5	66.0
愛知	56.0	59.9	55.6
三重	38.9	38.4	46.6
滋賀	55.9	50.5	73.8
京都	62.6	63.0	72.0
大阪	46.0	51.9	48.2
兵庫	40.0	64.5	66.4
奈良	91.1	93.8	92.5
和歌山	14.5	32.0	29.9
鳥取	26.8	42.5	51.9
島根	56.4	70.6	66.5
岡山	66.9	78.8	71.7
広島	72.2	84.8	88.0
山口	48.7	76.0	75.2
徳島	51.9	34.4	49.9
香川	11.0	20.1	16.9
愛媛	37.0	61.5	44.1
高知	17.1	18.0	16.6
福岡	30.1	40.1	38.0
佐賀	41.8	58.2	63.9
長崎	42.5	33.6	51.5
熊本	44.8	51.0	51.0
大分	60.5	64.6	65.4
宮崎	56.0	62.3	61.1
鹿児島	58.1	50.3	66.4
沖縄	45.1	47.7	49.0

資料:農林水産省「米の農産物検査結果」

注:2015年産は2016年3月末日現在

Ⅲ. 消費に関する資料

1. 米の需要実績

(単位:万トン)				
	2012/2013	2013/2014	2014/2015	2015/2016
	2012年産	2013年産	2014年産	2015年産
需要実績	781	787	783	765
生産量	821	818	788	744

資料：農林水産省「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」、
「水陸稲の収穫量」

2. 米の1人1か月当たり消費量・家庭内在庫量

		(単位:精米グラム、%)				(内訳)		(単位:精米グラム、%)		(単位:kg/世帯、%)		
	1ヵ月当たり消費量		家庭内消費		中・外食消費		中食消費		外食消費		家庭内在庫量	
		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比
2011(平成23)年度	4,841	-	3,211	-	1,629	-					7.3	-
2012(平成24)年度	4,909	1.4	3,351	4.4	1,558	▲ 4.4					6.7	▲ 8.2
2013(平成25)年度	4,466	▲ 9.0	2,993	▲ 10.7	1,473	▲ 5.5					6.7	0.0
2014(平成26)年度	4,554	2.0	3,216	7.5	1,338	▲ 9.2					6.9	3.0
2015(平成27)年度	4,386	▲ 3.7	3,027	▲ 5.9	1,360	1.6					6.6	▲ 4.3
2014年4月	4,986	4.3	3,529	11.4	1,457	▲ 9.5	865	▲ 7.1	592	▲ 12.8	6.8	6.3
5月	4,834	5.7	3,374	9.3	1,460	▲ 1.9	841	▲ 4.5	619	1.8	6.8	7.9
6月	4,643	1.5	3,232	6.0	1,411	▲ 7.6	810	▲ 9.3	601	▲ 5.2	6.5	3.2
7月	4,500	2.9	3,163	9.5	1,337	▲ 10.0	765	▲ 11.4	572	▲ 8.0	6.3	1.6
8月	4,387	3.6	3,053	9.9	1,334	▲ 8.3	740	▲ 7.3	594	▲ 9.5	6.5	1.6
9月	4,495	2.2	3,183	6.5	1,312	▲ 6.9	761	▲ 6.3	551	▲ 7.9	6.8	3.0
10月	4,624	2.1	3,291	8.0	1,334	▲ 9.9	765	▲ 11.7	569	▲ 7.5	7.3	2.8
11月	4,629	4.2	3,283	10.5	1,346	▲ 8.5	749	9.7	597	▲ 7.2	7.5	5.6
12月	4,299	▲ 1.5	3,015	5.3	1,285	▲ 14.3	711	▲ 16.4	574	▲ 11.6	7.8	8.3
2015年1月	4,380	▲ 0.4	3,128	5.1	1,252	▲ 11.8	703	▲ 14.6	549	▲ 7.9	7.1	4.4
2月	4,537	▲ 1.1	3,264	2.1	1,273	▲ 8.5	701	▲ 11.7	572	▲ 4.0	6.8	1.5
3月	4,333	▲ 0.1	3,077	6.3	1,257	▲ 12.8	687	▲ 15.5	569	▲ 9.5	6.6	▲ 14.3
4月	4,877	▲ 2.2	3,351	▲ 5.0	1,526	4.7	908	5.0	618	4.4	6.0	▲ 11.8
5月	4,614	▲ 4.6	3,100	▲ 8.1	1,513	3.7	929	10.5	585	▲ 5.5	6.2	▲ 8.8
6月	4,515	▲ 2.7	3,104	▲ 3.9	1,411	0.0	854	5.4	557	▲ 7.3	6.2	▲ 4.6
7月	4,250	▲ 5.5	2,924	▲ 7.6	1,326	▲ 0.8	779	1.8	548	▲ 4.2	6.3	0.0
8月	4,171	▲ 4.9	2,905	▲ 4.8	1,266	▲ 5.1	719	▲ 2.8	547	▲ 7.9	6.4	▲ 1.5
9月	4,408	▲ 1.9	3,079	▲ 3.3	1,329	1.3	754	▲ 0.9	575	4.4	6.6	▲ 2.9
10月	4,380	▲ 5.3	3,012	▲ 8.5	1,369	2.6	818	6.9	551	▲ 3.2	6.9	▲ 5.5
11月	4,403	▲ 4.9	3,073	▲ 6.4	1,330	▲ 1.2	744	▲ 0.7	587	▲ 1.7	7.1	▲ 5.3
12月	4,165	▲ 3.1	2,844	▲ 5.7	1,321	2.9	766	7.7	556	▲ 3.1	7.3	▲ 6.4
2016年1月	4,191	▲ 4.3	2,885	▲ 7.8	1,306	4.3	749	6.5	557	1.5	7.1	0.0
2月	4,424	▲ 2.5	3,123	▲ 4.3	1,301	2.2	748	6.7	553	▲ 3.3	6.8	0.0
3月	4,239	▲ 2.2	2,918	▲ 5.2	1,322	5.2	751	9.3	571	0.4	6.6	0.0

3. 米の1世帯当たり購入量

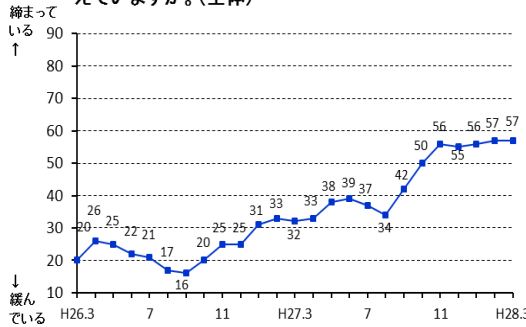
		(単位:円、キログラム、%)				
(暦年)	支出金額		購入単価		購入数量	
	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比
2011年	27,425	▲ 4.1	340	▲ 1.3	80.58	▲ 2.9
2012年	28,731	4.8	365	7.1	78.78	▲ 2.2
2013年	28,093	▲ 2.2	374	2.5	75.17	▲ 4.6
2014年	25,108	▲ 10.6	344	▲ 8.0	73.05	▲ 2.8
2014年1月	1,555	▲ 15.0	374	▲ 6.9	4.15	▲ 8.8
2月	1,810	▲ 9.4	364	▲ 7.9	4.98	▲ 1.6
3月	2,524	10.2	348	▲ 8.5	7.26	20.4
4月	1,635	▲ 29.7	366	▲ 6.0	4.47	▲ 25.3
5月	1,908	▲ 17.5	355	▲ 9.2	5.38	▲ 9.1
6月	1,963	▲ 14.8	369	▲ 5.5	5.33	▲ 9.7
7月	1,876	▲ 13.4	369	▲ 5.5	5.08	▲ 8.5
8月	1,998	▲ 8.1	355	▲ 5.8	5.63	▲ 2.4
9月	2,569	▲ 11.5	334	▲ 1.7	7.69	▲ 10.0
10月	2,831	▲ 8.3	314	▲ 7.8	9.01	▲ 0.6
11月	2,116	▲ 8.5	316	▲ 7.8	6.70	▲ 0.7
12月	2,324	▲ 2.8	319	▲ 16.7	7.28	16.7
2015年1月	1,349	▲ 13.2	332	▲ 11.3	4.06	▲ 2.2
2月	1,639	▲ 9.4	326	▲ 10.4	5.03	1.0
3月	1,843	▲ 27.0	324	▲ 7.0	5.69	▲ 21.6
4月	1,790	9.5	325	▲ 11.0	5.50	23.0
5月	1,726	▲ 9.5	323	▲ 9.1	5.35	▲ 0.6
6月	1,716	▲ 12.6	323	▲ 12.5	5.32	▲ 0.2
7月	1,736	▲ 7.5	330	▲ 10.6	5.26	3.5
8月	1,765	▲ 11.7	339	▲ 4.4	5.20	▲ 7.6
9月	2,108	▲ 17.9	327	▲ 2.0	6.44	▲ 16.3
10月	3,095	9.3	334	6.5	9.25	2.7
11月	1,918	▲ 9.4	337	6.6	5.69	▲ 15.1
12月	2,296	▲ 1.2	347	8.8	6.61	▲ 9.2
2016年1月	1,423	5.5	341	2.6	4.18	3.0
2月	1,761	7.4	334	2.3	5.28	5.0
3月	1,845	0.1	334	3.3	5.52	▲ 3.0

資料：総務省「家計調査・品目分類」(二人以上の世帯)

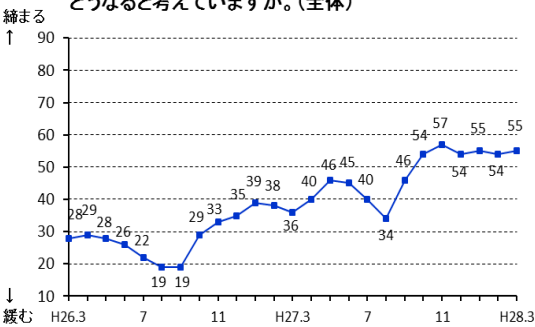
Ⅳ．米取引関係者の判断（DI 調査）に関する資料（2016 年 3 月まで）

1．国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

①-ア 国内の主食用米の”現在の需給動向”について、どう考えていますか。(全体)

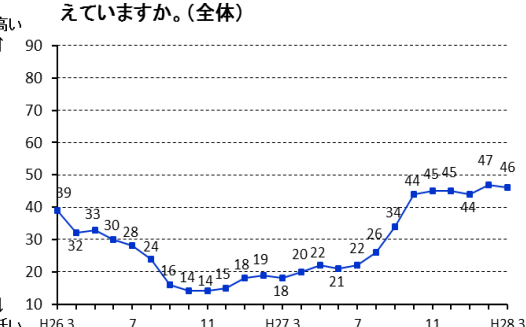


①-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の需給動向”について、どうなると考えていますか。(全体)

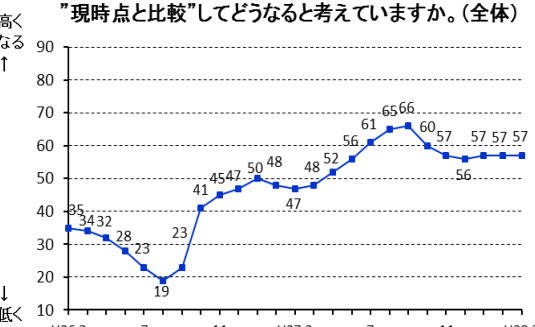


2．主食用米の米価水準（全体）

②-ア 国内の主食用米の”現在の米価水準”について、どう考えていますか。(全体)



②-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。(全体)



Ⅴ．米代替食品、加工品等に関する資料

1．パン類

(1) 販売金額 PI の推移

(単位:円/千人・税抜)													
パン類 販売金額PI	2015年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	平均
全体	48,547	45,681	46,615	45,186	42,171	45,270	45,083	46,099	41,909	46,345	47,506	47,548	45,663
北海道	33,157	33,138	31,962	31,162	29,354	31,343	31,877	32,726	29,419	32,367	33,112	33,168	31,899
東北	42,508	40,023	40,411	38,355	34,788	38,156	39,105	39,392	36,304	40,414	42,307	40,581	39,362
関東	49,772	46,145	46,902	44,655	41,333	44,954	44,832	46,734	41,887	46,365	48,921	48,936	45,953
京浜	42,136	38,684	39,660	38,033	37,326	38,410	37,493	38,822	36,187	38,798	40,410	43,222	39,098
北陸	43,609	41,859	42,365	41,833	37,578	42,544	41,759	41,508	36,562	41,495	42,468	42,206	41,316
東海	65,945	62,234	64,480	61,778	56,578	61,282	62,495	62,731	58,084	65,362	67,075	67,521	62,964
近畿	54,686	50,324	51,403	51,252	48,650	50,482	50,155	52,719	48,129	53,453	54,139	53,525	51,577
中国四国	54,769	52,539	53,535	52,362	48,841	52,408	52,248	52,728	48,017	53,053	53,856	53,653	52,334
九州	47,323	45,310	47,013	45,825	42,563	45,289	44,660	45,306	40,932	45,185	43,623	44,016	44,754

2．麺類

(1) 販売金額 PI の推移

(単位:円/千人・税抜)													
麺類 販売金額PI	2015年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	平均
全体	38,952	40,367	40,204	41,709	40,957	37,195	38,231	39,315	44,412	42,110	39,166	38,833	40,121
北海道	43,651	43,257	45,047	47,484	44,090	41,109	44,017	45,015	49,587	46,023	44,873	44,421	44,881
東北	41,995	41,474	40,631	41,850	41,589	39,318	40,365	42,019	48,390	46,156	42,865	42,056	42,392
関東	44,171	45,486	45,358	47,000	46,033	43,081	43,775	46,984	51,648	48,506	45,514	45,402	46,080
京浜	36,581	37,534	37,561	39,026	38,609	34,450	34,100	35,436	39,541	37,230	35,205	36,801	36,839
北陸	39,064	42,292	41,211	44,406	44,391	37,460	38,972	39,088	44,495	43,106	38,474	38,241	40,933
東海	46,427	50,935	49,278	52,201	50,686	45,157	45,316	46,932	54,738	49,582	46,623	46,991	48,739
近畿	35,861	36,805	36,502	38,819	37,155	34,666	35,236	37,648	40,310	39,848	37,258	35,747	37,155
中国四国	36,365	39,352	39,179	39,860	39,273	35,140	36,922	36,556	43,076	39,874	37,636	36,088	38,277
九州	33,481	34,018	34,726	34,402	34,484	30,588	33,155	31,439	35,930	36,137	31,356	31,819	33,461

(2) 販売数量 PI の推移

(単位:kg/千人)													
麺類 販売数量PI	2015年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	平均
全体	79.2	81.8	80.6	84.2	81.2	74.7	76.3	80.3	86.2	85.1	78.3	79.3	80.6

3. 加工米飯

(1) 販売金額 PI の推移

(単位: 円/千人・税抜)													
冷凍米飯 販売金額PI	2015年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	平均
全体	3,200	2,907	2,935	3,184	3,538	3,290	3,607	3,573	3,287	3,616	3,441	4,374	3,413
北海道	2,405	2,211	2,100	2,435	2,584	2,593	3,200	2,944	2,805	3,092	2,959	3,707	2,753
東北	2,347	2,196	2,180	2,597	2,626	2,106	2,519	2,669	2,361	2,624	2,343	3,401	2,497
関東	4,052	3,706	3,875	4,112	4,716	4,345	4,711	4,540	4,156	4,556	4,465	5,448	4,390
京浜	4,233	3,719	3,912	4,433	4,764	4,650	4,784	4,950	4,334	4,539	4,708	6,108	4,595
北陸	1,801	1,606	1,620	1,691	1,886	1,785	2,081	1,948	1,703	1,997	1,750	2,183	1,838
東海	3,320	3,253	3,038	3,523	3,935	3,330	3,537	3,801	3,552	3,801	4,089	4,988	3,681
近畿	4,081	3,411	3,390	3,710	4,059	4,029	4,007	4,115	3,974	4,467	3,908	4,637	3,982
中国四国	2,941	2,811	2,734	2,740	3,275	2,905	3,371	3,330	3,002	3,367	3,083	3,950	3,126
九州	2,430	2,233	2,297	2,385	2,805	2,565	3,065	2,696	2,761	2,948	2,622	3,375	2,682

(単位: 円/千人・税抜)													
パックご飯 販売金額PI	2015年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	平均
全体	2,165	1,956	1,949	1,964	2,159	2,093	1,964	2,072	2,067	2,175	2,069	2,144	2,065
北海道	2,776	1,978	1,812	2,031	2,194	2,065	2,001	2,036	2,151	2,033	2,126	2,115	2,110
東北	1,507	1,346	1,324	1,228	1,419	1,082	1,014	1,045	1,006	1,127	999	973	1,173
関東	2,179	1,967	1,912	1,972	2,199	2,209	2,095	2,192	2,162	2,332	2,192	2,342	2,146
京浜	3,454	3,140	3,200	3,188	3,634	3,421	3,241	3,319	3,459	3,521	3,401	3,420	3,367
北陸	1,710	1,470	1,481	1,544	1,835	1,776	1,505	1,642	1,526	1,682	1,523	1,644	1,612
東海	2,644	2,659	2,665	2,797	3,291	2,746	2,755	3,039	2,879	2,869	2,611	2,810	2,814
近畿	2,971	2,685	2,810	2,717	2,776	3,051	2,634	2,898	3,040	3,031	3,101	3,055	2,897
中国四国	1,496	1,405	1,373	1,438	1,466	1,472	1,430	1,473	1,443	1,566	1,470	1,528	1,463
九州	1,182	1,132	1,021	989	1,126	1,071	1,028	1,134	1,118	1,289	1,123	1,091	1,109

(2) 販売数量 PI の推移

(単位: kg/千人)													
冷凍米飯 販売数量PI	2015年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	平均
全体	5.58	5.08	5.11	5.6	6.22	5.7	6.2	6.2	5.64	6.26	5.9	7.71	5.93

(単位: kg/千人)													
パックご飯 販売数量PI	2015年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	平均
全体	4.57	4.1	4.09	4.1	4.57	4.33	4.03	4.3	4.31	4.51	4.26	4.47	4.3

4. 包装もち、もち米
(1) 販売金額 PI の推移

(単位:円/千人・税抜)													
包装もち 販売金額PI	2015年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	平均
全体	931	642	569	489	624	951	1,620	2,665	18,013	3,478	1,901	1,215	2,758
北海道	1,077	693	645	524	594	1,338	2,147	4,025	29,654	4,172	2,202	1,339	4,034
東北	840	520	452	309	515	572	838	1,554	19,316	2,417	1,164	736	2,436
関東	992	679	648	587	902	1,113	1,828	2,867	15,671	3,078	1,686	1,145	2,600
京浜	1,497	1,164	898	782	1,144	1,439	2,255	3,734	17,387	4,218	2,717	1,584	3,235
北陸	1,284	855	755	694	812	1,417	2,162	3,867	20,687	5,242	2,464	1,850	3,507
東海	1,061	711	681	590	529	825	2,023	3,164	22,083	4,131	2,444	1,668	3,326
近畿	791	498	501	427	550	1,161	1,966	2,860	18,143	3,500	2,286	1,336	2,835
中国四国	686	465	397	347	339	596	1,087	1,792	16,163	3,322	1,629	940	2,314
九州	433	325	301	249	247	443	921	1,677	16,064	2,617	1,166	779	2,102

(単位:円/千人・税抜)													
もち米 販売金額PI	2015年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	平均
全体	444	368	293	287	451	742	478	494	1,895	423	372	605	571
北海道	896	1,111	1,043	945	1,529	1,558	993	1,990	5,150	918	815	1,392	1,528
東北	531	669	281	339	647	971	400	391	1,018	273	295	700	543
関東	525	396	315	325	624	883	568	528	2,176	527	431	687	665
京浜	434	344	277	269	301	661	465	403	755	412	372	584	440
北陸	668	344	277	284	536	871	602	433	1,681	382	385	747	601
東海	475	360	295	263	309	830	557	527	2,201	447	412	625	608
近畿	280	200	169	163	224	441	333	314	1,437	345	286	374	380
中国四国	293	232	201	173	273	638	342	343	2,020	340	311	526	474
九州	348	292	212	216	303	548	388	323	2,414	353	267	402	506

(2) 販売数量 PI の推移

(単位:kg/千人)													
包装もち 販売数量PI	2015年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	平均
全体	1.38	0.94	0.8	0.68	0.92	1.44	2.51	4.14	17.71	5.24	2.8	1.8	3.36

(単位:kg/千人)													
もち米 販売数量PI	2015年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	平均
全体	0.94	0.79	0.63	0.63	1.01	1.61	1.01	1.1	4.5	0.96	0.81	1.32	1.28

VI. 経済等指標

1. GDP・GNI の推移

	GDP(10億円)	GNI(10億円)	前年度比(%)
2013年度	529,765.3	526,677.2	1.9
2014年度	524,784.1	524,751.7	▲ 0.4
2015年度	529,043.7	537,969.6	2.5

資料：内閣府「国民経済計算」

2. 実質賃金指数の推移

(事業所規模5人以上) (平成22年平均＝100)	現金給与総額						きまって支給する給与					
	調査産業計				製 造 業		調査産業計					
	規模30人以上		規模30人以上				規模30人以上		規模30人以上			
	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)		
2013年	98.3	▲ 0.9	98.8	▲ 0.8	100.9	▲ 1.2	101.1	▲ 0.6	98.3	▲ 1.4	98.8	▲ 1.3
2014年	95.5	▲ 2.8	96.4	▲ 2.4	99.3	▲ 1.6	99.6	▲ 1.5	95.0	▲ 3.4	95.8	▲ 3.0
2015年(速報)	94.6	▲ 0.9	95.5	▲ 0.9	98.7	▲ 0.6	98.8	▲ 0.8	94.3	▲ 0.7	95.3	▲ 0.5

資料：厚生労働省「米対勤労統計調査」

3. 可処分所得の推移

	可処分所得(円)	対前年比(%)	平均消費性向(%)	対前年差
2013年	426,234	0.2	74.8	0.9
2014年	423,907	▲ 0.5	75.2	0.4
2015年	427,447	0.8	73.8	▲ 1.4

資料:総務省「家計調査」

4. 人口の推移

	総人口(千人)			日本人人口(千人)		
日本の人口 10月1日現在	男女計	男	女	男女計	男	女
2013年	127,298	61,909	65,388	125,704	61,186	64,518
2014年	127,083	61,801	65,282	125,431	61,041	64,391
2015年	127,110	61,829	65,281	125,362	61,007	64,355

年齢階級	2013(平成25) 年10月	2014(平成26) 年10月	2015(平成27) 年10月	年齢階級	2013(平成25) 年10月	2014(平成26) 年10月	2015(平成27) 年10月	日本人人口 前々年比 (%)
総人口(千人)				日本人人口(千人)				
総数	127,298	127,083	127,110	総数	125,704	125,431	125,362	▲ 0.3
0 ～ 4 歳	5,239	5,213	5,199	0 ～ 4 歳	5,188	5,157	5,139	▲ 0.9
5 ～ 9	5,361	5,307	5,302	5 ～ 9	5,317	5,261	5,254	▲ 1.2
10 ～ 14	5,790	5,713	5,607	10 ～ 14	5,746	5,669	5,562	▲ 3.2
15 ～ 19	6,047	6,005	5,983	15 ～ 19	5,973	5,924	5,892	▲ 1.4
20 ～ 24	6,205	6,203	6,250	20 ～ 24	6,004	5,989	6,005	0.0
25 ～ 29	6,869	6,678	6,530	25 ～ 29	6,665	6,462	6,292	▲ 5.6
30 ～ 34	7,623	7,466	7,325	30 ～ 34	7,434	7,279	7,134	▲ 4.0
35 ～ 39	9,060	8,670	8,359	35 ～ 39	8,908	8,513	8,197	▲ 8.0
40 ～ 44	9,667	9,793	9,808	40 ～ 44	9,517	9,644	9,660	1.5
45 ～ 49	8,406	8,608	8,746	45 ～ 49	8,279	8,477	8,610	4.0
50 ～ 54	7,734	7,791	8,003	50 ～ 54	7,637	7,688	7,895	3.4
55 ～ 59	7,731	7,654	7,570	55 ～ 59	7,658	7,580	7,493	▲ 2.2
60 ～ 64	9,666	8,980	8,507	60 ～ 64	9,608	8,920	8,446	▲ 12.1
65 ～ 69	8,699	9,154	9,729	65 ～ 69	8,654	9,107	9,679	11.8
70 ～ 74	7,596	7,928	7,788	70 ～ 74	7,562	7,893	7,752	2.5
75 ～ 79	6,302	6,269	6,365	75 ～ 79	6,278	6,244	6,339	1.0
80 ～ 84	4,762	4,869	5,023	80 ～ 84	4,748	4,855	5,008	5.5
85 歳 以 上	4,539	3,063	5,016	85 歳 以 上	4,527	3,054	5,004	10.5

資料:総務省統計局「人口推計」